

南滿洲鐵道
株式會社
社報

大正四年十一月十二日
金曜日
第二千六百四號

通牒

技保乙第七百二十三號
大正元年十月乙第三千四百十八號勾配標定規則紙圖面ノ通
改正ス
大正四年十一月十一日
技術局長
(圖面ハ關係ノ向ニ配付ス)

人事

撫順炭坑用度課勤務 職員 又重 秀清
撫順炭坑煙臺支坑勤務ヲ命ス
各通 撫順炭坑煙臺支坑勤務 職員 梅木 森藏
同 撫順炭坑煙臺支坑勤務ヲ命ス 職員 前田 良
右十一月十七日附
瓦房店車輻係勤務 雇員 松橋德之助
同 橋口市之助
各通

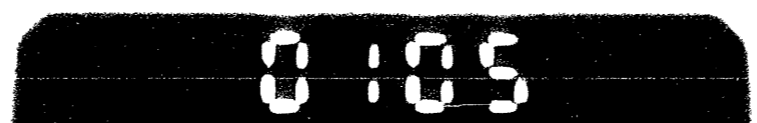
雜錄

機關手ヲ命ス
右十月一日附
公主嶺車輻係勤務 雇員 雪森 文治

廣告

▲正誤 前號雜錄網小學校大禮記念植樹概況表中大石橋ノ部面積ノ計「二、〇〇〇」
〇「二、三〇〇」誤植
◎上海定期航路
神戶丸 (第百三六次) 往航青島寄港
十一月十二日正午 大連出帆
神戶丸 (第百三十六次) 復航青島寄港
十一月十七日正午 大連出帆

第二千六百四號 大正四年十一月十二日



南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十一月十三日 星期二 第二千六百五號

通 牒

運丁卯第九十六號
 明治四十二年十月運甲酉第七十九號ニテ指定シタル貨物専用
 支線中左ノ通過加ス
 大正四年十一月十二日 運輸部長

驛名 線名
 開原驛 亞細亞石油會社專用線
 四平街驛 右同
 (諸規定類纂第二編七六三頁參照)

運丁卯第九十七號
 鐵道電報發送責任者左ノ通過加ス
 大正四年十一月十二日 運輸部長

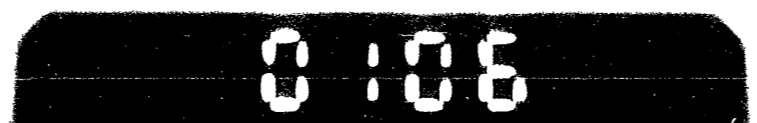
人 事

賴信驛所	所屬	氏名
全線	運輸部營業課	山下 善代
同	同	河野 一喜
依願職員ヲ免ス	中央試驗所勤務 職員	安井 五郎
各通		藤澤 初治
雇員ヲ命ス	埠頭事務所勤務	井坂 徳造
右十一月十二日附		

雜 錄

▲重役出張 佃理事ハ十一日出發沿線へ出張セリ
 ▲正誤 社報第二六〇三號人李蘭山崎正秀辭令日附十一月一日「トアル」ハ十月九日ノ誤

第二千六百五號 大正四年十一月十三日



廣告

◎上海定期航路

神戸丸 (第三百三十六次) 復航青島寄港

十一月十七日正午 大連出帆

神丸 (第四百四次) 往航青島寄港

十一月十九日正午 大連出帆

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十一月十四日

日 曜 日

第二千六百六號

社 告

社告第四十號

大正四年十二月一日ヨリ左記條項ニ依リ奧地產豆粕混合保管ヲ開始ス

大正四年十一月十三日

總裁 男爵中村維次郎

第一條 左記ノ驛ニ於テ發送預及普通預豆粕ノ混合保管ヲ取扱フ

開 原 鐵 嶺

第二條 前條及第十條ノ大連埠頭ニ於ケル保管ニ關シテハ以下規定スルモノノ外凡テ大正二年十一月社告第五十三號埠頭豆粕混合保管ノ條件ヲ準用ス

第三條 一口ノ數量ハ一千枚ニ限ル

第四條 豆粕ニハ各製造者ニ於テ一定ノ印章又ハ記號ヲ押捺セラルヘシ且右印章又ハ記號ハ豫メ會社ニ届出ラルヘシ

第五條 檢査合格ノ要項左ノ如シ
一 豆粕ノ品質ハ大連重要物產取引所ニ於テ取引セララルモ

第二千六百六號

大正四年十一月十四日

ノヲ標準トス

二 斤量ハ一枚四十六斤以上ヲ原則トス

三 拂込ノ際申込一口ノ内ヨリ四十枚ヲ抽出シ之ヲ五枚宛檢斤シ五枚ノ最低斤量二百二十九斤ヲ下ラス四十枚ノ平均斤

量一枚四十六斤以上ニ達シタルトキハ一口全部ヲ合格トス

四 前項ノ檢斤ニ於テ合格セザリシモノハ全數量ニ對シ總看

貫ヲ爲シ千枚ノ總斤量四萬六千斤以上ニ達シタルモノヲ以

テ合格トス

五 乾燥程度ハ製造後少クとも五日以上ヲ經過シタルモノヲ

標準トス

第六條 合格品及不合格品ニ對シテハ會社ニ於テ夫々符印ヲ施

スヘシ

第七條 混合保管ノ豆粕ハ發送預委託後運送契約ノ成立ト同時

ニ(倉庫營業規程第五十四條第五十五條參照)混合保管ノ關係

ヲ脱シ爾後寄託者カ有セシ持分上ノ權利ハ該發送ニ依リテ特

定シタル貨物上ノ權利ト爲ルモノトス

第八條 前條ノ豆粕カ奧地產豆粕混合保管到著預委託ノ下ニ大

連埠頭ニ到著シタルトキハ新ニ寄託契約ノ成立スルト同時ニ

(倉庫營業規程第六十九條第七十一條參照)該特定貨物上ノ權

利ハ更ニ大連埠頭奧地產豆粕混合保管ニ於ケル持分上ノ權利

ニ變スルモノトス
 第九條 大連埠頭與地產豆箱混合保管到著預委託ノ豆粕ニシテ
 第一條ノ取扱驛カ検査ノ結果合格ノ認定ヲ爲シタルモノニ付
 テモ亦前條ニ同シ
 第十條 大連埠頭與地產豆箱混合保管ハ上記ノ徑路ヲ經テ大連
 埠頭ニ到着セル豆粕ノ混合保管ニシテ發驛ノ收蔵トハ共通セ
 スシテ別箇ニ獨立シ又大連埠頭與地產豆箱混合保管トモ其ノ收蔵ヲ區
 別ス
 前項豆粕ノ船積荷線ニ對シテハ一枚ニ付金七厘ノ荷線料ヲ申
 受ク
 第十一條 大連經由連絡扱其ノ他ノ任意各驛行ノ扱ニ係ル豆粕
 ト雖託送者ノ希望アルトキハ第一條ノ取扱驛ハ合格不合格ノ
 検査認定ヲ爲スモノトス
 第十二條 本規定ニ別段ノ定メナキモノハ倉庫營業規程ノ定ム
 ル所ニ依ル

社告第四十一號
 明治四十三年十二月社告第五十八號上海聯絡貨物輸送規則第三
 條上海發滿洲輸入ノ場合ニ於ケル運賃表左ノ通改正シ本年十二
 月一日ヨリ實施ス
 大正四年十一月十三日
 總裁 男爵中村雄次郎

發地上海

取別	小	口	扱	一車扱	一噸	二付
著稱等級	一級品	二級品	三級品	四級品	二級品	三級品
臭水子	〇九	〇七	〇六	〇五	八六	六八

最低運賃 一證券面 壹兩六匁
(請規定額第二編八一七頁參照)

旅順	蓋平	營口	遼陽	奉天	鐵嶺	開原	公主嶺	長春	沙河
〇九	〇七	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	〇〇	〇〇	〇〇
一〇四	〇八	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	〇〇	〇〇
一〇四	〇八	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	〇〇	〇〇
一〇四	〇八	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	〇〇	〇〇

示 達
 運輸 運 輸 部 長
 運甲卯第二百二十號
 大正二年二月示達運甲第二百八十一號郵便切手及郵便書類請
 求手續第一條請求標準中左ノ通改正ス
 大正四年十一月十三日
 松樹 百圓
(請規定額第二編六〇四頁參照)

福井縣今立郡片上小學校訓導 杉本 翠
 遼陽尋常高等小學校訓導ニ任ス
 遼陽尋常高等小學校訓導 杉本 翠
 在外指定學校ニ關スル規程第十條第三號ニ依リ休職ヲ命ス
 但シ休職期間ハ南滿洲鐵道株式會社設立公學堂教員就職中ト
 ス
 右十月十四日附(關東都督府發令)
 休職遼陽尋常高等小學校訓導 杉本 翠
 職員ヲ命ス 遼陽公學堂勤務 右十月十四日附

奉天驛勤務 雇員(小荷物) 戶田 信正
 小荷物方ヲ命ス 右十一月十三日附
 遼陽公學堂勤務 職員 杉本 翠
 教員ヲ命ス 右十月十四日附

雜 錄
 正誤 前號雜錄正誤文中崎正秀辭令訂正日附ヲ「十月九日」トセルハ「十一月九日」ノ誤
 廣 告
 ◎上海定期航路

第二千六百六號 大正四年十一月十四日

神戶丸(第百三十六次) 復航青島寄港
 十一月十七日正午 大連出帆
 神丸(第百四十八次) 往航青島寄港
 十一月十九日正午 大連出帆

南滿洲鐵道
株式會社
報

大正四年十一月十六日
火曜日
第二千六百七號

示
達

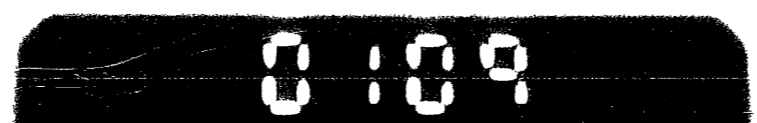
運
輸

運甲卯第二百二十一號
明治四十二年四月示達運甲酉第三號列車運轉報告手續中左記ノ
通改正十一月二十一日ヨリ之ヲ施行ス
大正四年十一月十五日
運輸部長

一 第四條ヲ左ノ通改ム
第四條 本報告ニ於テ列車ノ到着若ハ出發ト稱スルハ停車
場、聯絡所、信號所又ハ其ノ他ノ場所ニ到着若ハ出發スル
ヲ云フ
一 第八條ヲ左ノ通改ム
第八條 列車運轉報告ハ左記各項ニ據リ記入シ品メテ簡明ヲ
期スヘシ
第一項 列車ノ到着又ハ出發カ定時刻ナルトキハ定時刻欄
ニ其ノ時分ヲ記入シ現時刻欄及差時間欄ニハ横ニ一線ヲ
劃シ時分ノ文字ヲ省略スヘシ

第二千六百七號 大正四年十一月十六日

但シ、凡、刻欄ナキモノハ現時刻欄ニ時分ヲ記入シ差時
間欄ノミ右ニ依ルヘシ
第二項 定時刻ヲ定メサル列車及著發時刻ヲ定メサル場所
ニ到着若ハ出發シタル列車ノ時刻ハ現時刻欄ニ其ノ時分
ヲ記入シ定時刻欄及差時間欄ニハ横ニ一線ヲ劃シ置クヘ
シ
第三項 通過列車ノ到着定時刻、現時刻及差時間欄ニハ横
ニ一線ヲ劃シ置クヘシ
但シ臨時ニ停車シタルトキハ到着現時刻欄ニ其ノ時分
ヲ記入スヘシ
第四項 天候欄ニハ列車始發ノ際ニ於ケル天候ヲ記入シ變
徴ナキ限りハ横ニ一線ヲ劃シ其ノ文字ノ記入ヲ省略スヘ
シ
第五項 列車行違變更、列車振替運轉、列車先發、列車特
發、車輛解結等ノ事實ヲ記事セントスルトキハ總テ鐵道
電報用語略稱ノ文字ヲ用ヒ又列車行違驛ニテ對向列車待
合セノ爲遲刻シタルトキハ(X)印ヲ附シ其ノ對向列車ノ
番號ヲ記入シ記事ノ冗長ヲ避クヘシ
一 第二十五條ヲ左ノ通改ム
第二十五條 本報告驛名欄ニハ第四條ニ於テ規定セル各場所



ヲ記入スヘシ停車場、聯絡所、信號所ニ非アル地點ハ其ノ地名(例セシ)太子河水源地ト記スルカ如シ若ハ起點ヲ距ル哩程ヲ以テ之ヲ表示スヘシ但シ砂利撒布等ノ爲途線中線路ニ數回ニ亙リ停車スル場合ハ自何哩何分何何何(最初ト最終ノ停車地點)ト記入シ最初ノ到着時分ト最終ノ出發時分ヲ現時刻欄ニ又停車回數ヲ記事欄ニ記入シ置クヘシ(諸規定類纂第四編二三三頁參照)

人事

- 右十一月九日附 奉天醫院勤務 中村 七郎
- 各通 撫順車輛係勤務 職員(機關手) 菊地 幸助
- 大連車輛係勤務ヲ命ス 同(同) 白井重三郎
- 各通 奉天車輛係勤務 職員(機關手) 熊谷 清吉
- 同(同) 澤井 清
- 撫順車輛係勤務 同(同) 大高大二郎
- 同(同) 福原 増治
- 同(同) 橋本 直藏
- 同(同) 内山 桂作
- 瓦房店車輛係勤務ヲ命ス 職員(機關手) 橋本助次郎
- 遼陽車輛係勤務ヲ命ス 同(同) 橋本助次郎

- 各通 鐵嶺車輛係勤務 職員(機關手) 中馬 榮藏
- 同(同) 山野井與吉
- 公主嶺車輛係勤務ヲ命ス 職員(機關手) 島村竹之助
- 撫順車輛係勤務ヲ命ス 大連車輛係勤務 職員(機關手) 齊原 照治
- 右十一月十二日附 鷄冠山車輛係勤務ヲ命ス

- 各通 大連車輛係勤務 職員 菊地 幸助
- 同 白井重三郎
- 瓦房店車輛係勤務 同 熊谷 清吉
- 同 澤井 清
- 遼陽車輛係勤務 同 橋本助次郎
- 撫順車輛係勤務 同 島村竹之助
- 同 齊原 照治
- 瓦房店車輛係勤務 職員 大高大二郎
- 同 福原 増治
- 同 橋本 直藏
- 同 内山 桂作
- 同 中馬 榮藏
- 同 山野井與吉
- 各通 公主嶺車輛係勤務 同
- 機關助手ヲ命ス 右十一月十二日附

雜錄

▲實業補習學校生徒優等者表彰 附屬地實業補習學校生徒中左記ノ者ハ大正四年九月末ニ於テ成績調査ノ上本社ヨリ特別優等賞ヲ授與セラレタリ

職名	氏名	職名	氏名
注油夫	相葉 榮	驛務見習	阪田 義德
機關夫	池田源太郎	憲兵	寺澤松太郎
機關手	小林 岩藏	電信方	小原 藏人
木工	岡田 乙七	郵便局員	金井 量三
機關助手	鈴木政太郎	病院傭人	河野 直人
驛務小使	松永 四郎	驛務助手	甲斐久兵衛
製圖	大辻 清藏	通信夫	末安元太郎
製圖	藤井 梅吉	電信局員	笹山德太郎
機關助手	蘇野邊憲次郎	驛轉轍方	板倉 賢敬
機關助手	山内 英二	驛務夫	野田作太郎
機關助手	高橋 勘作	小學教員	大隅平十郎
會社員	田邊 利男	東亞煙草會社員	近藤豐次郎
郵便局官吏	村田專之助	驛轉轍方	村上伊之助
機關夫	大重 兼年	無職	矢部 太作
驛務見習	藤木久次郎	驛務見習	龜井 象次
機關夫	九岡 清造	車庫係庫守	山本 篤二
		車庫係小使	竹内與次郎
		車庫係常備夫	龜山 林市
			馬場 義雄
			橋 外次郎

英 語	二	庫 守	小林 竹次
英 語	二	測 量 工	田口 文男
普蘭店實業補習學校	三	官 吏	福田 眞一
支那語	三	教 師	塞田 藩
支那語	三	職工見習	吉田 其治
沙河口實業補習學校	三	組 立 工	中野安治郎
設計製圖術	三	機 械 工 手	野上 正三
理 科 語	三	職工見習	吉村與三郎
英 語	三	縫 工	北澤 佐吉
機械學大意	三	職工見習	伊藤直一郎
設計製圖科	三	車 輛 工	角口與三吉
算 術	三	機 械 工	山田 清吉
支那語	三	小 使	岡山 半曹
英 語	三		

▲傳染病發生

病 名	發病月日	確診月日	現 住 所	氏 名	年 齡
腸室扶斯	十月二十六日	十一月二日	安東山下町一ノ三四	豐島 新作	一八年
同 疑 似	十月二十八日	十一月九日	瓦房店附屬地四三街	北一區 星野 クラ	二四年
同	十一月二日	同	遼陽ハ區一八	湯川 俊吾	二四年
同	十一月四日	同	奉天西三條街七	仲本 逸郎	二九年
同	十一月二十八日	十一月八日	鐵道附屬地東大街	山本 惣吉	二四年
同	十一月二十五日	十一月三日	花房朝日町社宅三	花房 ミツエ	七 年

赤痢 十月二十六日十一月四日 鳳凰城社宅
 猩紅熱 十一月四日十一月七日 鐵道附屬地中央街
 艾 德 會 二六年
 齋 藤 ナミ 三三年

廣 告

◎上海定期航路
 神戶丸 (第三百三十六次) 復航青島寄港
 十一月十七日正午 大連出帆
 神丸 (第四百四次) 往航青島寄港
 十一月十九日正午 大連出帆

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十一月十八日 第二千六百八號
 木 曜 日

示 達

會第七十三號

十一月十八日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾貳圓五拾錢ノ割合ニ改ム
 大正四年十一月十七日 總裁 男爵中村雄次郎

會第七十四號

十一月十八日ヨリ當會社收入外國貨幣中支那銀貨ノ換算相場ヲ金壹圓ニ付銀貨壹圓四拾八錢ノ割合ニ改ム
 大正四年十一月十七日 總裁 男爵中村雄次郎

會第七十五號

十一月十八日ヨリ當會社收入外國貨幣中露國補助貨幣ノ換算相場ヲ露貨壹圓ニ付金六拾五錢ノ割合ニ改ム
 大正四年十一月十七日 總裁 男爵中村雄次郎

運 輸

總裁 男爵中村雄次郎

運乙卯第三百四十一號

奉天驛構内地下道築造工事竣成ニ付本年八月示達運乙卯第三百三十一號該工事施行中奉天驛ニ於ケル列車發着線變更ノ件ハ十一月十五日ヨリ第十列車限リ廢止ス
 大正四年十一月十五日 運輸部長

(社報第二、五三四及二、五八九ニ參照)

通 牒

運 輸

運丁卯第二百一號
 亂石山得勝臺間二百八十一哩七十六鎖砂利線ニ第一番形「ボイント、シグナル」ヲ取付ケ(下リ列車ニ對シ「フエーシング」)

十一月十四日より第二十二列車より當分使用開始ノ旨奉天列車
係ヨリ報告アリタリ
大正四年十一月十七日 運輸部長

人事

職員ヲ命ス 大連醫院勤務 山川 蛟
右十一月八日附

職員ヲ命ス 撫順炭坑土木課勤務 加藤 幸助
右十一月八日附

各通 地方部地方課勤務 職員 小數賀政市
計理部會計課勤務 同 向坊盛一郎
總務部事務局庶務課勤務 同 山田 潤二
特別檢閱委員屬員ヲ命ス
右十一月十七日附

大連醫院勤務 職員 山川 蛟
藥劑員ヲ命ス
右十一月八日附

雜錄

▲特別檢閱委員 佃理事ハ十一月十七日特別檢閱委員ニ指定セ
ラレタリ

廣告

▲重役歸社 沿線出張中ナリシ佃理事ハ十六日歸社セリ
▲正誤 社報第二、六〇六號所載社告第四十一號運賃表中抜別ノ下ニ車扱ノ括弧内
(半噸)トアルハ(米噸)ノ誤植

◎上海定期航路
神九 (第四百四次) 往航青島寄港
十一月十九日正午 大連出帆
神戶九 (第三百三十七次) 復航青島寄港
十一月二十四日正午 大連出帆

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十一月十九日

金 曜 日

第二千六百九號

示 達

運 輸

運甲卯第二二三號
自今危險品中左記品目ヲ限リ大阪商船發社線著聯絡ノ取扱ヲ爲
ス
大正四年十一月十八日 運輸部長

品 目	大連ニ於ケル接續費
燐 寸 一噸(當社準則貨物取扱規 則所定ノ噸ニ依ル)	金五拾五錢
生石灰、玩弄花 火類、油紙、油布 及同製品、強酸 類、石油揮發油	同 金九拾五錢

但シ大連港則ニ依リ大連埠頭ニテ取扱ヒ得ル數量制限内
ニ限ル
(諸規定類第三編八〇九頁參照)

運 輸

運丁卯第二二二號
社用品運送手續第八項ニ依ル託送取扱主任者左記ノ通追加ス
大正四年十一月十八日 運輸部長

託送 所 所屬 氏名
大連萬家嶺間及旅順線各驛 大車保線係 保見 傳

人 事

多ヶ谷 恂
藤井 秀一
矢澤 四郎
金子 定春
本田寬八郎

職員ヲ命ス 總務部技術局勤務
右十一月十五日附

職員ヲ命ス 埠頭事務所勤務
運輸部勤務 職員 木村 總助

通 牒

第二千六百十號 大正四年十一月二十日

號九十八枚紛失ノ旨届出アリシニ付自今無効トス
▲神戸丸就航延期 上海定期船神戸丸ハ機關部修繕ノ爲一航海
休航ノ上本日正午出帆ノ豫定ノ處修繕ノ都合ニ依リ尙引續キ
三航海休航ノコトナレリ
▲正誤 前號通牒運輸運丁卯第二〇二號左記中「大連保線係」ハ「大連保線係」ヲ誤
植

廣 告

◎上海定期航路
神 丸 (第百四次) 往航青島寄港
十一月十九日正午 大連出帆
神戸丸 (修繕ノ爲休航)

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十一月二十一日

日 曜 日

第二千六百十一號

ニ關スル件申但書及左記ノ注意(一)ニテ削除シ左記ノ(二)「前
項一、二ノ場合」トアルヲ「前項ノ(ロ)ニ依ル場合」ト改ム
大正四年十一月二十日 運輸部長

(諸規定類纂第二編九九〇ノ三頁參照)

通 牒

運 輸

運丁卯第二〇四號
自今南滿東清聯 貨物等級表中「ア」ノ部、油(脂)類欄内ノ車軸
油ハ礦物性油ニ ラス植物性油及動物性油ヲモ含ム儀ト心得ラ
ルヘシ
大正三年二月運丁丑第三百四十七號ハ之ヲ廢止ス
大正四年十一月二十日 運輸部長

(諸規定類纂第二編九九〇ノ五頁參照)

運丁卯第二〇五號
明治四十四年三月通牒運丙第六百十七號日本郵船會社日本各港

示 達

運 輸

運甲卯第二〇四號
南滿東清聯絡運輸ニ依ル貨物ノ運賃計算方法ハ從來聯絡規程類
纂第五編聯絡貨物等級表ニ記載ナキ貨物ニ對シテハ聯絡等級表
所載品名ノ類似品トシテ取扱フカ又ハ社線ト東清鐵道ノ地方的
貨率合算ニ依ルカ何レカニ依リ運賃ノ計算ヲ行ヒタルモ自今聯
絡貨物等級表ニ記載ナキ貨物ニ對シテハ類似品ニ依リ取扱フ爲
ナス總テ現行聯絡規程類纂第三編第二十二條ニ依リ取扱フヘシ
大正三年九月運丁寅第六十八號及同年十二月運丁寅第二〇二
十七號、第二〇五十八號ハ之ヲ廢止ス
大正四年十一月二十日 運輸部長

(諸規定類纂第二編九九〇ノ五頁參照)

運甲卯第二〇五號
大正三年九月運甲寅第九十五號南滿東清聯絡貨物品名記載方

第二千六百十一號 大正四年十一月二十一日

行貨物船貨表ハ大連經由ノ場合ニシテ適用シ營口經由ノ場合ハ別ニ定ムル所ニ依ル旨同社ヨリ通知アリタルニ付該汽船運賃ハ自今左ノ通改訂セラレタル義ト承知セララルヘシ
大正四年十一月二十日 運輸部長

品名	單位	大連經由	營口經由	備考
一等品一噸	噸	五五〇	七二〇	一オノ價格金貳拾五圓以上ノモノヲ指ス
二等品一噸	噸	四八〇	六〇〇	一オノ價格金拾五圓以上ノモノヲ指ス
三等品一噸	噸	四〇〇	五〇〇	一オノ價格金拾圓以上ノモノヲ指ス
原價取	金百圓	七五	一〇〇	一オノ價格金拾圓以上ノモノヲ指ス

但シ大豆、豆粕其ノ他滿洲特産物ノ運賃及前記以外ノ各港行運賃ハ託送ノ都度運輸部營業課ニ電照スヘシ

凡 例

- 一 曲尺一立方尺ヲ以テ一オトシ四十才又ハ千五百斤ヲ以テ一噸トス
- 一 運賃ハ貨物ノ才積、重量ニ對スル運賃ヲ比較シ何レカ多キ方ヲ以テ收入ス
- 一 貨物ノ才積、重量ヲ算出スル才及噸ハ四捨五入ノ法ヲ以テ分位ニ止ム

錢ノ端數ハ錢ニ切上ク
一口ノ貨物才數三才以下ノモノハ左ノ運賃ヲ以テ最低トス

- 一才以下 三〇〇
- 二才以下 四〇〇
- 三才以下 五〇〇

但シ三才以上ノ貨物運賃カ金五拾錢ニ滿タサル場合ハ金五拾錢ヲ以テ最低運賃トス

大阪行貨物ニシテ本船同地ニ廻航セザルトキハ阪神間解賃其ノ他一切貨主ノ負擔トス

一名古屋行貨物ニ對スル四日市ヨリ名古屋迄ノ解賃、東京行貨物ニ對スル橫濱ヨリ東京迄ノ解賃ハ貨主ノ負擔トス

(諸規定類第一編八二頁參照)

運丁卯第二百六號
大正二年十二月運丁丑第二百七十七號日本郵船會社線天津航路貨物運賃中左記ニ、自營口至天津運賃率ヲ追加スル旨同社ヨリ通知アリタリ

大正四年十一月二十日 運輸部長

一、自營口至天津運賃率
一等品 一噸ニ付(四百才又ハ千五百斤) 金五圓
二等品 同 同 金四圓五拾錢
三等品 同 同 金四圓
最低運賃(凡一噸ニ付)
(諸規定類第一編八二頁參照)

人事

本溪湖經理係勤務ヲ命ス 職員 東條喜太郎

鐵嶺經理係勤務ヲ命ス 職員 村田 督

總務部事務局長職務ヲ命ス (本溪湖) 職員 村田 督

開原經理係勤務ヲ命ス 職員 佐倉 毅

運輸部營業課勤務ヲ命ス (在勤) 職員 小柳 萬吉

安東經理係勤務ヲ命ス 職員 小柳 萬吉

本溪湖經理係勤務ヲ命ス 職員 星明 清麿

總務部技術局勤務ヲ命ス 職員 星明 清麿

右十一月二十日附

長春實業補習學校講師ヲ解ク 巖崎彌五郎

長春實業補習學校講師ヲ解ク 南滿洲工業學校教諭 職員 熊田 一貫

附設補習夜學部講師ヲ囑託ス 右十一月二十日附

雜錄

▲倉荷證券紛失 左記證券紛失ノ旨届出アリタリ

證券種類 倉荷證券

證券番號 第七五二四號

發行年月日 大正四年十一月一日

作成地 大連埠頭事務所

寄託種類 到著預

保管場所 大連埠頭

寄託者 鈴木商店

品名 大豆

筒數 貳百拾七袋

▲實業補習學校通譯適任豫備試驗合格者 大正四年十月二十四日施行ノ附屬地實業補習學校第一回通譯豫備試驗合格者左ノ如シ

支那語

野田 林太	川田 通秀	加藤 才吉
福本 信善	渡邊 綱賢	最所光太郎
野上 正三	大塚 新藏	福西 眞一
越川 克	安井 友吉	辻 馨
大竹正五郎	御船真壽太	内山 孔久
小畑專次郎	金子 秀夫	橋 外次郎
内藤亥三郎	西島卯三郎	打田重次郎
松窪 龜七	平出 成樹	野村 萬八
金森 貫一	平岩房次郎	阿南 久吉
富永 重治	濱地 良三	平 丑吉
田中順之助	尾形龜代之助	渡瀬 林藏
遠藤 榮二	中村 治郎	田村 義雄
小松 六郎	三木桂三郎	坂田磯五郎
品川 昌次	稻垣甚兵衛	猪野英三郎
吉田 廣盛	鈴木 重範	關澤仲次郎
松尾團三郎	藤尾 正作	吉田 欽一
前山 高治	飯村 憲五	市丸 虎太
中村寅次郎		

日語
 千容年沙河
 趙連舉海
 孫富貴天
 許永厚公
 侯治業順
 李渭順

劉和衷
 傅培房
 段堯天
 山運街
 蔡克新公
 王宗武城

宮仁
 楊佐
 梁廷
 高延
 張中
 王朝

方普
 廷店
 祥欲
 允長
 宗春
 春湖

廣告

◎上海定期航路
 柳丸 (第百五次) 往航青島寄港
 十一月二十六日正午 大連出帆
 神戶丸 (修繕ノ爲休航)

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十一月二十二日 火曜日 第二千六百一十二號

示達

運輸
 運甲卯第二百二十六號
 大正四年十月社告第三十八號列車運轉時刻表中一部ヲ左記ノ通
 改正シ本月二十五日ヨリ之ヲ施行ス
 大正四年十一月二十二日 運輸部長

上リ (30) 貨	大沙河	連口	下リ (23) 貨	連口	沙河	大沙河	金溝子	開原
7.31	7.32	7.32	5.05	5.29	5.35	5.45	5.50	5.51
7.54	7.54	7.54	5.45	5.50	5.51	6.21	6.22	6.32
			6.21	6.22	6.32	6.37		

運甲卯第二百二十七號
 大正四年十月示達運甲卯第二百號列車運轉施行手續第三十七條
 別表水槽車運用表中一部ヲ左記ノ通改正シ本月二十五日ヨリ之
 ヲ施行ス
 大正四年十一月二十二日 運輸部長

人事

鐵嶺 (29) 番號 4 B (30)
 金溝子
 各通
 總務部事務局庶務課勤務ヲ命ス
 長春經理係主任 職員 巖崎彌五郎
 開原經理係主任 同 島山六之助
 公主嶺經理係主任 職員 大河平隆光
 安東經理係主任 同 松本 襲逸
 大石橋經理係主任 同 伊藤 原藏

地方部地方課勤務ヲ命ス
 總務部交涉局第一課勤務 職員 小倉 鐸二
 瓦房店經理係主任ヲ命ス
 計理部用度課勤務 職員 入江正太郎
 大石橋經理係主任ヲ命ス
 計理部會計課勤務 職員 神保 大伴
 開原經理係主任ヲ命ス
 總務部事務局庶務課勤務 職員 服部 誠藏
 公主嶺經理係主任ヲ命ス
 運輸部勤務 職員 村田 懿麿
 長春經理係主任ヲ命ス
 瓦房店經理係主任 職員 横田多喜助
 安東經理係主任ヲ命ス
 撫順炭坑坑務課勤務 職員 村瀬恒三郎
 依願職員ヲ免ス
 大連醫院勤務 職員 香川 松美
 依願職員ヲ免ス
 須鼻 梁平
 雇員ヲ命ス 埠頭事務所勤務
 右十一月二十二日附

金壹圓 埠頭事務所所在勤 現業助手 小原安太郎
 金壹圓 同 同 山口 嘉藏
 金壹圓 同 同 石田 辰藏
 金壹圓 同 同 横濱 長松
 金壹圓 同 同 井上 春雄
 金壹圓 同 同 吉末龜太郎
 金壹圓 同 同 牛島 逸
 金壹圓 同 同 中俣 親雄
 金壹圓 同 同 荒木 雄助
 金壹圓 同 同 江村 武吉
 金壹圓 同 同 矢賀部繁雄
 金壹圓 同 同 河内 榮助
 金壹圓 同 同 中元 熊彦
 金壹圓 同 同 高畑 傳
 金壹圓 同 同 山本 徳市
 金壹圓 同 同 野呂 欽三
 金壹圓 同 同 峰 治三
 金壹圓 同 同 石田 梅吉
 金壹圓 同 同 加藤 建雄
 金壹圓 同 同 川本 重吉
 大正四年十月十一日暴風雨ノ際保管貨物ノ損害豫防ニ努メ盡力
 勤カラサルニ付賞與
 右十一月二十二日附

雜 錄

▲實業補習學校商議員囑託 大石橋實業補習學校商議員滿期ノ
 處左記ノ通更ニ囑託セラレタリ
 生川 玉樹 鈴木 二郎 佐藤 俊久 宮澤太喜彌
 藤田 操 桑原 勳 小林 才治 石川 憲二
 ▲雇員死亡 鐵嶺驛勤務雇員落合喜三郎ハ十一月二十一日病死
 セリ
 ▲圖書館藏書目錄 和漢書(第五回)目錄本號ニ添附セリ
 ▲正誤 前號社報運送運輸連丁卯第二百四號中「東清聯絡」ノ「結」字及「礦物性
 油ニ關ラス」ノ「限」字ヲ脱セルモノアリ

廣 告

◎上海定期航路
 神九 (第百五次) 往航青島寄港
 十一月二十六日正午 大連出帆
 神戶丸 (修繕ノ爲休航)

南滿洲鐵道
株式會社 報

大正四年十一月二十四日
水 曜 日
第二千六百十三號

社 告

社告第四十二號
南滿東清聯絡貨物ノ引換代金ニ採用スル日露貨幣換算率ニ關スル大正三年十月社告第五十一號ノ一ヲ左ノ通改メ本年十一月二十五日以降之ヲ實施ス
大正四年十一月二十三日

一 當社ニ於テハ引換代金收入ノ際ハ百留金六拾四圓ノ換算率ニ依ル

示 達

會第七十七號
十一月二十四日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾四圓五拾錢ノ割合ニ改ム
大正四年十一月二十三日

總裁 男爵中村雄次郎

第二千六百十三號 大正四年十一月二十四日

會第七十八號
十一月二十四日ヨリ當會社收入外國貨幣中露貨紙幣並補助貨幣ノ換算相場ヲ壹留ニ付金六拾參錢ノ割合ニ改ム
大正四年十一月二十三日

總裁 男爵中村雄次郎

會第七十九號
十一月二十四日ヨリ當會社收入外國貨幣中支那銀貨ノ換算相場ヲ金壹圓ニ付銀貨壹圓四拾六錢ノ割合ニ改ム
大正四年十一月二十三日

總裁 男爵中村雄次郎

運 輸

運甲卯第二百二十八號
大正三年十月運甲寅第二百三十九號南滿東清聯絡貨物運送規則第十二條ニ基テ運賃及附帶料金徵收取扱方ノ件中左記ノ通改正追加シ本月二十五日以降之ヲ實施ス
大正四年十一月二十三日

運輸部長

一 第一ノ五ヲ左ノ通改ム

五、引換代金附貨物

引換代金附貨物ニ對スル爲替手数料ハ常ニ發送鐵道ノ通貨ヲ以テ著拂トシ
イ、南滿洲鐵道到著驛ニ於テハ南滿洲鐵道カ引換代金ニ採用スル換算率ニ依リ
ロ、東清鐵道到著驛ニ於テハ百留百 五拾錢ノ換算率ニ依リ
自鐵道ノ 貨ニ換算ノ上荷受人ヨリ徵收スヘキモノトス
第二ノロノ但書一項ヲ左ノ通改ム
但シ右ノ結果發送驛ノ收得セル運費及附帶料金ニ不足ヲ發見セルトキハ
一、南滿洲鐵道到著驛ニ於テハ南滿洲鐵道カ引換代金ニ採用スル換算率ニ依リ
二、東清鐵道ニ於テハ本聯絡運輸規程類纂第二編運送規則第十二條備考第四項ノ換算率(百留百參圓五拾錢)ニ依リ自鐵道ノ通貨ニ換算ノ上之ヲ荷受人ヨリ追徵スヘシ
第二ノハヲニ改メ新ニハヲ左ノ通追加ス
ハ、本聯絡運輸規程類纂第二編運送規則第七條及同條施行規則ニ基キ割増金ノ運賃差額計算ノ場合南滿洲鐵道到著驛ニ於テハ東清鐵道ノ留建運賃ヲ南滿洲鐵道カ引換代金ニ採用スル換算率ニ依リ圓貨ニ又東清鐵道到著驛ニ於テハ南滿洲鐵道ノ留建運賃ヲ本聯絡運輸規程類纂第二編運送規則第十二條備考第四項ノ換算率(百留百參圓五拾錢)ニ依リ留貨ニ夫々換算シタル後規定ノ計算ヲ行フヘキモノトス
(請規定類纂第二編一四八ノ四頁參照)

運甲卯第二百二十九號

大正三年十月運甲寅第二百四十號南滿洲清聯絡貨物運送規則第十二條ノ備考ニ依リ貨物受託ノ場合取扱方ノ件ニ左ノ但書ヲ追加シ本月二十五日以降之ヲ實施ス
大正四年十一月二十三日 運輸部長
但シ荷主カ現金ノ提供ヲ爲ス場合ニ在リテハ當該貨物ニ對スル東清鐵道ノ收得スヘキ留建運賃及附帶料金ヲ當社カ引換代金ニ採用セル換算率ニ依リ圓貨ニ換算シタル金額ヲ提供セシムヘシ
(請規定類纂第二編一四八ノ四頁參照)

運甲卯第二百三十號

大正三年十二月運甲寅第二百八十六號南滿洲清聯絡死體其ノ他ノ貨物受託ノ場合運賃及附帶料金收入ノ件但書ヲ左ノ通改メ本月二十五日以降之ヲ實施ス
大正四年十一月二十三日 運輸部長

但シ南滿洲鐵道發ノ場合ニ限リ東清鐵道ノ留建運賃及附帶料金ヲ南滿洲鐵道カ引換代金ニ採用セル換算率ニ依リ圓貨ニ換算シタル額ヲ荷受人ヨリ徵收スヘシ此ノ場合運送關係書類「支拂濟欄」ニハ南滿洲鐵道ノ收得額ハ圓建ノモノヲ又東清鐵道ノ收得額ハ留建ノモノヲ各運賃及附帶料金別ニ記シ合計額ヲモ亦通貨別ニ計上記入スヘシ而シテ本課宛報告用運送狀副狀本並自譯控用運送狀副狀ニ限リ東清鐵道ノ收得額ハ留建ノモノト右留建ヲ前通ノ換算率ニ依リ圓貨ニ換算シタルモノト併記スヘシ(記入例ハ關係ノ向ヘ別ニ配合ス)

又運送狀面「荷受人ノ支拂ヒタル運賃ニ關スル記事」欄ニハ「現拂」ト記入スヘシ
荷荷主ノ希望ニ依リ左記第三項ノ貨物ニ限リ大正三年十月社告第五十六號及運甲寅第二百四十號ニ依リ取扱フコトヲ得
(請規定類纂第二編一四八ノ四頁參照)

通 牒

運丁卯第二百七號
大正三年十月社告第五十一號ニ依リ南滿洲清聯絡貨物ノ引換代金ニ採用スヘキ換算率ヲ東清鐵道ニ於テハ本月二十四日以降當分金百圓百五拾八留ト定メタル旨通知アリタリ
大正四年十一月二十三日 運輸部長
運丁卯第二百八號
大正二年七月運丁丑第九十一號南滿洲清貨物聯絡ニ依リ徵收金收入方ニ關スル件ハ自今之ヲ廢止ス
大正四年十一月二十三日 運輸部長

人 事

中央試驗所勤務 雇員 中西金三郎
第二千六百十三號 大正四年十一月二十四日

依願雇員ヲ免ス
右十一月二十三日附

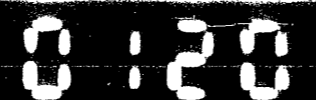
雜 錄

▲貨物引換證紛失 左記證券紛失ノ旨届出アリタリ(運輸部)
證券種類 貨物引換證
證券番號 第參〇四貳號
發行年月日 大正四年十一月五日
作成地 奉天
著 大連埠頭
荷 送 人 山口運輸公司
荷 受 人 同 人
寄託種類 到著預
品 名 牛骨
數 量 貳百七拾五袋

▲雇員死亡 埠頭事務所勤務雇員金馬周藏ハ十一月二十二日病死セリ

▲運動會記事
○スケーティング部幹事異動 幹事河原録四郎山東鐵道へ派遣ノ爲後任トシテ左ノ通指名サレタリ
スケーティング部幹事 重任 文男

▲傳染病發生



病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年齢
腸炎	十一月五日	十一月十八日	水濱柳橋町三五	島田	友吉三二年
同	十一月二日	十一月十一日	通津野社宅	野林	マサ五年
同	十一月六日	十一月十三日	安東山下町二三	宇都宮	イシ二八年
同	十一月九日	同	安東山下町社宅二	金野	光明二五年
同	十一月十日	十一月十九日	奉天西一區街二二	内野	寅藏三八年
同	十一月十日	十一月十八日	奉天西二區街二四	坂田	龜太郎四二年
同	十一月十日	同	鐵嶺東大街	大谷	タイ三三年
同	十一月十四日	十一月十七日	遼陽イ區三九ノ一九	竹本	健吉二九年
同	十一月十日	十一月二十日	五房店西一條北一區	堀江	新次郎九年
同	十一月十五日	十一月十九日	遼陽東洋街七	平松	良平三九年
同	十一月十四日	同	遼陽佟家大街一七	東	與吉三二年
猩紅熱	十一月十五日	同	長春東第七區四一	池田	トモ七年

▲正誤 前號社職人事欄中「村田隆」トアルハ「村田隆」誤テ誤植

廣告

◎上海定期航路
 神丸 (第五百五次) 往航青島寄港
 十一月二十六日正午 大連出帆
 神戶丸 (修繕ノ爲休航)

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十二月二十五日

第二千六百十四號

示 達

總事庶甲第四百九十二號
 鐵道附屬地ニ關スル事務ヲ掌理セシムル爲左ノ各地ニ地方事務所ヲ置き地方ノ管理ニ屬セシム
 瓦房店 大石橋 遼陽 奉天 鐵嶺
 開原 公主嶺 長春 本溪湖 安東
 地方事務所ノ管轄區域ハ別ニ之ヲ定ム
 附 則
 本達ハ本年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
 明治四十一年示達總庶甲第四百七十八號保線係車輛係及經理係設置ノ件中經理係ニ關スル事項、同年示達總庶甲第四百八十九號經理係管轄區域及事務取扱方ハ本達施行ト同時ニ之ヲ廢止シ諸達中「經理係」トアルヲ「地方事務所」ニ改ム
 大正四年十一月二十四日
 總裁 男爵中村雄次郎

總事庶甲第四百九十三號
 總事庶甲第四百九十二號地方事務所設置ニ關スル達施行ノ際經

第二千六百十四號 大正四年十一月二十五日

理係主任タル者ハ其ノ地ノ地方事務所主任ヲ、經理係ニ勤務スル職員及雇員ハ其ノ地ノ地方事務所勤務ヲ命セラレタル義ト心得ヘシ
 大正四年十一月二十四日
 總裁 男爵中村雄次郎

總事庶甲第四百九十四號
 地方事務所ニ於テハ計理部ノ指示ヲ受ケ金錢ノ出納及物品ニ關スル事務ヲ取扱フ
 大正四年十一月二十四日
 總裁 男爵中村雄次郎

會第八十號
 十一月二十五日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾六圓ノ割合ニ改ム
 大正四年十一月二十四日
 總裁 男爵中村雄次郎

會第八十一號
 十一月二十五日ヨリ當會社收入外國貨幣中支那銀貨ノ換算相場ヲ金壹圓ニ付銀壹圓四拾四錢ノ割合ニ改ム

人事

大正四年十一月二十四日
總裁 男爵中村雄次郎

埠頭事務所勤務 職員 松村 利雄
右十一月二十二日附

各通 埠頭事務所勤務(在勤) 職員 迫内喜和次
同 埠頭事務所勤務(在勤) 職員 堀添 篤
營口在勤ヲ免ス

各通 埠頭事務所勤務(在勤) 職員 吉原 米吉
同 同 阿部 勝造
安東在勤ヲ免ス
右十一月二十三日附

各通 大連驛勤務 雇員(車掌) 有馬 實
奉天驛勤務 同(同) 濱田作次郎
大石橋驛勤務ヲ命ス

各通 奉天驛勤務 雇員(車掌) 山口 勝昌
同(同) 井上 亮介
遼陽驛勤務ヲ命ス

各通 大連驛勤務 雇員(車掌) 木田甚九郎
奉天驛勤務 同(見習) 末本 安平
同(同) 佐賀 秀雄
公主嶺驛勤務ヲ命ス
右十一月二十四日附

各通 大石橋驛勤務 雇員 有馬 實
同 濱田作次郎
公主嶺驛勤務 同 木田甚九郎
車掌ヲ命ス

各通 公主嶺驛勤務 雇員 末本 安平
同 佐賀 秀雄
遼陽驛勤務 同 山口 勝昌
同 井上 亮介
車掌見習ヲ命ス
右十一月二十三日附

雜錄

▲懲戒委員會書記解免 懲戒委員會書記服部誠藏ハ本月二十二日附免セラレタリ

▲雇員改名 蘇家屯驛勤務雇員芹澤宇作ハ「卯作」ト改名ノ旨届出タリ

廣告

◎讀書會講演
十一月二十六日(金曜日)午後四時ヨリ中央試驗所講堂ニ於テ開會、話題及演者左ノ如シ
工場管理ト統帥術
水口喜市郎君

南滿洲鐵道株式會社 報

大正四年十一月二十六日

金 曜 日

第二千六百十五號

示 達

總事庶甲第五百號
地方事務所管轄區域左ノ通相定ム
大正四年十一月二十五日

總裁 男爵中村雄次郎

地方事務所管轄區域

瓦房店地方事務所 州界ヨリ蓋平ニ至ル(蓋平ヲ含マス)

大石橋地方事務所 蓋平ヨリ鞍山站ニ至ル(鞍山站ヲ含マス)及營口支線

遼陽地方事務所 鞍山站ヨリ沙河ニ至ル(沙河ヲ含マス)及煙臺支線

奉天地方事務所 沙河ヨリ新臺子ニ至ル(新臺子ヲ含マス)

奉天ヨリ石橋子ニ至ル(石橋子ヲ含マス)

蘇家屯ヨリ撫安ニ至ル(撫安ヲ含ム)

鐵嶺地方事務所 新臺子ヨリ中固ニ至ル(中固ヲ含ム)

開原地方事務所 中固ヨリ四平街ニ至ル(四平街ヲ含ム)

公主嶺地方事務所 四平街ヨリ公主嶺ニ至ル(公主嶺ヲ含ム)

長春地方事務所 公主嶺ヨリ長春ニ至ル及陶家屯輕便線

本溪湖地方事務所 草河口ヨリ石橋子ニ至ル(草河口ヲ含ム)

第二千六百十五號

大正四年十一月二十六日

安東地方事務所 草河口ヨリ安東ニ至ル

總事庶甲第五百一號

四平街ニ公主嶺地方事務所出張所ヲ設ケ同地ニ於ケル地方事務所ヲ分掌セシム

本達ハ本年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正四年十一月二十五日

總裁 男爵中村雄次郎

會第八十二號
鐵道運輸收入金收納區域左ノ通相定メ大正四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正四年十一月二十五日

總裁 男爵中村雄次郎

收納區域

計理部會計課 渾河以南本線及旅順支線各驛收入金

奉天地方事務所 孟家屯以南奉天ニ至ル本線各驛及沙河鎮以北ノ安奉線各驛收入金

長春地方事務所 長春驛收入金

安東地方事務所 安東驛收入金

撫順炭坑 撫順支線各驛收入金
營口驛 營口驛收入金

會第八十三號

地方事務所ニ於ケル計理事務取扱方左ノ通相定ム
大正四年十一月二十五日 計理部長

- 第一 地方事務所ハ管内不動産貸付料及諸般ノ收入金ヲ以テ其ノ所在地ニ於ケル各所係經常所要ノ仕拂金ニ充ツヘシ
- 第二 前項收支不足ノ場合ハ豫メ其ノ所要見込額ヲ計理部會計課又ハ鐵道運輸收入金收納所ニ請求スヘシ但シ會計課以外ノ收納所ニ請求スル場合ハ同時ニ計理部會計課長ノ承認ヲ受クヘシ
- 第三 地方事務所ニ於テ第一項以外ノ支拂金ヲ要スル場合ハ計理部會計課長ノ承認ヲ受クヘシ
- 第四 地方事務所ハ金錢物品ニ關スル帳簿ヲ備ヘ其ノ出納ヲ明瞭ナラシムヘシ
- 第五 地方事務所ハ金錢收支日報ヲ作成シ收支傳票及證書類ヲ添附シテ之ヲ計理部會計課ニ送付スヘシ
- 第六 地方事務所派出員ノ取扱ニ係ル金錢收支ハ其ノ主管事務所ニ於テ之ヲ整理シ前項ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第七 地方事務所ニ於ケル物品取扱ニ關シテハ別ニ定ムル所ノ手續ニ據ルヘシ
- 第八 地方事務所ニ備フヘキ金錢物品ニ關スル帳簿諸表ノ種類様式ハ當該主管課長ノ定ムル所ニ據ルヘシ
- 第九 前各項ノ外計理事務ニ關シ別ニ規定アルモノハ該規定ニ據ルヘシ

運輸

運乙卯第二百四十七號

十一月二十八日ヨリ左記ノ通休止申ノ貨物列車ヲ復活運轉ス
大正四年十一月二十五日 運輸部長

- 一 復活列車
 - 大連 瓦房店間 下リ第百七十五列車 十一月二十九日ヨリ
 - 瓦房店 大石橋間 上リ第百八十一列車 十一月二十九日ヨリ
 - 大石橋 遼陽間 下リ第百八十六列車 十一月二十八日大石橋發ヨリ
 - 遼陽 奉天間 上リ第百九十列車
 - 奉天 鐵嶺間 下リ第百九十三列車 十一月二十九日ヨリ
 - 鐵嶺 公主嶺間 上リ第百九十八列車 十一月二十九日ヨリ
 - 公主嶺 長春間 下リ第百一列車
- 二 本運施行ニ伴ヒ機關車運用同乘務員、車掌並乘務貨物方業務表中一部ヲ左ノ通復活復舊若ハ變更ス
 - 機關車運用表 (乘務員乘務方之ニ同ク)
 - 大連車輻係 番號39ヲ復活シ其ノ往路ヲ第百七十五列車、復路ヲ第十六列車ニ變更ス

瓦房店車輻係 番號62、65ヲ復活シ63ト78、64ト69ノ變更組合セヲ解キ更ニ69ト78ヲ變更組合セトス

大石橋車輻係 番號87ヲ復舊シ變86ノ往路ヲ第百八十一列車ニ變更ス

遼陽車輻係 番號104、119ヲ復活シ119ノ往路ヲ第二十三列車、復路ヲ第三十列車ニ變更ス

奉天車輻係 番號135、136ヲ復活シ125、135及變134ヲ左ノ通變更ス

○車掌乘務表

大連驛 番號10ヲ復活シ其ノ往路ヲ第百七十五列車ニ復路ヲ第十六列車ニ變更ス

大石橋驛 番號41ヲ復活變41、53ヲ復舊シ41及變52ヲ左ノ通變更ス

鐵嶺車輻係 番號變152ヲ休止ス

公主嶺車輻係 番號170、171、178ヲ復活ス

○機關車乘務員乘務表

瓦房店車輻係 番號62、65ヲ復活シ58ト69ノ變更組合セヲ解キ58ト65、62ト69ノ規定組合セニ復ス

公主嶺車輻係 番號170、171、178ヲ復活シ168ト171、170ト173ヲ變更組合セトス

大連驛 番號變174、181、176

大石橋 番號變23

瓦房店 番號變41、52

遼陽驛 番號變58、67ヲ復活シ67ノ往路ヲ第二十三列車ニ復路ヲ第三十列車ニ變更ス

奉天驛 番號變84、85ヲ復活シ74、84、85及變83ヲ左ノ通變更ス

鐵嶺 番號變11、16、20、22、15、32

瓦房店 番號變74、83、84、85

鐵嶺驛 番號9ヲ休止ス
公主嶺驛 番號104、108ヲ復活シ103ノ復路ヲ第二十三列車ニ104ノ復路ヲ第二十七列車ニ變更ス
○乘務貨物方乘務表

公主嶺驛 番號變219ヲ復舊ス

三 本達施行ニ伴ヒ公主嶺著下リ第二十九列車ノ中間車ハ翌日下リ第十一列車ニ繼送スヘシ而シテ下リ第十三列車ハ十一月二十八日ヨリ大屯驛通過ニ復ス

四 本復活ニ伴ヒ機關車並乘務員移替リ方左ノ通取計フヘシ
○瓦房店大石橋間
△十一月二十八日瓦房店發下リ第百八十一列車車掌ハ同日大石橋ヨリ上リ第四列車ニ便乘出向スヘシ

○奉天鐵嶺間
△奉天車輛係受持番號134、136、奉天驛受持番號85ハ左ノ通仕業スヘシ依テ十一月二十八日鐵嶺奉天間上リ第十四列車補助機關車ノ使用ヲ休止ス

136、134ハ十一月二十七日自驛發ヨリ
85ハ十一月二十八日自驛發ヨリ

○鐵嶺公主嶺間
△乘務員ハ十一月二十八日公主嶺發ヨリ何レモ變更「ダイヤ」ニ依リ乘務スヘシ

附記
本達施行ト同時ニ奉運乙第九十一號達ハ自然消滅トス又途中停車列車ニシテ變更中ノモノハ指定列車ノ復活ニ伴ヒ自然復舊スルモノトス尙機關車運用表中瓦房店車輛係受持瓦房店大石橋間下リ第七十七列車ニ對スル仕業番號ハ54ノ誤

運内卯第二百四十號
合名會社鈴木商店大連出張所ヲ荷受人トスル貨物運賃ハ本年十一月十八日ヨリ大正五年三月三十一日迄後拂ニテ取扱フコトヲ得
大正四年十一月二十五日
運輸部長

雜錄

▲大連經理係廢止後事務所屬ノ件 本年十一月三十日限り大連經理係廢止セララルニ付同係ノ事務ハ十二月一日以後地方部ニ於テ取扱フコトナレリ

▲雇員改名 開原公學堂勤務雇員西村數雄ハ「かを」ト改名ノ旨届出タリ

▲傳染病發生

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年齢
腸管扶斯	十一月五日	十一月二十二日	本溪湖旭町四二	藥師寺 賢三〇年	
同	十一月十六日	十一月二十日	奉天四一條街二ノ	大戸 嘉友三六年	
同	十一月四日	十一月二十二日	本溪湖河西街二ノ	徳王丸 キヌ一年	
同	十一月六日	十一月二十日	本溪湖河西街四二	梅津 操五年	
同	十一月十日	十一月十九日	本溪湖河西街五二	戸田 信吉四四年	
同	十一月七日	同	昌圖附屬地二丁目	中田金五郎 三五年	
同	十一月十一日	十一月二十二日	奉天四五條街社宅	菅沼 雅男 三三年	
同	十一月十二日	十一月二十日	遼陽イ區三七ノ二二	小關 基二六年	

パチアス十一月五日十一月二十日遼陽イ區三七ノ二三 高野健太郎 三三年
赤痢十一月十四日同 本溪湖河東街五〇 關口 要吉 三三年

▲正誤 前號人車欄右馬實外六名誤令日附(人車欄終行)十一月二十三、二十四日ノ誤又同欄木田甚九郎ノ「郎」字ヲ脱シタルモノアリ

廣告

◎上海定期航路

神丸 (第百五五) 往航青島寄港

十一月二十六日正午 大連出帆

神戶丸 (修繕ノ爲休航)

南滿洲鐵道
株式會社
報

大正四年十一月二十七日

土曜日

第二千六百十六號

示 達

會第八十四號
十一月二十七日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾八圓ノ割合ニ改ム
大正四年十一月二十六日

總裁 男爵中村雄次郎

會第八十五號

十一月二十七日ヨリ當會社收入外國貨幣中支那銀貨ノ換算相場ヲ金壹圓ニ付銀貨壹圓四拾錢ノ割合ニ改ム
大正四年十一月二十六日

總裁 男爵中村雄次郎

運甲卯第二百三十二號

明治四十年五月示達第十九號石炭輸送手續左ノ通改正ス
大正四年十一月二十六日

副總裁 國澤新兵衛

鑛業部託送石炭輸送手續

第二千六百十六號 大正四年十一月二十七日

第一條 石炭ノ發送ヲ要スルトキハ鑛業部ニ於テ豫メ運輸部ト打合セ其ノ數量、到着驛及荷受人ヲ指定シテ之ヲ發送課所及關係驛ニ通知スヘシ

第二條 輸送スヘキ石炭ハ發送課所ヨリ石炭託送書ト共ニ發送地驛長ニ引渡シ發送地驛長ハ託送書ト現品トヲ對照シ相違ナシト認メタルトキハ石炭運送引受書ヲ發送課所ニ回付スヘシ

第三條 發送地驛長ハ石炭託送書ニ依リ石炭運送原簿、同報告、同通知書ヲ作成シ原簿ハ發驛ニ留メ報告ハ運輸部營業課ニ提出シ通知書ハ到着驛ニ現品ト共ニ送付スヘシ

第四條 到着驛ニ於テハ現品ノ到着ト共ニ荷受人ニ到着ノ通知ヲ爲シ運送通知書相當欄ニ荷受人ノ記名捺印ヲ徵スルカ又ハ相當領收證ト引換ニ現品ノ引渡ヲ爲スヘシ

第五條 到着驛ハ現品引渡後左記ノ區間ニ依リ其ノ受持箇所ニ石炭引渡日報ヲ送付スヘシ

區 間 受 持 箇 所

大連九塞間及旅順線(旅順ヲ除ク) 本社鑛業部販賣課

旅 順 旅順鑛業部販賣課出張所

熊岳城他山間、營口 營口鑛業部販賣課出張所

海城沙河間 遼陽鑛業部販賣課出張所

蘇家屯鐵嶺間及撫順線(撫順ヲ除ク) 奉天鑛業部販賣課出張所

平頂堡郭家店間 四平街鑛業部販賣課出張所
 蔡家長春間 長春鑛業部販賣課出張所
 陳相屯秋木莊間 本溪湖鑛業部販賣課出張所
 鷄冠山安東間 安東鑛業部販賣課出張所

撫順 撫順炭坑
 第六條 到著驛驛長ハ荷受人ヨリ君貴立會ノ請求アリタルトキ
 ハ其ノ請求ニ應シ該結果ヲ鑛業部販賣課ニ報告スヘシ
 (請規定額第五編八三頁參照)
 (請規定額第五編七五頁參照)

運輸

運甲卯第二千三百三十三號
 瓦房店、大石橋、昌圖、公主嶺、鷄冠山ニ三回線用自働報時機
 ヲ裝置シ本年十二月一日ヨリ實施ニ付鐵道電報中繼順路並時報
 傳送順序中左ノ通改正ス
 大正四年十一月二十六日 運輸部長

一時報傳送順序擔當所名中ヨリ左ノ四箇所ヲ十一月三十日限
 リ削除ス
 遼陽 鐵嶺 四平街 橋頭
 一 擔當所奉天ノ受持線名中「安東奉天二番線」トアルヲ「安東
 奉天一番線」ニ改メ「遼陽奉天線」ノ一號ヲ追加ス
 一 昌圖、公主嶺、鷄冠山ノ受持線名ヲ左ノ通改正ス
 昌圖 鐵嶺 昌圖線
 昌圖 四平街線
 公主嶺 四平街公主嶺線
 公主嶺 長春線

鷄冠山 橋頭線

安東 鷄冠山線

(請規定額第五編八三頁參照)

人事

依願職員ヲ免ス 產業試驗場勤務 職員 篠田田鶴雄
 各通 奉天驛勤務 雇員(電信方) 青木 茂
 營口醫院勤務 雇員 森内 文平
 依願雇員ヲ免ス 右十一月二十六日附

雜錄

▲遼陽區諮問委員 林堯賀、矢野善三、橋本龍八、北川八郎、
 松尾勘六、森恒治ノ諸氏ハ遼陽區諮問委員ニ十一月二十五日
 指名セラレタリ
 ▲蓋平區諮問委員 大山貞藏氏ハ蓋平區諮問委員ニ十一月二十
 六日指名セラレタリ
 ▲職員改名 築港事務所勤務職員木村三郎ハ「平太」ト改名ノ旨
 届出タリ

廣告

◎上海定期航路
 柳丸 (第百六次) 往航青島寄港
 十二月三日正午 大連出帆
 神戸丸 (修繕ノ爲休航)

南滿洲鐵道
株式會社
報

大正四年十一月二十八日

日 曜 日

第二千六百十七號

社 告

社告第四十三號

大正四年十二月一日ヨリ近江町社宅ニ近江町圖書閱覽場ヲ設置ス

大正四年十一月二十七日

總裁 男爵中村雄次郎

示 達

會第八十六號

地方事務所豫算ハ經理係豫算ヲ費用シ之カ決算ハ本年度ニ限り
總體費經理費ヲ以テ整理スヘシ

大正四年十一月二十七日

總裁 男爵中村雄次郎

會第八十八號

十一月二十八日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金九拾
圓ノ割合ニ改ム

第二千六百十七號 大正四年十一月二十八日

大正四年十一月二十七日

總裁 男爵中村雄次郎

會第八十九號

十一月二十八日ヨリ當會社收入外國貨幣中支那銀貨ノ換算相場
ヲ金壹圓ニ付銀貨壹圓參拾八錢ノ割合ニ改ム

大正四年十一月二十七日

總裁 男爵中村雄次郎

人 事

本溪湖保線係勤務ヲ命ス

總務部技術局勤務 職員 清水京太郎

遼陽保線係勤務ヲ命ス

總務部技術局勤務 職員 竹村孝太郎

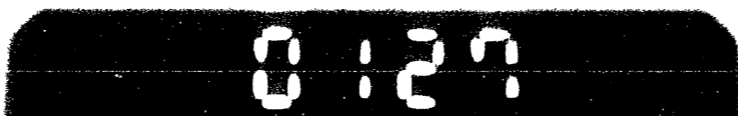
總務部技術局勤務ヲ命ス

遼陽保線係勤務 職員 本幡 斯文

長春保線係勤務ヲ命ス

本溪湖保線係勤務 職員 大山 留三

右十一月二十七日附



雜錄

▲電報發送責任者削除 電報發送責任者名簿備考第三項ノ責任者所屬異動ノ爲削除ス(キ者左ノ通(運輸部))

賴信驛所 所屬 氏名 記事
 全線 總務部技術局 柳下 大藏 豫備員(山東行)
 全線 運輸部 木村 總助 辭職
 開原 開原經理係 佐倉 毅一 轉勤
 本社 經理部會計課 神保 太仲 同
 全線 總務部事務局庶務 服部 誠藏 同
 公主嶺 產業試驗場 篠田田鶴雄 辭職

▲大石橋區諮問委員 佐藤俊久、鈴木二郎、生川玉樹、宮澤太喜彌、桑原勳、小林才治、石川憲二ノ諸氏ハ本月二十一日大石橋區諮問委員ニ指名セラレタリ

▲鐵嶺區諮問委員 早間正志、中井國太郎、鹽川隆太郎、大藪鉦太郎、小山勘右衛門、清水金三ノ諸氏ハ本月二十五日鐵嶺區諮問委員ニ指名セラレタリ

▲雇員改名 運輸部運轉課勤務雇員末次二郎ハ「次郎」ト改名ノ旨届出タリ

廣告

◎上海定期航路

神丸 (第百六次) 往航青島寄港
 十二月三日正午 大連出帆
 神戶丸 (修繕ノ爲休航)

大正四年十一月

社報目錄

自第二五九六號 至第二六一八號

南滿洲鐵道株式會社

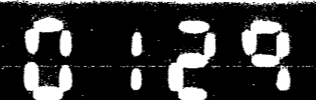
凡例 第一段ノ項目ノ號數、第二段ノ件名、第三段ハ社報號數、第四段ハ社報發行日トス

社則	七 營口驛及安東驛ニ於ケル埠頭發著手數料及埠頭轉繫手數料制定 二、五九九 五	八 營口驛及安東驛ニ準用スル埠頭料金ノ件 同	社告	三九 南滿東清聯絡貨物ノ引換代金ニ採用スル日露貨換算率改正 二、六〇三 一〇	四〇 奧地產豆粕混合保管取扱開始 二、六〇六 一四	上海聯絡貨物上海發滿洲輸入ノ場合ニ於ケル運賃表改正 同	四二 南滿東清聯絡貨物ノ引換代金ニ採用スル日露貨換算率改正 二、六一三 二四	四三 近江町圖書閱覽場設置 二、六一七 二八	四四 社線青島間貨物連絡輸送取扱開始 (十二月二十日施行) 二、六一八 三〇	示達	四五六 給水所及其所屬ノ件中改正 二、五九九 五	總務部	四八三 被服規程附屬表中改正 二、六一〇 二〇	四九二 地方事務所設置ノ件 二、六一四 二五	四九三 地方事務所主任及在勤員ノ件 同	四九四 地方事務所ニ於テ金錢ノ出納及物品事務ヲ取扱フ件 同	五〇〇 地方事務所管轄區域 二、六一五 二六	五〇一 四平街ニ公主嶺地方事務所出張所設置 同	(運甲)	二二二 鑛業部託送石炭輸送手續 二、六一六 二七	六九 支那銀貨換算相場 二、五九八 四	七〇 收入銀貨換算相場 同	七二 露貨紙幣換算相場 二、六〇三 一〇	七三 收入銀貨換算相場 二、六〇八 一八	七四 支那銀貨換算相場 同	七五 露國補助貨換算相場 同	七六 收入銀貨換算相場 同	七七 同 同	七八 露貨紙幣及補助貨幣換算相場 同	七九 支那銀貨換算相場 同	八〇 收入銀貨換算相場 同	(會)	二、六一四 二五
----	--	---------------------------	----	--	---------------------------------	--------------------------------	--	------------------------------	---	----	--------------------------------	-----	-------------------------------	------------------------------	------------------------	----------------------------------	------------------------------	----------------------------	------	--------------------------------	---------------------------	------------------	----------------------------	----------------------------	------------------	-------------------	------------------	-----------	-----------------------	------------------	------------------	-----	-------------

社報目錄 大正四年十一月

八二 支那銀貨換算相場 (金一圓三付)	二、六一四二五	二二四 南滿東清聯絡運輸ニ依ル貨物ノ運賃計算方法ノ件	二、六一二二一
八三 鐵道運輸收入金收納區域	同	二二五 南滿東清聯絡貨物品名記載方ニ關スル達 (大正三年九月達) 中改正	同
八四 收入銀換算相場 (銀一圓四付)	同	二二六 列車運轉時刻表中一部改正	同
八五 支那銀貨換算相場 (銀一圓四付)	同	二二七 水糟車運用表中改正	同
八六 地方事務所豫算ハ經理係豫算費用ノ件	同	二二八 南滿東清聯絡貨物運送規則第十二條ニ依ル運賃及附帶料金徵收取扱方ノ件 中改正	同
八八 收入銀換算相場 (銀一圓三付)	同	二二九 南滿東清聯絡貨物運送規則第十二條備考ニ依ル貨物受託ノ場合取扱方ノ件 但書追加	同
八九 支那銀貨換算相場 (銀一圓三付)	同	二三〇 南滿東清聯絡運輸死體其他ノ貨物受託ノ場合運賃料金收入方ノ件 但書改正	同
地方) 三二八 學堂、學校等ニ於テ大禮奉祝儀式舉行ノ際萬歲奉唱時刻ノ件	同	二三三 瓦房店外四驛ニ三回線用自動報時機裝置ノ件	同
二〇九二 附屬地小學校兒童訓練要目	同	二四一 奉天驛構内地下道築造工事竣成ニ付施工中列車發着線變更ノ達廢止	同
	外一〇	二四七 大連長春間休止中ノ貨物列車復活運轉ノ件	同
	號	二四〇 鈴木商店大連出張所ヲ荷受人トスル貨物運賃後拂扱ノ件	同

二二二 鮮鐵聯絡貨物運輸取扱手續中改正	二、五九七	二〇四 南滿東清聯絡貨物等級表中油(脂)類欄車軸油ノ解疏	二、六一二二一
二二四 「シート」ロープ」取扱手續第十二條 但書追加	二、五九九	二〇五 日本郵船日本各港行貨物船貨表ノ件	同
二二五 列車運轉時刻表中一部改正	同	二〇六 日本郵船天津航路貨物運賃中自營口至天津運賃率追加ノ件	同
二二六 列車運轉施行手續中改正	同	二〇七 南滿東清聯絡貨物ノ引換代金ニ採用スル東清鐵道ノ換算率改正	同
二二七 支那人學生ニ對シ割引乗車券發賣ニ關スル件第三項但書追加	同	二〇八 南滿東清聯絡貨物取扱ニ依ル徵收金收入方 (大正三、七運) 廢止	同
二二〇 郵便切手及郵便書類請求手續、請求標準中改正	同	二二一 「カーバイト」運賃料金取扱方ノ件	同
二二二 列車運轉報告手續中改正	同	御影奉齋式舉行	二、五九六
二二三 大阪商船發社線聯絡取扱ヲ爲ス危險品種目及接續費ノ件	同	御即位禮ニ際シ國旗掲揚期間	同
	二、六〇九	模範學堂表彰	同
	二、六〇九	第十五期車輪科練習生配屬	同
	二、六〇九	總裁副總裁上京	同
	二、六〇九	第十六期車輪科練習生入所	同
	二、六〇九	附屬地小學校大禮記念植樹概況	同
	二、六〇九	神戶丸缺航	同
	二、六〇九	加理事務線出張	同
	二、六〇九	特別檢閱委員指定	同
	二、六〇九	加理事務社	同
	二、六〇九	神戶丸就航延期	同
	二、六〇九	懲戒委員會議記解免	同
	二、六〇九	大連經理係廢止後事務所ノ件	同



社員死亡(雇員清水タカ)	二五九六	實業補習學校商議員囑託(遼陽)	二六〇一
同(雇員宮永光信)	二五九七	同(大石橋)	二六〇二
同(雇員野崎達)	二六〇三	實業補習學校教員目增設(熊岳城)	二五九七
同(雇員内尾幸雄)	二六〇四	傳染病發生	二六〇〇
同(雇員落合喜三郎)	二六〇五	同	二六〇〇
同(雇員金馬周藏)	二六〇六	同	二六〇〇
候補員死亡	二五九七	同	二六〇三
社員改氏名	二五九九	同	二六〇七
同	二六〇二	同	二六〇九
同	二六一四	同	二六一五
同	二六一五	同	二六一五
同	二六一六	同	二六一七
同	二六一七	同	二六一七
懲戒委員會議決	二六一八	同	二六一八
同	二五九六	同	二六一八
鐵道無賃乘車証無效	二五九七	同	二六一八
同(二件)	二六〇九	同	二六一八
乘車券無效	二五九七	同	二六一八
同	二六〇一	同	二六一八
南滿東滿鐵路貨物再裝運送狀無效	二五九七	同	二六一八
同	二六〇一	同	二六一八
倉荷證券紛失	二六一一	同	二六一八
貨物引換誤紛失	二六一二	同	二六一八
列車運轉時刻表及運行表中訂正	二六一三	同	二六一八
「ポイント」シケナル」號形訂正	二五九六	同	二六一八
電報發送責任者削除	二六〇〇	同	二六一八
遼陽區訪問委員指名	二六一七	同	二六一八
監平區同上	二六一七	同	二六一八
大石橋區同上	二六一七	同	二六一八
鐵嶺區同上	二六一七	同	二六一八
實業補習學校通譯通任者檢査試験合格者	二六一七	同	二六一八
實業補習學校生徒優等者表彰	二六一七	同	二六一八

南滿洲鐵道 株式會社 社報

大正四年十二月一日 水曜日 第二千六百十九號

示 達

運甲卯第二三十五號
 公衆電報取扱手續第四條但書中「長春」ノ上ニ「奉天」ヲ追加
 シ本年十二月十一日ヨリ實施ス
 大正四年十一月三十日
 (諸規定類纂第五編五九頁參照)
 運輸部長

運甲卯第二三十三號
 鐵道電報用語略稱(四)課所係名中「經理係」ヲ削除シ「地
 方事務所」ヲ追加シ本年十二月一日ヨリ實施ス
 大正四年十一月三十日
 運輸部長

人 事

撫順炭坑機械課勤務ヲ命ス 職員 石井 德重
 右十一月二十七日附
 鐵嶺醫院開原分院長 職員 井田 英之
 職員ヲ命ス 佐藤 徳次郎
 鐵嶺醫院開原分院長ヲ命ス 田中 富藏
 職員ヲ命ス 埠頭事務所勤務
 右十一月二十九日附
 計理部用度課勤務 職員 河津 純吉
 總務部事務局庶務課勤務ヲ命ス

金銀換算「關スル電報順送徑路及天氣豫報電報傳送徑路中」各
 經理係「トアルヲ」各地方事務所「所轄箇所受持各所中」ケリ
 トアルヲ「チム」ニ改正シ本年十二月一日ヨリ實施ス
 大正四年十一月三十日
 (諸規定類纂第五編九三頁參照)
 運輸部長

通 牒

運丁卯第二十二號
 第二千六百十九號
 大正四年十二月一日

各通	奉天保線係勤務 長春保線係勤務	職員 神田 孝造
總務部技術局建築課勤務ヲ命ス	橋頭驛勤務 本溪湖驛勤務 長春驛勤務 四平街驛勤務 公主嶺驛勤務	職員 西野 孝造
各通	雇員(驛務助手) 本溪湖驛勤務 長春驛勤務 四平街驛勤務 公主嶺驛勤務	川添 正雄 太田 近右衛門 堀口 照 里 甚和志 谷本 憲一
各通	奉天驛勤務ヲ命ス	桃村 省吾 峯松 佐八 中根喜三郎
各通	雇員ヲ命ス 遼陽驛勤務	池田 伊作
各通	雇員ヲ命ス 奉天驛勤務	吉松勘太郎 畑仁右衛門
各通	雇員ヲ命ス 鐵嶺驛勤務	橋口英之助 大石十太郎
各通	雇員ヲ命ス 長春驛勤務	大和 常春
各通	雇員ヲ命ス 橋頭驛勤務	安井善太郎
各通	雇員ヲ命ス 本溪湖驛勤務	
右十一月三十日附		
各通	總務部事務所兼務ヲ命ス	職員 今井熊次郎
各通	大石橋地方事務所兼務ヲ命ス	職員 庄山鶴次郎
各通	遼陽地方事務所兼務ヲ命ス	職員 新田 義正 谷口 直吉
各通	奉天地方事務所兼務ヲ命ス	職員 中里 善美
各通	鐵嶺地方事務所兼務ヲ命ス	職員 中里 善美
各通	公主嶺地方事務所兼務ヲ命ス	職員 稻葉 好延
各通	長春地方事務所兼務ヲ命ス	職員 伊東 善吉 道家 秀雄
各通	安東地方事務所兼務ヲ命ス	職員 中江 汪
各通	地方部地方課勤務ヲ命ス	職員 近藤 金吾 水戸 秀治 永井直五郎 藤島 佐助 磯田 淳 戸籙 イト 早川 純

各通	奉天驛勤務	雇員 本多麟太郎
各通	同	川添 正雄
各通	同	太田 近右衛門
各通	同	堀口 照
各通	同	里 甚和志
各通	同	谷本 憲一
各通	遼陽驛勤務	雇員 桃村 省吾
各通	同	峯松 佐八
各通	鐵嶺驛勤務	雇員 中根喜三郎
各通	同	吉松勘太郎
各通	同	畑仁右衛門
各通	奉天驛勤務	雇員 池田 伊作
各通	同	橋口英之助
各通	長春驛勤務	雇員 大石十太郎
各通	同	橋頭驛勤務
各通	同	大和 常春
各通	同	安井善太郎
右十一月三十日附		
▲社宅疊表替施行期ノ件	各種社宅用疊表替ハ從來一箇年ヲ標	
準トシ施行シ來リタルモ自今滿一箇年經過後ト雖モ社宅管理		
者ニ於テ其ノ必要ナシト認メタルモノハ施工セサルコトナ		
レリ		
▲消防隊役員任命	十一月二十六日左ノ通命セラレタリ	
	瓦房店消防組監督ヲ命ス	小倉 鏗二
	大石橋消防組監督ヲ命ス	大石橋 經理係主任 入江正太郎
	公主嶺消防組監督ヲ命ス	公主嶺 經理係主任 服部 誠藏
	長春消防組監督ヲ命ス	長春 經理係主任 村田 馨慶
	安東消防組監督ヲ命ス	安東 經理係主任 横田多喜助
▲雇員改名	安東車輛係勤務雇員金石ハ「青尾」ト改名ノ旨届	
出タリ		
▲讀書會記事		
○研究部講義	十二月三日ヨリ左ノ通開講ス	
商法——保險	講師 五十嵐保司氏	
(每週水、金曜日)		
▲上海定期航路		
神丸 (第百六次)	往航青島寄港	
十二月三日正午	大連出帆	
神戶丸 (修繕ノ爲休航)		

雜 錄

廣 告

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十二月二日 第二千六百二十號
木曜日

通 牒

運 輸

運丁卯第二百十三號
本年四月通牒運丁卯第二十號本溪湖煤鐵公司積場支線ニ於ケル
公司所屬車輛ノ運轉ニ關スル兩社ノ協定書中第一項ノ附圖別圖
ノ通變更ノ結果第四項ヲ左ノ通改正シ十一月二十三日ヨリ施行
ノコトニ同公司ト協定セリ
大正四年十二月二日 運輸部長

第四項 公司所屬機關車、製鐵所線、新洗炭場線、運鐵線及舊
選炭場線ノ外運轉スルコトヲ得ス
(諸規定類纂第四編一三二ノ九頁參照)
(別圖ハ本號ニ添附ス)

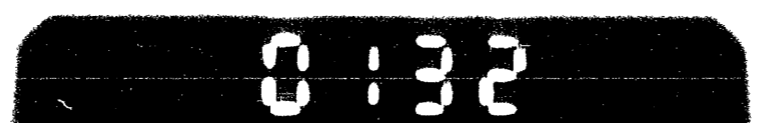
運丁卯第二百十四號
大正三年十月社告第五十一號ニ依ル南滿東清聯絡貨物ノ引換代
金ニ採用スヘキ換算率ヲ東清鐵道ニ於テハ十二月一日以降當分

第二千六百二十號 大正四年十二月二日

人 事

百圓ニ百六拾留ト定メタル旨通知アリタリ
本年十一月運丁卯第二百七號ハ廢止ス
大正四年十二月二日 運輸部長

豫備員ヲ命ス 長春醫院勤務 職員 田邊 定吉
右十月十一日附
各通 埠頭事務所勤務 職員 野崎 秀二
依願職員ヲ免ス 埠頭事務所上海支所勤務 同 木村 四郎
各通 運輸部營業課勤務(在勤) 職員 田邊 八太郎
埠頭事務所勤務ヲ命ス 同 (同) 職員 杉村 泰昌
近江町圖書閱覽場主事兼務ヲ命ス 地方部地方課勤務 職員 佐竹 義繼
産業試驗場主事ヲ命ス 産業試驗場勤務 職員 神田 勝玄
右十二月一日附

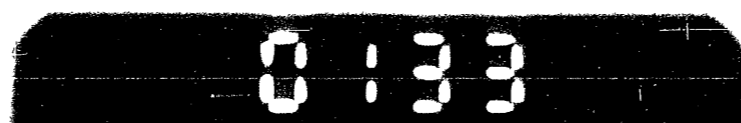


雜 錄

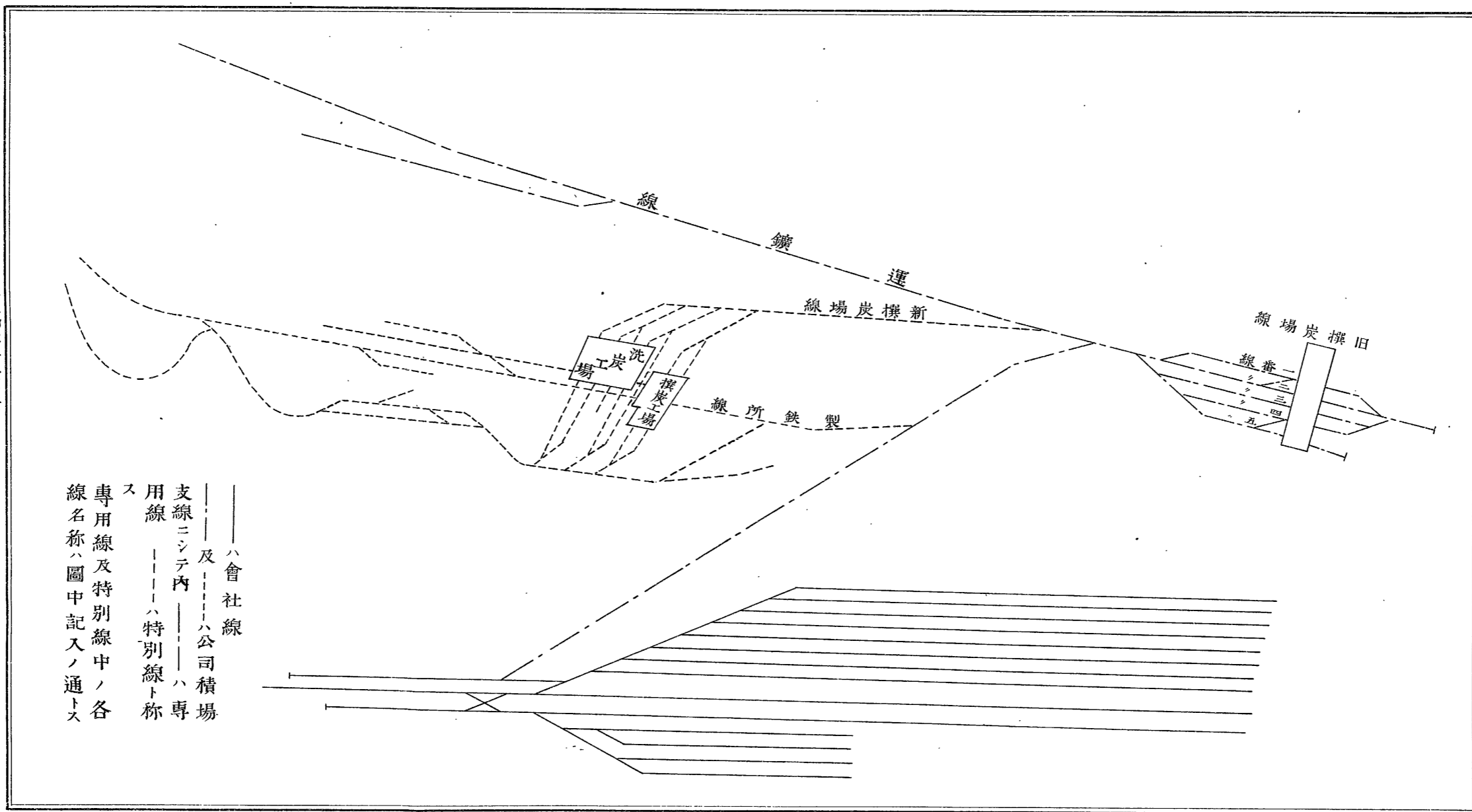
▲奉天區諮問委員 田實優、向野堅二、峰八十一、奥澤耕造、伊藤清四郎、荒尾龍太郎ノ諸氏ハ十一月二十二日奉天區諮問委員ニ指名セラレタリ

廣 告

◎上海定期航路
神丸 (第百六次) 往航青島寄港
十二月三日正午 大連出帆
神戸丸 (修繕ノ爲休航)



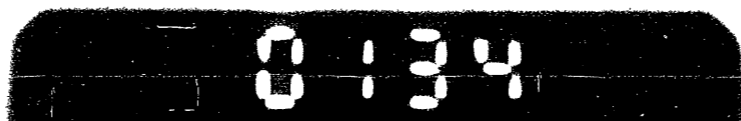
(運丁外第百十三号附圖)



—— ハ會社線
 及 —— ハ積場
 支線ニシテ内 —— ハ専用線
 用線 —— ハ特別線ト称
 ス
 専用線及特別線中ノ各
 線名称ハ圖中記入ノ通トス

社報第百二十六号附録

大正四年十二月二日



南滿洲鐵道株式會社 報

大正四年十一月三十日
火曜日

第二千六百十八號

社告

社告第四十四號
大正四年十二月二十日ヨリ社線諸驛ト青島トノ間ニ社船ヲ介シ貨物列車便ニ依ル貨物ノ連絡輸送ヲ開始ス、其ノ取扱ニ付テハ左ニ規定スルモノノ外ハ明治四十三年十二月社告第五十八號會社主要各驛ト上海間連絡貨物輸送規則ノ規定全部ヲ準用ス
大正四年十一月二十九日

總裁 男爵中村雄次郎

第一 連絡貨物ノ運賃諸掛ハ左記ニ依リ計算ス
イ、鐵道運賃及發著手数料ハ會社所定ノ手荷物及貨物賃金表ニ據ル但シ發著手数料ハ半額トス
ロ、汽船運賃ハ別ニ定ムル汽船運賃表ニ據ル
ハ、大連ニ於ケル接續費
一、輸入ノ場合 一噸(當社準額貨物取扱規) 金參拾六錢
二、輸出ノ場合 一噸(當社準額貨物取扱規) 金貳拾四錢
一般貨物 一噸(當社準額貨物取扱規) 金貳拾四錢
大豆其ノ他特産物 一噸(當社準額貨物取扱規) 金貳拾錢

第二千六百十八號

大正四年十一月三十日

通牒

但シ大豆其ノ他ノ特産物ニ限リ荷線ヲ要スル場合ハ荷線貨トシテ一噸ニ付金貳拾錢ヲ申受ク
三、一噸未滿ノ端數ハ其ノ儘算出シ最低賃金五錢トス
重量品ノ増貨ハ埠頭貨物取扱特定料金表ニ據ル
第二 連絡貨物ニ對シテハ總テ連絡貨物引換證ヲ發行ス前項ノ引換證ハ邦文ヲ以テ記入シ復本ヲ作成セス
(諸規定類第ニ編八一七頁參照)

運輸

運丁卯第二百一十一號
「カーボイト」ノ運賃料金ハ從來或ハ危險品中ノ生石灰ニ準シ或ハ其ノ他ノ危險品トシテ取扱ヒタル向アルモ總テ生石灰ニ準シ取扱フヘキモノニ付右ニ心得ラルヘシ
大正四年十一月二十九日 運輸部長

人事

本溪湖實業補習學校講師囑託 本田 深
 講師囑託ヲ解ク 右十一月一日附
 運輸部勤務 職員 關口 淳治
 依願職員ヲ免ス
 依願職員ヲ免ス 鷄冠山驛勤務 雇員(電信方) 家弓 爲一
 鐵嶺實業補習學校講師ヲ囑託ス 本田 深
 右十一月二十九日附

遼陽驛勤務 雇員 針原 甚作
 操車方ヲ命ス
 鐵嶺驛勤務 雇員 福原 千治
 各通 四平街驛勤務 同 白坂 薰一
 驛務助手ヲ命ス 右十一月二十九日附

▲職員改姓 埠頭事務所勤務職員九谷興道ハ「野口」ト改姓ノ旨 届出タリ

廣告

雜錄

◎上海定期航路
 神丸(第百六次) 往航青島寄港
 十二月三日正午 大連出帆
 神戸丸(修繕ノ爲休航)

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十二月三日 第二千六百二十一號
 金 曜 日

示 達

會第九十一號
 十二月三日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾八圓ノ割合ニ改ム
 大正四年十二月二日
 總裁 男爵中村雄次郎

通 牒

運 輸

運丁卯第二百十五號
 社用品運送手續第八項ニ依ル取扱主任者左記ノ通追加ス
 大正四年十二月二日 運輸部長
 託送驛所 所 屬 氏 名
 開 原 開原地方事務所 村田 督

第二千六百二十一號 大正四年十二月三日

運丁卯第二百十六號
 鐵道電報發送責任者左ノ通追加ス
 大正四年十二月二日 運輸部長

賴信驛所 所 屬 氏 名
 開 原 開原地方事務所 村田 督

人 事

各通 本湖溪尋常高等小學校訓導 宗像佐登美
 本溪湖實業補習學校講師ヲ囑託ス 長峰 義雄
 右十二月二日附

金壹圓 遼陽車輛係在勤 檢車夫 古田 力松
 大正四年十月二十七日貨車「ボットムアーチバー」ノ龜裂セルモ
 ノ二回發見シタル廉ニ依リ賞與
 金五拾錢 鑛業部販賣課(安東)在勤 現業助手 徐 德明
 大正四年十一月十七日窃盜犯人ヲ取押ヘタル廉ニ依リ賞與
 右十二月二日附

雜錄

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年
腸管扶斯	十一月十一日	十一月二十日	大連寺兒溝水鏡社宅	久保	ウエ三〇年
同	十一月十六日	十一月二十二日	大連濱町一〇	古田	シゲ九年
同	十一月二十二日	十一月二十六日	同	同	シツ六年
同	十一月二十一日	十一月二十四日	大連北山通四ノ	箕入初太郎	三三年
同	十一月二十二日	十一月二十五日	遼陽二區一四	中根ツマヨ	三五年
同	十一月五日	同	明原澤在(旅行中)	古田儀三郎	三六年
同	十一月十五日	十一月二十四日	撫順千金家社宅二五	吉公	三一年
同	十一月二十二日	十一月二十二日	撫順老成家社宅三	周成	庫二年
同	十一月十六日	十一月二十九日	安東江岸三丁目二八	小森ハツヨ	四年
同	十一月二十三	十一月二十七	遼陽二區一四	小西義次郎	二年
同	十一月十三日	十一月二十七	撫順新町七	篠田	幾太二八年
同	十一月十七日	十一月二十六	長春南開路敷	山下	藤藏三三年
同	十一月十九日	同	撫順古城子社宅一	陣	振義二〇年
同	十一月十七日	十一月二十五	撫順大山城備人合	甲斐	甚藏三〇年
同	十一月十三日	十一月二十	遼陽東大街	鶴登五太郎	三七年
同	十一月十九日	十一月二十四	遼陽ハ區二ノ一	三上	ヒモ三三年

赤痢疑似	十一月二十五	同	鐵嶺附屬地	高橋	正二年
猩紅熱	十一月五日	十一月八日	同	近藤	春子六年
同	十一月二十二	十一月二十三	同	米田	滿輝八年
同	十一月二十	同	伏見工業學校寄宿	和田	克己一六年
同	十一月二十	同	遼陽郵便局宿舍	森田	マサヨ一年
同	十一月二十五	同	遼陽東洋街三ノ二	有光	正治一年

◎上海定期航路
 神戶丸(第百六次) 往航青島寄港
 十二月三日正午 大連出帆

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十二月四日 土曜日 第二千六百二十二號

示達

會第九十二號
 十二月四日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾七圓ノ割合ニ改ム
 大正四年十二月三日
 總裁 男爵中村雄次郎

會第九十三號
 十二月四日ヨリ當會社收入外國貨幣中支那銀貨ノ換算相場ヲ金壹圓ニ付銀貨壹圓四拾壹錢ノ割合ニ改ム
 大正四年十二月三日
 總裁 男爵中村雄次郎

運

運甲卯第二百三十七號
 本年十月示達運甲卯第二號列車運轉施行手續第三十八條別表途中停車列車表中左記ノ通告追加シ十二月八日ヨリ之ヲ施行ス

運輸部

大正四年十二月三日

北沙河ロ 下リ「第三十三列車」ヲ追加ス
 閻家樓 上リ「第十八列車」ヲ「第二十列車」ニ改ム
 十三里臺 上リ「第二十列車」ヲ「第十八列車」ニ改ム
 傍身 下リ「第十九列車」ヲ「第十七列車」ニ改ム
 柳塘溝 (北沙河ロニ限リ十一月十九日ヨリ施行電報既達)

運乙卯第二百五十四號
 十二月八日ヨリ左記ノ通体止中ノ貨物列車ヲ復活運轉ス
 大正四年十二月三日 運輸部長

一 復活列車

下リ第十七列車 十二月八日大連發ヨリ
 下リ第二十一列車 十二月九日ヨリ
 下リ第二十五列車 十二月九日ヨリ
 上リ第七十二列車 十二月八日瓦房店發ヨリ
 上リ第二十列車 十二月八日瓦房店發ヨリ
 上リ第二十四列車 十二月八日瓦房店發ヨリ

下り第百七十五列車 十二月七日瓦房店發ヨリ
 下り第十七列車
 下り第二十一列車
 上り第二十列車 十二月八日大石橋發ヨリ
 上り第二十四列車
 上り第百七十二列車
 下り第十七列車
 上り第十六列車
 下り第八十一列車
 上り第八十二列車

鐵嶺開原間
 本達施行ニ伴ヒ機關車運用、同乘務員並車掌乘務表中一部ヲ左ノ通復活、復舊若ハ變更ス

○機關車運用表
 大連車輛係 番號33、35ヲ復活、變31、37、39ヲ復舊、35及變32、38ヲ左ノ通變更シ變34ヲ休止ス

瓦房店車輛係 番號40、43、47、52、60、61、71、79、80ヲ復活、變41、44、46ヲ復舊、變43ノ往路ヲ第百七十八列車ニ變更シ70

ト75、69ト78ノ變更組合セテ解キ更ニ69ト60、52ト75ヲ變更組合セ42ヲ休止ス

大石橋車輛係 番號85ヲ復活ス
 遼陽車輛係 番號101ヲ復舊ス
 鐵嶺車輛係 番號158ヲ復活シ下り第八十一列車、上り第八十二列車ノ一往復ニ變更ス

○機關車乘務員乘務表
 瓦房店車輛係 番號40、43、47、52、60、61、71、79、80ヲ復活、變41、44、46ヲ復舊、變43ノ往路ヲ第百七十八列車ニ變更シ59ト78、51ト72、67ト54、75ト64ノ變更組合セテ解キ更ニ61ト80、75ト54ヲ變更組合セ42ヲ休止ス

○車掌乘務表
 大連 番號10、12ヲ復活、變6、14、16ヲ復舊、12及變9、15ヲ左ノ通變更シ變11ヲ休止ス

瓦房店 番號17、20、24、27、28、29ヲ復活、變18、21、23、31ヲ復舊、20、27ヲ左ノ通變更シ變19、26ヲ休止ス

大石橋 番號44、51ヲ復活、44及變41、45ヲ左ノ通變更ス

大連 變20 變27
 瓦房店 178 17
 大石橋 178 14
 瓦房店 175 15
 大連 15 12
 瓦房店 177 12

遼陽 番號55ヲ復舊ス
 鐵嶺 番號99ヲ復活下り第八十一列車、上り第八十二列車ノ一往復ニ變更ス

三 本達施行ニ伴ヒ機關車並乘務員移替方左ノ通取計フヘシ
 大連瓦房店間
 ○十二月七日大連發下り第百七十五列車 關車並乘務員ハ八日瓦房店發上り第百七十四列車ヲ牽引仕業スヘシ
 ○十二月七日大連發下り第十五列車機關車並乘務員ハ八日瓦房店發上り第二十列車ヲ牽引仕業スヘシ
 ○十二月七日瓦房店發上り第十二列車機關車並乘務員ハ八日

大連發下り第百八十一列車ヲ牽引仕業スヘシ
 ○大連車輛係番號33、35、37、39、瓦房店車輛係番號40、41、43、47、大連車輛番號10、12、14、16、瓦房店車輛番號17、18、20、24ハ何レモ十二月八日自驛發ヨリ仕業ヲ始ムルモノトス

瓦房店大石橋間
 ○十二月七日瓦房店發下り第三十三列車機關車ハ八日大石橋發上り第二十四列車ヲ牽引スヘシ
 ○十二月七日瓦房店發下り第三十三列車機關車乘務員ハ八日大石橋發上り第二十四列車ニ乘務スヘシ
 ○十二月七日瓦房店發下り第二十九列車機關車並乘務員ハ八日大石橋發上り第二十四列車ヲ牽引乘務スヘシ
 ○十二月七日瓦房店發下り第百七十五列車並八日瓦房店發下り第百七十七列車車掌ハ何レモ七日大石橋ヨリ上り第六列車ニ便乗出向スヘシ

○十二月七日大石橋發上り第百八十二列車車掌ハ八日瓦房店發下り第十五列車ニ乘務スヘシ
 ○十二月七日大石橋發上り第十四列車車掌ハ八日瓦房店發下り第百七十九列車ニ乘務スヘシ
 ○十二月七日大石橋發上り第百七十四列車車掌ハ八日瓦房店發下り第五列車ニ便乘歸驛スヘシ
 ○瓦房店車輛番號29、大石橋車輛番號41、45ハ何レモ十二月八日自驛發ヨリ乘務ヲ始ムルモノトス

附記
 一部列車運轉休止中途停車列車ニシテ變更中ノモノハ指定列車ノ復活運轉ニ伴ヒ自然復舊スルモノトス

第二千六百二十二號 大正四年十二月四日

三

運丙卯第二四十五號
各驛ニ於テハ本月十日以降明治四十一年八月通牒運管甲第百十三號貨車著成續日報ヲ提出スヘシ
大正四年十二月三日 運輸部長

(請規程類第ニ編一七五頁參照)

人事

各通 撫順炭坑坑務課勤務 雇員 前原 繁郎
地方部地方課勤務 同 山内 卯助
依願雇員ヲ免ス
右十二月三日附

雜錄

▲南滿東清聯絡乘車券紛失 左記南滿東清聯絡乘車券紛失ノ旨届出アリタルニ依リ無効トス(運輸部)
番號 六五號
等級 一等(急行列車ニ有效)
區間 大連—哈爾濱
▲瓦房店區諮問委員 河野喜一郎、今井長治郎、田邊敬吉、保高晴海、松尾通一、森田彦三郎、三好虎藏ノ諸氏ハ十二月三日瓦房店區諮問委員ニ指名セラレタリ
▲關東都督府賞與 開原地方事務所勤務 巡視 大高三太郎

右者大正四年八月一日警察官吏ニ助力シ強盜傷害犯郭喜山ヲ逮捕シタル廉ニ依リ十一月二十四日附關東都督府ヨリ金貳圓ヲ賞與セラレタリ

開原地方事務所勤務 巡視 猪股 升藏
同 鈴木東左衛門

右者大正四年九月二十日警察官吏ニ助力シ強盜犯何堂玉ヲ逮捕シタル廉ニ依リ十一月二十五日附關東都督府ヨリ各金貳圓ヲ賞與セラレタリ

▲正誤 社報第二六二〇號ハ非關杉村泰昌トアルハ杉村泰昌ヲ誤植

廣告

◎上海定期航路

神戸丸 (第三百三十六次) 復航青島寄港
十二月八日正午 大連出帆
神丸 (第三百七次) 往航青島寄港
十二月十日正午 大連出帆

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十二月五日

日曜日

第二千六百二十三號

示達

會第九十四號
十二月五日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾六圓ノ割合ニ改ム
大正四年十二月四日

總裁 男爵中村雄次郎

人事

撫順炭坑坑務課勤務 雇員 宮崎 正作
右十二月四日附
依願雇員ヲ免ス
總務部事務局庶務課(奉天) 職員 谷口 直吉
依願職員ヲ免ス
右十二月五日附

雜錄

▲實業補習學校教科目増設 本溪湖實業補習學校教科目中ニ蒙古語科ヲ増設セラレタリ

▲産業試驗場主事解免 大河平隆光ハ總務部事務局庶務課へ轉勤ノ爲メ十二月一日附産業試驗場主事ヲ免セラレタリ

▲職員改名 鐵嶺驛勤務職員安田連藏ハ「連三」ト改名ノ旨届出タリ

▲正誤 前號示達運輸課運乙卯第一五十四號中機關車運川表ノ部瓦房店車輪係受持中「43」ハ「42」ニ誤リ「42」ハ「41」ニ誤リ、車掌務表ノ部大石橋驛受持「左ノ通過」ハ「上ノ通過」ヲ誤セリ又第一項復活列車中大連瓦房店間下リ第十七列車「七」ヲ誤字シタルモノアリ

廣告

◎上海定期航路

神戸丸 (第三百三十六次) 復航青島寄港
十二月八日正午 大連出帆
神丸 (第三百七次) 往航青島寄港
十二月十日正午 大連出帆

南滿洲鐵道
株式會社
社報

大正四年十二月八日
水曜日

第二千六百二十五號

示 達

會第九十六號
十二月八日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾八圓
五拾錢ノ割合ニ改ム
大正四年十二月七日

總裁 男爵中村雄次郎

通 牒

運 輸

運丁卯第二百十九號
明治四十二年十月運甲西第七十九號ニテ指定シタル貨物專用
支線中營口驛吉林探運局專用線ヲ左ノ通改稱ス
大正四年十二月七日

運輸部長

一、吉黑兩省官鹽探運局專用線

(請規定類第貳編第七六三頁參照)

第二千六百二十五號

大正四年十二月八日

運丁卯第二百二十號
鐵道院ニテハ本月一日ヨリ與羽線船川輕便線脇本羽立間一般運
輸營業開始ニ付明治四十五年三月社告第百三號三線連帶院線小
荷物連絡驛ニハ左記驛ヲ含ム義ト心得ヘシ
大正四年十二月七日

運輸部長

驛名	下ノ關ヨリノ哩程	新義州ヨリノ哩程
協立本	一、〇七二・二	一、八〇二・八

(請規定類第貳編三〇三頁參照)

人 事

依願職員ヲ免ス
依願職員ヲ免ス
依願職員ヲ免ス
中央試驗所庶務科勤務 職員 福間盛三郎
奉天驛勤務 雇員(貨物方) 高橋源太郎
埠頭事務所勤務 職員 長坂清太郎

右十二月七日附

雜錄

▲貯金通帳無效
貯金通帳 奉第一〇八號 二冊 預ケ人 佐藤子之助
右通帳紛失ノ旨届出タルニ依リ自今無効トス拾得者ハ本社會
計課ニ送付セラレタシ

▲傳染病發生

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年齢
腸察扶斯	十二月二十八日	十二月二日	公主嶺縣前三丁目六	古澤要一	三二
同	十二月二十三	十二月一日	長春西第六區一七三	松下ヒサ	一五
同	十二月二十日	十二月三十日	撫順大山坑社宅四	高慶	二六
同	十二月二十八	十二月一日	撫順縣島町社宅乙第	藤村靜馬	一九
同	十二月二十四	十二月一日	撫順縣日町社宅丁第	瓜生龍三	二二
赤痢疑似	十二月二日	十二月三日	遼陽イ區三七	寺川カノ	二九
同	十二月一日	十二月二日	昌圖附屬地保線社宅	内海健次	四
猩紅熱	十二月二十八	十二月三十日	公主嶺縣町四丁目社宅一八九	晝間明五	五

廣告

◎上海定期航路

神戶丸 (第三百三十六次) 復航青島寄港
十二月八日正午 大連出帆
神丸 (第三百七次) 往航青島寄港
十二月十日正午 大連出帆

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十二月十日 第二千六百二十七號

示達

會第九十九號
十二月十日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾八圓ノ割合ニ改ム
大正四年十二月九日
總裁 男爵中村雄次郎

會第百號
十二月十日ヨリ當會社收入外國貨幣中支那銀貨ノ換算相場ヲ金壹圓ニ付銀貨壹圓參拾九錢ノ割合ニ改ム
大正四年十二月九日
總裁 男爵中村雄次郎

運甲卯第二三十八號
本年十月社告第三十八號列車運轉時刻表中一部ヲ左記ノ通改正シ十二月十二日ヨリ之ヲ施行ス
大正四年十二月九日
運輸部長

第二千六百二十七號 大正四年十二月十日

下	上
(17) 貨 5.45	(176) 貨 12.14
蘆家屯 著發 6.00	南關嶺 著發 (10頁)
沙崗 著發 6.01	
平蓋 著發 6.17	
太平山 著發 6.30	
大石橋 著發 7.00	
(3頁)	

運甲卯第二三十九號
本年十月示達運甲卯第二三號列車運轉施行手續第六條中「下
リ第十七列車 下リ待避線ニ著發セシムヘシ」ヲ追加シ十二月
十二日ヨリ之ヲ施行ス
大正四年十二月九日
運輸部長

用中左ノ通追加シ十二月十三日ヨリ之ヲ施行ス
大正四年十二月九日 運輸部長

一 中間車運用中追加
奉 天

大 連 (州内中間車)

- 二 記事欄ニ左記(三)(四)(五)項ヲ追加
- (三) 奉天行州内中間車ハ大連發第二十九列車ノ長春行州内中間車一輛ニテハ不足ヲ感スル場合ニ限り増結運用スルモノトシ奉天以南各驛著貨物ヲ積載スヘシ但シ沙河口普蘭店間各驛發安奉線行貨物アル場合ハ本文奉天著中間車ニ積載ス
- (四) 大連及田家邊陽間各驛發遼陽撫順間各驛(除蘇家屯)著貨物ヲ下リ第十五列車若ハ第十九列車ノ中間車ニ積載セントスル場合ハ成ルヘク撫順行中間車ヲ利用スヘシ
- (五) 大石橋遼陽間第十九列車ノ乘務貨物方ハ毎日撫順行中間車ノ餘積ノ有無程度ヲ海城驛ヨリ遼陽驛ニ電報スヘシ

通 牒

連丁卯第二二十四號

黃燐及鹽酸加里ハ危險品中發火シ易キモノトシテ取扱フ義ト承知セラルヘシ
大正四年十二月九日 運輸部長

運丁卯第二二十五號
社用品運送手續第八項ニ依ル託送取扱主任者左記ノ通追加ス
大正四年十二月九日 運輸部長

託送驛所 原 鐵嶺醫院開原分院 佐藤徳次郎
氏名

人 事

鐵嶺醫院勤務ヲ命ス
右十一月一日附
長春尋常高等小學校訓導兼校長 村田 春江
願ニ依リ本職ヲ免ス
鐵嶺尋常高等小學校訓導兼校長 草川 清
長春尋常高等小學校訓導兼校長ニ任ス
右十二月八日附(關東都府發令)
大連醫院兼埠頭事務所勤務(兼組) 職員 廣海 捨藏
安東醫院勤務ヲ命ス
營口醫院大石橋分院長 職員 生川 玉樹
大連醫院兼埠頭事務所勤務ヲ命ス(兼組) 職員 西村 隆行
鐵嶺醫院勤務 職員 西村 隆行

雜 錄

營口醫院大石橋分院長ヲ命ス
右十二月九日附

▲教育研究所退所 左記ノ者ハ十一月三十日ヲ以テ教育研究所ノ入所ヲ解カレタリ

- 瓦房店尋常高等小學校訓導 小松 圓吉
- 大石橋尋常高等小學校訓導 飯牟禮宗顯
- 遼陽尋常高等小學校訓導 小林 清吉
- 奉天尋常高等小學校訓導 瀧川嘉一郎
- 開原尋常高等小學校訓導 池内健太郎
- 長春尋常高等小學校訓導 中村 利一
- 本溪湖尋常高等小學校訓導 岩野定市郎
- 撫順尋常高等小學校訓導 森 千代松

▲傳染病發生

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年齢
腸室扶斯	十二月二十五日	十二月四日	鐵嶺西滑街社宅	石羽 秀堯	二八年
同	十二月二日	十二月六日	日本溪湖旭町四二	小林大三郎	二年
同	十一月二十五日	十二月三日	日本溪湖東街五二	太田鶴太郎	六二年
同	十一月二十五日	十二月三日	日本溪湖東街五二	松本 松藏	二八年
同	十一月三十日	十二月六日	日本溪湖東街六二	瓜生イセノ	一四年
同	十一月十九日	十二月三日	日本溪湖西街六二	有瀬ハル子	三年
猩紅熱	十二月三日	十二月四日	撫順朝日町社宅二	三浦 憲夫	四年
猩紅熱	十二月一日	十二月六日	海城大街六五		

廣 告

◎上海定期航路
神戸丸 (第三千三百七十七次) 復航青島寄港
十二月十五日正午 大連出帆
神丸 (修理ノ爲休航)

南滿洲鐵道
株式會社
社報

大正四年十二月十一日
土曜日
第二千六百二十八號

社告

社告第四十六號
遼陽圖書閱覽場ハ大正四年十二月五日ヲ以テ遼陽白塔大街ニ其ノ位置ヲ變更ス
大正四年十二月五日

總裁 男爵中村雄次郎

社告第四十七號
大正三年三月社告第百號安東發貨物十噸以上一車扱貨率適用品名中ニ自今「小麥」ヲ追加ス
大正四年十二月十日

總裁 男爵中村雄次郎

(請規定類第一編七一九頁參照)

示達

總事庶甲第五百二十四號
大正二年七月示達用第八號被服規程附屬表中左ノ通追加ス

第二千六百二十八號 大正四年十二月十一日

大正四年十二月十日

總裁 男爵中村雄次郎

第二號表課所別埠頭、築港、鑛業部制服種別甲、職名現業職員外一職名ノ行記事欄中「鑛業部現業職員ハ長春」ノ次ニ「哈爾濱」ヲ追加ス

(請規定類第一編四〇九頁參照)

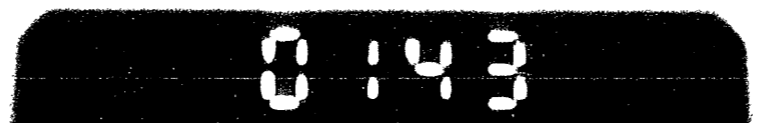
人事

埠頭事務所勤務(在勤) 職員 市來熊太郎
(同) 職員 大野正太郎

營口在勤ヲ免ス
右十二月三日附
撫順炭坑坑務課勤務ヲ命ス 職員 石橋 米一

各通
撫順炭坑坑務課勤務ヲ命ス 職員 吉安 到
同 撫順炭坑坑務課勤務 職員 土生 圭輔

各通
撫順炭坑坑務課勤務ヲ命ス
右十二月十日附



雜錄

▲乘車券無效 特種補充券記號第三百十四號自第三十八號至百號ノ六十三枚紛失ノ旨届出アリシニ付自今無効トス

▲教育研究所入所 左記ノ者ハ十二月十六日ヨリ三月三十一日迄小學教育部講習ノ爲教育研究所ニ入所ヲ命セラレタリ

瓦房店尋常高等小學校訓導 中野 文一
大石橋尋常高等小學校訓導 山口伊三郎
遼陽尋常高等小學校訓導 家入 佐三
奉天尋常高等小學校訓導 清水金十郎
鐵嶺尋常高等小學校訓導 海老澤重三
公主嶺尋常高等小學校訓導 岡山 武治
長春尋常高等小學校訓導 木島半次郎
橋頭尋常高等小學校訓導 大峽 忠藏
本溪湖尋常高等小學校訓導 河野恒次郎
撫順尋常高等小學校訓導 岩清水直次郎

▲雇員改姓 蘇家屯驛勤務雇員芹澤卯作ハ「山崎」ト改姓ノ旨届出タリ

▲番號訂正 前號示達運輸欄掲載延甲卯第二三八號、第二三九號、第二四〇號ハ夫々延甲卯第二三九號、第二四〇號、第二四一號ノ誤ニ付訂正ス

廣告

◎上海定期航路
神戶丸 (第三百三十七次) 復航青島寄港
十二月十五日正午 大連出帆
神丸 (修理ノ爲休航)

南滿洲鐵道株式會社 報

大正四年十二月十二日 第二千六百二十九號
日 曜 日

示 達

會第百一號
十二月十二日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾七圓五拾錢ノ割合ニ改ム
大正四年十二月十一日
總裁 男爵中村雄次郎

人 事

公主嶺地方事務所勤務 職員 北楯 利亮
産業試驗場勤務ヲ命ス
右十二月十一日附

雜 錄

▲傳染病發生
病名 發病月日 確診月日 現 住 所 氏 名 年 齡

第二千六百二十九號 大正四年十二月十二日

廣 告

◎上海定期航路
神戶丸 (第三百三十七次) 復航青島寄港
十二月十五日正午 大連出帆
神丸 (修理ノ爲休航)

勝室扶斯	十二月一日	十二月六日	遼陽後家大街五	前田 與助 三七年
同	十二月二十九日	同	撫順大山坑社宅一〇	張 雙 合三三年
同	十二月三日	十二月七日	本溪湖永利町五一	神吉秀二郎 四八年
同	十二月五日	十二月八日	遼陽後家大街一三	酒井豐太郎 五〇年
同	十二月二日	十二月六日	本溪湖永利町四一	深見 實雄 三〇年
赤 痢	十一月十五日	十二月七日	撫順新町四	内田宇吉郎 三九年
實布埴利亞	十二月二日	十二月四日	安東山手町一四ノ七	新井 ハマニ 二年
發疹瘰癧斯	同	十二月七日	遼陽後家大街七ノ一	田島 ハル 三三年

南滿洲鐵道
株式會社
報

大正四年十二月十四日
火曜日
第二千六百三十號

示
達

會第百二號
十一月十四日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾八圓ノ割合ニ改メ
大正四年十二月十三日

總裁 男爵中村雄次郎
運輸部 長

運甲卯第二百四十二號
大正三年十月示達運甲寅第二百四十四號中間車取扱手續中左ノ通追加シ十二月十五日ヨリ之ヲ施行ス
大正四年十二月十三日

第四條第三項ノ次ニ追加
同一列車ニ終著驛ヲ同ウスル中間車二輛以上ヲ連結シタル場合ハ列車組立驛ニ於ケル第七條ノ車數節約ニ便ナラシムル爲

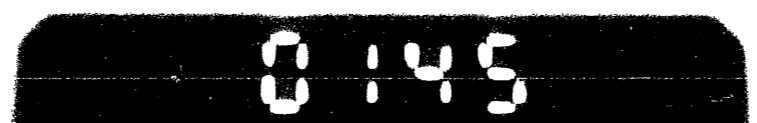
第二千六百三十號 大正四年十二月十四日

成ルヘク貨物ノ著驛ヲ經テ別車ニ積載スル様注意スヘシ
一 第十二條ニ左ノ一項ヲ追加
有蓋貨車中「トラスロッド」ナキモノ及「レツドシル」掛金具ノ位置(レール面ヨリ約六呎四吋ノモリ)高キモノハ鎖錠ニ不便ナルニ付止ムヲ得サル場合ク外中間車ニ使用スヘカラス
(諸規定類纂第二編七〇六ノ一頁參照)

人事

各通 運輸部營業課勤務(安東) 職員 加藤達次郎
埠頭事務所勤務ヲ命ス (同) 同 徳久敬太郎
右十二月十三日附

金壹圓	築港事務所在勤	潜水夫	近藤半次郎
金壹圓	同	同	原口吉次郎
金壹圓	同	同	福永三太夫
金壹圓	同	同	神 乙吉
金壹圓	同	同	澤田 若松
金壹圓	同	同	金子 國藏



金壹圓	築港事務所在勤	潜水夫	吉田 萬吉
金壹圓	同	三原岩之助	
金壹圓	同	大坪 兵吉	
金壹圓	同	網引 福永 松次	
各通	同	山田丈太郎	
金壹圓	同	黒川 忠藏	
金壹圓	同	築瀬 仁平	
金壹圓	同	松山 嗽八	
金壹圓	同	増本 増藏	
金壹圓	同	杉谷 清助	
金壹圓	同	水夫 若村 文八	
金壹圓	同	工夫 宮下久太郎	
金壹圓	同	大林嘉太郎	
金壹圓	同	吉田 宗義	
金壹圓	同	惣崎 竹吉	
大正四年十一月二十七日暴風雨ノ際緊留船舶及舢舨ノ保護ニ盡力シタル廉ニ依リ賞與			
金壹圓	安東保線係在勤	線路工夫	津田才次郎
大正四年十一月十九日軌條ノ毀損ヲ發見シタル廉ニ依リ賞與			
金壹圓	大石橋保線係在勤	線路工夫	石川 庄松
大正四年十月五日窃盜犯人ヲ取押ヘタル廉ニ依リ賞與			
金壹圓	長春驛在勤	見廻方	山本三次郎
大正四年十一月十六日窃盜犯人ヲ取押ヘタル廉ニ依リ賞與			
金壹圓	長春保線係在勤	定備人夫	長谷川正一
大正四年十二月五日窃盜犯人ヲ取押ヘタル廉ニ依リ賞與			
金壹圓	電氣作業所在勤	電氣工	新井榮太郎
金壹圓	電氣作業所在勤	電氣工	中島外次郎
金壹圓	同	栗栖 嘉助	
各通	同	東 富之助	
金壹圓	同	藤永 種一	
金壹圓	同	龜田初次郎	
金五拾錢	同	郝 立 貴	
大正四年十二月四日大連市加賀町五號地出火ノ際危険ヲ冒シテ電燈材料ヲ撤收シタル廉ニ依リ賞與			
右十二月十三日附			

雜 錄

▲副總裁歸社 豫テ上京中ナリシ國澤副總裁ハ十三日歸社セリ

▲佃理事歸社 沿線出張中ナリシ佃理事ハ十一日歸社セリ

▲教員退職 休職長春尋常高等小學校訓導伊月トヨハ本年十月三十日ヲ以テ滿期退職セリ

▲職員名字訂正 蓋平公學堂職員齋藤「イシ」ハ「おはし」ト訂正ノ旨届出タリ

◎上海定期航路
 神戶丸 (第三百三十七次) 復航青島寄港
 十二月十五日正午 大連出帆
 柳丸 (修理ノ爲休航)

廣 告

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十二月十五日 水 曜 日 第二千六百三十一號

示 達

會第百三號
 十二月十五日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾七圓ノ割合ニ改ム
 大正四年十二月十四日
 總裁 男爵中村雄次郎

人 事

奉天實業補習學校講師囑託 谷口 直吉
 四平街尋常小學校訓導兼校長 加藤 嘉幸
 願ニ依リ本職ヲ免ス
 撫順尋常高等小學校訓導 松永 八郎
 四平街尋常小學校訓導兼校長ニ任ス
 公主嶺尋常高等小學校訓導 富田 秀法
 撫順尋常高等小學校訓導ニ任ス

雜 錄

右十二月十三日附(關東都督府發令)

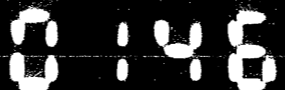
▲神戸丸出帆延期 上海航路船神戸丸ハ今十五日正午出帆定期ノ處風波ノ爲當地運著ノ豫定ニ付今次ニ限り十六日正午出帆ニ變更セリ

▲雇員改姓 鷄冠山驛勤務雇員澤近德彌ハ「古賀」ト改姓ノ旨届出タリ

▲訂正 本月十一日紙報第二六二八號人事欄中「土生手輔」下アル「土生琢介」ノ誤ニ付訂正ス

廣 告

◎上海定期航路
 神戶丸 (第三百三十七次) 復航青島寄港
 十二月十六日正午 大連出帆
 (運着豫定ニ付定期變更)
 柳丸 (修理ノ爲休航)



南滿洲鐵道
株式會社 報

大正四年十二月十六日
木曜日
第二千六百三十二號

示 達

會第百四號
十二月十六日ヨリ當會社收入外國貨幣中支那銀貨ノ換算相場ヲ
金壹圓ニ付銀貨壹圓四拾貳錢ノ割合ニ改ム
大正四年十二月十五日

總裁 男爵中村雄次郎

會第百五號
十二月十六日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾六
圓五拾錢ノ割合ニ改ム
大正四年十二月十五日

總裁 男爵中村雄次郎

技保甲第百十三號
保線優勝旗及保線褒狀授與規程左ノ通定ム
大正四年十二月十五日

總裁 男爵中村雄次郎

保線優勝旗及保線褒狀授與規程

第二千六百三十二號 大正四年十二月十六日

- 第一條 保線優勝旗及保線褒狀ハ春秋二期ノ線路檢閲ノ結果ニ依リ成績優秀ナル保線手所持丁場ニ授與ス
- 第二條 優勝旗ハ全線ヲ通シ最優等ノ丁場ニ褒狀ハ之ニ次ク成績佳良ノ丁場ニ授與スルモノトス
- 第三條 優勝旗及褒狀ハ毎年一月當該保線係主任、保線手及線路工夫組頭ヲ本社ニ召集シ之ヲ授與ス
- 第四條 優勝旗ヲ授與セラレタル保線手ハ所持丁場線路優勝ノ表彰トシテ一箇年間之ヲ保有ス
- 第五條 優勝旗ハ平素町重ニ保管シ左ノ場合ノ外掲揚スルコトヲ得ス
- 一 三大節
 - 二 會社開業記念日
 - 三 線路警戒ヲ要スル貴賓列車通過ノ場合
 - 四 總裁、副總裁巡視ノ場合
 - 五 線路檢閲ノ場合
- 第六條 褒狀ハ額面ニ挿入シ保線手詰所ニ掲クヘシ

人 事

第二千六百三十二號 大正四年十二月十六日

職員ヲ命ス
南滿醫學堂教授ヲ命ス
長春幼兒運動場勤務 職員 後藤コヨシ
依願職員ヲ免ス
地方部地方課勤務 雇員 井手 正壽
公主嶺地方事務所勤務ヲ命ス
右十二月十五日附

廣 告

◎上海定期航路
神戸丸 (第三百三十七次)
十二月十六日正午 大連出帆
(運着係定ニ付定期變更)
櫛丸 (修理ノ爲休航)

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十二月十七日 第二千六百三十三號
金 曜 日

社 告

社告第四十八號
南滿東清聯絡貨物ノ引換代金ニ採用スル日露貨幣換算率ニ關スル大正三年十月社告第五十一號ノ一ヲ左ノ通改メ十二月十七日以降之ヲ實施ス
大正四年十二月十六日
總裁 男爵中村雄次郎

一 當社ニ於テハ引換代金收入ノ際ハ百留ニ金六拾圓ノ換算率ニ依ル

示 達

會第百六號
十二月十七日ヨリ當會社收入外國貨幣中露貨紙幣(補助貨トモ)ノ換算相場ヲ露貨壹留ニ付金五拾九錢ノ割合ニ改ム
大正四年十二月十六日
總裁 男爵中村雄次郎

通 牒

運 輸

會第百七號
十二月十七日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾五圓ノ割合ニ改ム
大正四年十二月十六日
總裁 男爵中村雄次郎
運丁卯第二百二十八號
大正三年十月社告第五十一號ニ依ル南滿東清聯絡貨物ノ引換代金ニ採用スヘキ換算率ヲ東清鐵道ニ於テハ本月十七日以降當分百圓ニ百六拾五留ト定ムル旨通知アリタリ
本月運丁卯第二百二十一號ハ廢止ス
大正四年十二月十六日
運輸部長

人 事

地質研究所長 職員 木戸忠太郎

第二千六百三十三號 大正四年十二月十七日

鐵業部鐵務課長阪口新圃不在中代理ヲ命ス	奉天醫院勤務 職員 荒井 規	依願職員ヲ免ス	各通	藏本 十郎	雇員ヲ命ス 四平街驛勤務
雇員ヲ命ス 大連驛勤務	澁谷嘉十郎	各通	雇員ヲ命ス 公主嶺驛勤務	正木甚四郎	
雇員ヲ命ス 瓦房店驛勤務	出津伊勢造	各通	雇員ヲ命ス 長春驛勤務	毛利 白英	
各通	安田 要藏	各通	雇員ヲ命ス 營口驛勤務	中島大壽郎	
雇員ヲ命ス 蓋平驛勤務	九田 正輔	各通	雇員ヲ命ス 撫順驛勤務	日置 源藏	
各通	前澤 善作	各通	雇員ヲ命ス 本溪湖驛勤務	岡本彌三郎	
雇員ヲ命ス 大石橋驛勤務	板倉 賢敬	各通	雇員ヲ命ス 橋頭驛勤務	藤井 澤一	
各通	前野 弘	各通	雇員ヲ命ス 鶴冠山驛勤務	候 治業	
雇員ヲ命ス 遼陽驛勤務	田村 輝一	各通	雇員ヲ命ス 連山關驛勤務	村上伊之助	
各通	尼木 治郎	各通	雇員ヲ命ス 沙河鎮驛勤務	渡邊 太郎	
雇員ヲ命ス 奉天驛勤務	細 長三郎	各通	雇員ヲ命ス 營口驛勤務	服部 省介	
雇員ヲ命ス 新臺子驛勤務	三角 啓發	各通	雇員ヲ命ス 橋頭驛勤務	大塚 靖一	
雇員ヲ命ス 鐵嶺驛勤務	田代 佐重	各通	雇員ヲ命ス 連山關驛勤務	倉下 與助	
雇員ヲ命ス 開原驛勤務	下澤善太郎	各通	雇員ヲ命ス 沙河鎮驛勤務	森 友一	
				今西 鶴松	

雇員ヲ命ス 鳳凰城驛勤務
右十二月十六日附

大連驛勤務 雇員 藏本 十郎	瓦房店驛勤務 同 財津伊勢造	蓋平驛勤務 同 安田 要藏	遼陽驛勤務 同 前野 弘	同 田村 輝一	同 三角 啓發	開原驛勤務 同 田代 佐重	四平街驛勤務 同 下澤善太郎	公主嶺驛勤務 同 正木甚四郎	同 毛利 白英	同 日置 源藏	同 候 治業	同 村上伊之助	同 渡邊 太郎	同 江川 芳雄	撫順驛勤務 同 江川 芳雄	蓋平驛勤務 雇員 九田 正輔	大石橋驛勤務 同 前澤 善作	同 板倉 賢敬	同 新臺子驛勤務 同 細 長三郎	同 長春驛勤務 同 岡本彌三郎	同 長春驛勤務 同 藤井 澤一
古田縫次郎																					
各通	營口驛勤務 雇員 服部 省介	本溪湖驛勤務 同 大塚 靖一	橋頭驛勤務 同 藤本 一徳	同 倉下 與助	同 森 友一	同 古田縫次郎	同 今西 鶴松	大連驛勤務 雇員 澁谷嘉十郎	奉天驛勤務 雇員 尼木 治郎	公主嶺驛勤務 同 中島大壽郎	改札方ヲ命ス	小荷物方見習ヲ命ス 右十二月十六日附	重役上京 樺山理事ハ十六日海路出發上京セリ	關東都督府賞與	開原地方事務所勤務 巡視 川崎 敬吉	同 大高三太郎	同 田中久太郎	右者大正四年十月十五日警察官吏ニ助力シ強盜傷害犯人張子 玉ヲ逮捕シタル廉ニ依リ十二月七日附關東都督府ヨリ各金貳 圓五拾錢ヲ賞與セラレタリ			
雜 錄																					

廣 告

◎上海定期航路
 神戸丸 (第三百三十八次) 復航青島寄港
 十二月二十二日正午 大連出帆
 柳丸 (修理ノ爲休航)

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十二月十八日

土 曜 日

第二千六百三十四號

示 達

會第百九號
 十二月十八日ヨリ當會社收入外國貨幣中支那銀貨ノ換算相場ヲ
 金壹圓ニ付銀貨壹圓四拾四錢ノ割合ニ改ム
 大正四年十二月十七日

總裁 男爵中村雄次郎

運 輸 部

運甲卯第百四十三號

大正三年五月示達運甲寅第六十四號鮮鐵向聯絡貨物ノ到著預受
 付代理及寄託貨物ノ同聯絡輸送取扱手續中第一到著預取扱驛ニ
 鎮南浦ヲ加ヘ本年十二月十五日ヨリ實施ス
 大正四年十二月十五日

運 輸 部 長

(請規定類第百三編一三十五頁參照)

運甲卯第百四十四號

明治四十四年十二月示達運甲第三百十六號列車保安規程第十條

第二千六百三十四號 大正四年十二月十八日

第二號ノ條件ヲ省略スルコトヲ得サル區間中沙河鎮蛤蟆塘間ノ
 下(電氣通信ニ依ル「アブソリユート」プロック、システム)併
 用)トアルヲ删除ス
 大正四年十二月十七日

運 輸 部 長

(請規定類第百四編一四五頁參照)

運甲卯第百四十五號

明治四十四年五月示達運甲第四十一號試運轉列車運轉手續第三
 條中「車輛係主任ト協議ノ上關係ノ向ニ通知シ」トアルヲ「別ニ
 定メタル手續ニ依リ」ニ改正ス
 大正四年十二月十七日

運 輸 部 長

(請規定類第百四編六一頁參照)

運甲卯第百四十六號

明治四十四年二月示達運甲第三百五十六號沙河口工場ニ出入ス
 ル車輛ノ廻送並試運轉手續中左ノ通改正ス
 大正四年十二月十七日

運 輸 部 長

第三項中「大連南關嶺間」ノ七字ヲ删除ス

第四項中「大連南關嶺間ニ於テ」ヲ九字ヲ刪除ス
第五項ヲ刪除ス

(請規定類第四編七七頁參照)

運甲卯第二百四十七號
一部區間ニ於ケル列車及構内入換機關車ノ運轉又ハ休止ヲ指定
驛長若ハ車輛係主任ニ於テ專決施行ノ手續左ノ通相定ム
大正四年十二月十七日 運輸部長

指定驛長若ハ車輛係主任ハ左記事項ヲ專決施行スルコトヲ
得

(1) 指定セラレタル定期列車又ハ定期構内入換機關車ノ運轉ヲ
休止シ若ハ不定期列車又ハ不定期構内入換機關車ヲ運轉ス
ルコト

(2) 前號ニ依リ其ノ休止ヲ爲シタル後復活運轉シ或ハ運轉ノ取
計ヲ爲シタル後休止スルコト

二 指定驛長ハ本手續ニ依リ列車若ハ構内入換機關車ヲ運轉
(復活ノ場合ヲ含ム)セシムルトキハ車輛係主任ト協議シ其ノ
承諾ヲ得ヘシ

三 指定驛長若ハ車輛係主任ニ於テ第一項ニ依リ施行スル場合
ハ豫メ各關係ノ向ニ電報スヘシ

四 指定驛長若ハ車輛係主任並指定列車及構内入換機關車ハ左
ノ通トス
構内入換機關車所在驛長 各構内入換機關車

遼陽車輛係主任

大連驛長

臭水子驛長

大石橋驛長

遼陽驛長

鐵嶺驛長

公主嶺驛長

工場線内入換機關車
大連沙河口工場間及大連亞細
亞石油會社積場間小運轉列車
大連沙河口工場及金州間試運
轉列車
臭水子小野田(七)會社
工場間小運轉列車
大石橋分間小運轉列車
大石橋分間小運轉列車
遼陽張家山站間試運轉列車
鐵嶺鞍山站間小運轉列車
公主嶺同水源地間小運轉列車
公主嶺同水源地間小運轉列車
(附記) 本達施行ト同時ニ明治四十四年十一月示達運甲第
百九十三號大正元年十一月同第百九十五號大正二年十一月
示達運甲第百三十六號大正三年四月同運甲第百三十五號ハ
之ヲ廢止ス

(請規定類第四編八八、二四頁參照)

運甲卯第二百四十八號

大正二年三月示達運甲第三百一十一號貨車取扱手續中左ノ通
改正シ大正五年一月二日ヨリ之ヲ施行ス但シ舊樣式車票ノ殘存
スルモノハ其ノ裏面ヲ改正丁種車票トシテ空車ニ限リ使用ス
本達實施ト同時ニ左記示達ヲ廢止ス

一、大正四年三月運丁寅第三百五十九號空車取扱手續中左ノ件
件
大正四年四月示達運甲卯第二十一號撫順宛空車取扱手續
中左ノ件

(請規定類第二編一六六、一六五、一六八頁參照)

大正四年十二月十七日

運輸部長

第一項改正

一、車票ノ種類及使用區別ハ左ノ通トス

甲(白地ニ赤刷トシ)發着驛名欄ノ分界ニ縱赤筋ヲ劃ス
普通貨物積載車ニ使用ス

乙(桃色地ニ黒刷)

死體、動物、鮮魚、野菜、果物、鶏卵、氷、危險品及「シート」、
「ロープ」等急送品積載車ニ使用ス

丙(白地ニ赤刷トシ)大「赤」文字ヲ入ル

埠頭(日清三泰油房專用線ヲ含ム)及築港事務所著普通貨物
積載車ニ使用ス

丁(甲、乙、丙種車票ノ裏面代用全部白色)

空車ニ使用ス但シ撫順行空無蓋貨車(記號ハ、ム、ム、ム)土
運車及石炭車ニ限リ車票ヲ省略スヘシ

第五項ニ追加

保存期間經過後ノ甲乙丙種車票ハ其ノ表面ノ記載ヲ抹殺シ裏
面ヲ丁種車票トシテ空車ニ使用シ剩餘ヲ生シタル場合ハ取纏
メ之ヲ用度課ニ返納スヘシ

第七項車票ノ雜形改正

左ノ通(別紙)トス

(別紙ハ本號ニ添附ス)

通牒

第二千六百三十四號

大正四年十二月十八日

地方第二千五百十四號

幼兒運動場休業日ニ關スル件明治四十三年十二月地第二千三百
九號通牒ノ處自今同場夏冬兩期休業終始期日ハ總裁ノ認可ヲ受
クルヲ要セス管理者ニ於テ適宜之ヲ定メ當課ヘ報告セララルヘシ
大正四年十二月十七日 地方部地方課長

(請規定類第八編四二頁參照)

運輸

運丁卯第二百二十九號

鴨綠江結氷ノ爲同開閉橋ハ本月七日ヨリ解氷期ニ至ル迄其ノ開
閉ヲ中止スル旨朝鮮總督府鐵道局長官ヨリ通知アリタリ
大正四年十二月十七日 運輸部長

運丁卯第二百三十號

明治四十四年十月通牒運丙第三百四十三號「ホーム、シグナル」
及「デスタント、シグナル」取扱上注意スヘキ事項中第十一項末
尾ニ「又「デスタント、シグナル」ノ代用手合圖ハ「デスタント、
シグナル」ノ位置ニ於テ之ヲ現示スルモノトス」ヲ追加ス
大正四年十二月十七日 運輸部長

(請規定類第四編一七三頁參照)

運丁卯第二百三十一號

鐵道電報發送責任者左ノ通追加ス
大正四年十二月十七日

運輸部長

三

人事

賴信驛所 所屬 氏名
 全線 運輸部 丸山德三郎
 同 同 高橋德次郎
 同 同 水谷長治郎
 各通 奉天保線係勤務 職員 岡 大路
 奉天實業補習學校講師ヲ囑託ス 同 清家 正就
 右十二月一日附 夏家河子驛長 職員 川上 鏡藏
 依願職員ヲ免ス 鐵嶺驛勤務 職員(助役) 瀧口 省之
 夏家河子驛長ヲ命ス 右十二月十六日附 全 壽 誠
 南滿醫學堂講師ヲ囑託ス 豫備員 清水 威重
 依願豫備員ヲ免ス 長春驛長 職員 岩永 裕吉
 運輸部勤務ヲ命ス 奉天驛勤務 職員(助役) 小日山直登
 長春驛長ヲ命ス

右十二月十七日附

金五拾錢 瓦房店保線係在勤 線路工夫 祁 善 昌
 大正四年十二月九日軌條ノ毀損ヲ發見シタル廉ニ依リ賞與
 金壹圓 大石橋保線係在勤 線路工夫 堀田龜太郎
 大正四年十二月五日軌條ノ毀損ヲ發見シタル廉ニ依リ賞與
 金壹圓 奉天保線係在勤 線路工夫 鈴木 保科
 大正四年十二月三日軌條ノ毀損ヲ發見シタル廉ニ依リ賞與
 金五拾錢 鐵業部販賣課(奉天)在勤 現業助手 徐 德 明
 大正四年十一月二十五日盜犯人ヲ取押ヘタル廉ニ依リ賞與
 鐵業部販賣課(奉天)勤務 雇員 御厨 庫木
 大正四年八月十五日貯炭場巡視中支那人三名共謀石炭ヲ竊取逃
 走セントスルヲ發見シ抵抗ヲ受ケンモ屈セス遂ニ其一名ヲ逮捕
 シ盜難品全部ヲ奪還スルヲ得タルハ奇特ニ付茲ニ之ヲ賞與
 右十二月十六日附

雜錄

▲懲戒委員會書記任命 山田潤二ハ十二月十七日懲戒委員會書記ヲ命セラレタリ

▲傳染病發生

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年 齡
猩紅熱	十二月八日	十二月十一日	奉天西六條街與第七	荒尾 眞雄	一九年
同	十二月六日	十二月八日	撫順大山坑已ノ一	津川 武六	六年
同	十二月四日	十二月九日	撫順楊樹堡坑已ノ一	安東 ツメ	三五年

車標雛形

(甲) (白地赤刷) 南滿洲鐵道株式會社

布敷網敷 覆員敷

車號 月日 發驛 著 驛 卸

品名 荷受人

(乙) (桃色地黒刷) 南滿洲鐵道株式會社

布敷網敷 覆員敷

車號 月日 發驛 著 驛 卸

品名 荷受人

(丙) (白地赤刷) 南滿洲鐵道株式會社

布敷網敷 覆員敷

車號 月日 發驛 著 驛 卸

品名 荷受人

(丁) (白地無印刷) 南滿洲鐵道株式會社

布敷網敷 覆員敷

車號 月日 發驛 著 驛 卸

品名 荷受人

(連甲卯第二四八號附屬)

社報第二千六百三十四號附錄 大正四年十二月十八日





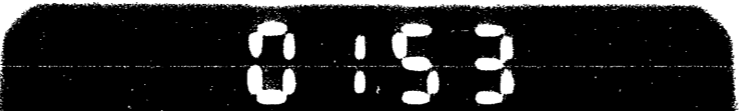
種紅船 擬似十二月八日 十二月十一日	二 本溪湖河西街五ノ	小出	静子 九年
バラチアス 十二月一日 同	七 開原附屬地大街七區	森内	リウ 二九年
似鵬 十二月二十九日 十二月九日	四 遼陽イ區三六ノ六	原	タカ 三〇年
十二月六日 十二月十三日	四 本溪湖河西街一三ノ	原	ヨシノ 六四年

廣 告

◎上海定期航路
 神戸丸 (第三百三十八次) 復航青島寄港
 十二月二十二日正午 大連出帆
 樽丸 (修理ノ爲休航)

▲正誤 前號人事欄中「候治業」ハ「候治業」ニ「板倉賢藏」ハ「板倉賢敬」ノ誤

第二千六百三十四號 大正四年十二月十八日



南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十二月十九日
日 曜 日
第 二 千 六 百 三 十 五 號

示 達

總事庶甲第五百三十九號
 明治四十五年三月示達庶甲第千二百九號鐵道無貨乘車證規程第
 二條ニ依ル待遇乘車證ノ樣式中常用ノ分別紙ノ通改正シ大正五
 年一月一日ヨリ實施ス
 大正四年十二月十八日

總裁 男 府中村雄次郎

(別紙ニ本號ニ添付ス)

運 輸

運甲卯第二百四十九號
 大正四年一月示達運甲第三百四十二號大阪商船大連經由滿洲
 輸出聯絡貨物ノ汽船運賃左記ノ通改正シ十二月二十日受託ノ分
 ヨリ實施ス
 大正四年十二月十八日

運輸部 長

第 二 千 六 百 三 十 五 號 大 正 四 年 十 二 月 十 九 日

品名	單位	門司、長崎、大府、釜山、山崎、仁川、浦項、橫濱、四日市、福岡著	基隆著	打狗著
一等品	一才	2.80	2.50	1.00
二等品	一才	2.50	2.20	8.00
三等品	一才	2.20	1.90	7.00
貴品	一才	2.00	1.70	6.00
大豆	百斤	7.00	6.00	5.00
胡麻子	百斤	7.00	6.00	5.00
蕎麥子	百斤	7.00	6.00	5.00
麵粉	百斤	7.00	6.00	5.00
糖	百斤	7.00	6.00	5.00
豆油	一才	2.00	1.80	1.50
花生油	一才	2.00	1.80	1.50
落花生	一才	2.00	1.80	1.50
蒸製粉	一才	2.00	1.80	1.50
骨粉	一才	2.00	1.80	1.50
(事ノノ極取度都其ノ貨運)				
大豆	一才	2.00	1.80	1.50
胡麻子	一才	2.00	1.80	1.50
蕎麥子	一才	2.00	1.80	1.50
麵粉	一才	2.00	1.80	1.50
糖	一才	2.00	1.80	1.50
豆油	一才	2.00	1.80	1.50
花生油	一才	2.00	1.80	1.50
落花生	一才	2.00	1.80	1.50
蒸製粉	一才	2.00	1.80	1.50
骨粉	一才	2.00	1.80	1.50

運甲卯第二百五十號
 明治四十二年八月示達運甲第三百二十九號客車密爾子辦價金ニ關



スル件左記中一等車(イ)ヲ左ノ通改正シ十二月二十一日ヨリ之ヲ實施ス

大正四年十二月十日

運輸部長

- 一等車(イ) 自第一七〇號至第一七三號
 - 兩側ノ窓硝子 (透明ノモノ) 一枚 金貳圓九拾八錢
 - 便所内ノ窓硝子 (不透明ノモノ) 一枚 金貳圓六拾八錢
 - 入口ノ扉窓硝子 (透明ノモノ) 一枚 金壹圓七拾參錢
 - 中仕切Sliding Door窓硝子(同) 一枚 金六圓九拾貳錢
 - 中仕切Hinged Door窓硝子(同) 一枚 金六圓參拾四錢
 - 一等車(イ) 第一七四號
 - 入口ノ扉窓硝子 (透明ノモノ) 一枚 金貳圓參拾錢
 - Vestibule Window 硝子 (同) 一枚 金五圓拾四錢
 - Vestibule Door 窓硝子 (同) 一枚 金參圓貳拾六錢
 - 中仕切Sliding Door窓硝子(同) 一枚 金五圓九拾貳錢
 - 中仕切Hinged Door窓硝子(同) 一枚 金六圓九拾九錢
 - 兩側ノ窓硝子 (不透明ノモノ) 一枚 金參圓四拾九錢
 - 洗面所及便所ノ窓硝子 (不透明ノモノ) 一枚 金貳圓八拾九錢
- (請規定類第第一編六四〇頁參照)

運甲卯第二百五十一號
自今閉塞式施行ノ區間ニ於テ「列車區間ニ入ル」ノ信號送示ハ列車運轉及信號取扱心得第七十三條ノ規定ニ據ラス左記ノ取扱フヘシ

大正四年十二月十八日 運輸部長

閉塞式施行ノ區間ニ於ケル「列車區間ニ入ル」ノ信號ハ列車出發二分前ヨリ早キ時刻ニ於テ送示スヘカラス但シ通過列車ニ在リテハ其ノ通過スヘキ時刻ノ五分前ニ送示スルコトヲ得

(請規定類第第一編三六頁參照)

通 牒

運丁卯第二百三十三號
獨立守備第一、第二大隊警備勤務擔任區域ヲ左記ノ通改正シ本月七日ヨリ實施ノ旨獨立守備隊司令官ヨリ通知アリタリ

大正四年十二月十八日 運輸部長

列車番號	第一大隊	第二大隊
5	至自 長開	至自 春原
3	至自 長昌	至自 春開
7	至自 長昌	至自 春開
9	至自 昌長	至自 昌鐵
6	至自 昌長	至自 鐵昌

線		4	8	10
至自	開長	原春	至自 昌長	至自 鐵昌
至自	昌長	至自 鐵昌	至自 鐵昌	至自 鐵昌
至自	鐵昌	至自 鐵昌	至自 鐵昌	至自 鐵昌
至自	鐵昌	至自 鐵昌	至自 鐵昌	至自 鐵昌
至自	鐵昌	至自 鐵昌	至自 鐵昌	至自 鐵昌

(請規定類第第一編四四〇頁參照)

人 事

公主嶺尋常高等小學校訓導兼校長 油井文市郎
鐵嶺尋常高等小學校訓導兼校長ニ任ス
連山關尋常小學校訓導兼校長 奧藤 文吉
公主嶺尋常高等小學校訓導兼校長ニ任ス
奉天尋常高等小學校訓導 瀧川嘉一郎
連山關尋常小學校訓導兼校長ニ任ス
連山關尋常小學校訓導 奧藤 靜子
公主嶺尋常高等小學校訓導ニ任ス
右十二月十六日附(關東都督府發令)
大連醫院兼埠頭事務所勤務ヲ命ス(乘組)
依願職員ヲ免ス、
大連醫院瓦房店分院長 職員 田邊 敬吉
大連醫院勤務 職員 和田 享範
奉天醫院勤務ヲ命ス
大連醫院勤務 職員 小菅義三郎

第二千六百三十五號 大正四年十二月十九日

公主嶺醫院勤務ヲ命ス

各通 大連醫院勤務 職員 小倉 金作
大連醫院勤務 同 村山 梅吉
地方衛生課勤務ヲ命ス 同 山口 徳次
旅順ヤマトホテル勤務 職員 辻井直次郎
依願職員ヲ免ス 築港事務所勤務 職員 山下 武熊
依願職員ヲ免ス 荒木彌一郎
旅順ヤマトホテル勤務 職員 長崎今朝三郎
各通 大島政五郎
大連醫院勤務 職員 小菅義三郎

雜 錄

▲無賃乘車證無效 左記常用鐵道乘車證ハ紛失ノ旨届出タルニ因リ自今無効トス
氏 名 大石橋保線係保線手 湊重喜
發行年月日 大正四年一月一日
番 號 第二二三號
等 級 二等
區 間 蓋平湯崗子間及營口線
期 間 大正四年中

▲機關車乘車證無效 左記機關車乘車證ハ紛失ノ旨届出タルニ
因リ自今無効トス
氏名 大石橋保線係保線手 湊重喜
番號 第六三號
區間 蓋平湯岡子間及營口支線
期 大正四年中

▲貯金通帳無效
貯金通帳 甲第一六二六號 壹冊 預ケ人 中本フジノ
右通帳紛失ノ旨届出タルニ依リ自今無効トス拾得者ハ本社會
計課ニ送付セラレタシ

▲傳染病發生

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年	齡
腸窒扶斯	十二月十日	十二月十五日	本溪湖橋月町一七	丁字	カヨ	五八年
同	十二月四日	十二月十二日	長春西第九區一九五	北川	鹿藏	三〇年
同	同	十二月十一日	撫順東郷坑個人舍宿	松尾	藤吉	二二年
猩紅熱	十二月十二日	十二月十四日	撫順楊樹堡社宅庚三	松山	藤雄	七年
赤痢	十二月六日	十二月十一日	撫順朝日町社宅丁五	白石半三郎	一八年	

▲正誤 前號示達運輸甲卯第二四八號左記車票種類乙ノ記事中「動物、鮮魚」ノ
下「鮮肉」ヲ植脱セリ

廣告

◎上海定期航路
神戶丸 (第三百三十八次) 復航青島寄港
十二月二十二日正午 大連出帆
神丸 (修理ノ爲休航)

(總事庶甲第五三九號附屬)

待遇乘車證常用券様式



原色 淡色
地色 白文
名號 拔白

左記各項御承知ノ上本證御使用可被下候
一、本證ノ使用ハ記名御本人ニ限リ他
人ニ貸與及ハ讓與ノ儀ハ御斷申上候
一、鐵道係員檢札ノ際ハ本證御示シ可
被下候
一、御乘車ノ座席ニ依リ別ニ料金を要
スル場合ハ其料金を御支拂可被下候
一、表記ノ等級ヨリ優等車ニ御乘車ノ
節ハ貸金差額御支拂可被下候
一、本證紛失等ノ場合ハ直ニ本社へ御
通知可被下候
一、本證御使用済ノ上ハ還溜ナク本社
へ御返付可被下候

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十二月二十三日 星期二 第二千六百三十八號

大正四年十二月二十三日

示 達

運 輸

運甲卯第二十五號
 明治四十五年五月運甲第四十九號哈爾濱行聯絡貨物代辦運送取扱手續中文ニ「日本郵船、大阪商船及上海ヨリトアルヲ」「日本郵船、大阪商船、大連汽船（天津ヨリ）社線船船ニ依リ上海及青島ヨリ」ト又左記ノ五ニ「日本郵船、大阪商船若ハ上海代理店トアルヲ」「日本郵船、大阪商船、大連汽船、上海埠頭支所及青島埠頭出張所」ト孰レモ改正ス
 大正四年十二月二十二日 運輸部長

（諸規定類第ニ編一〇二頁參照）
 運甲卯第二十五號
 明治四十四年三月運甲第三百九十號乘車券及鐵道收入關係書類取扱手續及同様式貨物ノ部中左ノ通改正シ大正五年一月一日ヨリ實施ス
 大正四年十二月二十二日 運輸部長

第二千六百三十八號 大正四年十二月二十三日

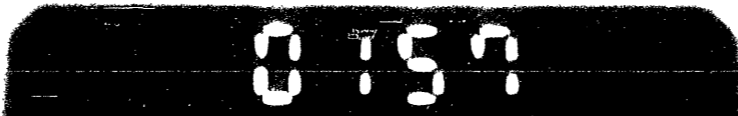
一 左ノ一項ヲ追加ス

- 引換貨物運送原簿
- 引換貨物運送報告
- 引換貨物運送通知書
- 引換貨物到著原票
- 貨物引換證

一 用途

同一番號ヲ附シ社線内貨物列車便貨物託送ノ際荷送人ヨリ貨物引換證發行ノ請求アル場合炭酸紙ヲ以テ同時ニ作成ス原簿ハ自驛ニ留メ報告ハ運輸部營業課ニ提出シ通知書ハ送狀トシテ著驛ニ送付シ到著原票ハ著驛ニ於ケル到著貨物ニ關スル原票トシ引換證ハ荷送人ニ交付スヘシ

- 二 種類番號及色別
 - 1. 貨物列車便ニ依ル現拂貨物ニ使用スルモノ 601-700 黒刷
 - 2. 貨物列車便ニ依ル著拂貨物ニ使用スルモノ 701-800 赤刷
 - 3. 貨物列車便ニ依ル後拂貨物ニ使用スルモノ 801-900 藍刷
- 但シ貨物引換證ハ黒刷（地紋薄桃色刷）



特定ノ驛ニ於テ使用スル分ニ限リ番號ノ外百號循環毎ニ「イロハ」ノ記號ヲ冠スルモノトス

三 記入ノ注意

特約事項及記事欄ハ特ニ明瞭ニ記載シ且記載スヘキ事項ヲ洩ササル様注意スヘシ

引換證ノ記名ハ驛長ニ限リ一定ノ職印ヲ捺捺スヘシ
到著預貨物内出記載欄ノ記入ニ付テハ倉庫營業ニ關スル取扱手續ニ據ルヘシ

四 著驛ニ於ケル取扱方

提出ノ貨物引換證ハ正確ナルコトヲ認メタル上受領文言欄ニ所持人ヲシテ年月日ヲ記入シ記名捺印セシメ之ト引換ニ貨物ヲ交付スヘシ
回收シタル引換證ハ直ニ抹線ヲ施シ運輸部營業課ニ提出スヘシ

一 左ノ通改正ス

貨物引換證作成手續中一、用途ノ冒頭ニ「社線内貨物列車便以外ノ貨物ニ對シ」ヲ追加ス

二 記入ノ注意中第四項ヲ削除シ左ノ一項ヲ追加ス

引換證ノ記名ハ驛長ニ限リ一定ノ職印ヲ捺捺スヘシ

(本年一月社報第二三六八號參照)

運乙卯第二百七十號

十二月二十五日ヨリ左記ノ通休止中ノ貨物列車並不定期貨物列車ヲ運轉シ之ト同時ニ一部貨物列車ノ運轉ヲ休止ス

大正四年十二月二十二日 運輸部長

一 運轉列車

大連 瓦房店間 下リ※第三十五列車 上リ第一一列車

瓦房店大石橋間 下リ第一一列車 上リ第二十六列車

大石橋 遼陽間 下リ第二十五列車 上リ第七十二列車

遼陽 奉天間 上リ第二十八列車 下リ第二十五列車

奉天 鐵嶺間 下リ第二十五列車 上リ第二十三列車

鐵嶺 公主嶺間 上リ第二十六列車 下リ第二十八列車

二 休止列車

大連 瓦房店間 下リ第二十五列車 上リ第二十六列車

三 本達施行ニ伴ヒ機關車運用、同乘務員並車掌乘務表中一部ヲ左ノ通復活變更若ハ休止ス

○機關車運用表(乘務員乘務方之ニ同シ)

大連車輛係 番號32、36ヲ復舊ス

瓦房店車輛係 番號42、48、81ヲ復活變更43ヲ復舊80ト69ノ變更組合セテ解キ更ニ48ト69ヲ變更組合セテ47ヲ休止ス

遼陽車輛係 番號106ヲ復活變更119ヲ復舊ス

奉天車輛係 番號125、129、134、135、136、137ヲ復舊ス

鐵嶺車輛係 番號152、155ヲ復活變更15、156ヲ復舊ス
公主嶺車輛係 番號165、166ヲ復活變更167ノ變更組合セテ解キ163ヲ下リ第四十五列車ニ變更ス

○機關車乘務員乘務表

瓦房店車輛係 番號42、48、81ヲ復活變更43ヲ復舊76ト55ノ變更組合セテ解キ更ニ76ト81ヲ變更組合セテ47ヲ休止ス
公主嶺車輛係 番號165、166ヲ復活變更171、170ト173ノ變更組合セテ解キ更ニ170ト165ヲ變更組合セテ165ヲ下リ第四十五列車ニ變更ス

○車掌乘務表

大連驛 番號變り、15ヲ復舊ス
瓦房店驛 番號19、25ヲ復活變更20ヲ復舊變更32ノ復活ヲ第二十六列車ニ變更シ24ヲ休止ス
大石橋驛 番號變り44ノ往路ヲ第二十八列車ニ變更ス
遼陽驛 番號60ヲ復活變更67ヲ復舊ス
奉天驛 番號變り74、83、84、85、86ヲ復舊ス
鐵嶺驛 番號93、96ヲ復活變更92、97ヲ復舊ス
公主嶺驛 番號102ヲ復活變更103ヲ復舊變更104ノ復活ヲ第四十五列車ニ變更ス

四 大連瓦房店間下リ第三十五列車上リ第十四列車ハ大連驛、車輛係ノ受持トシ仕業番號第3トス
五 遼陽奉天間下リ第二十五列車上リ第三十二列車ハ遼陽驛、車輛係ノ受持トシ仕業番號第4トス
六 本達施行ニ伴ヒ機關車運用並乘務員乘務移替方左ノ通トス
大連瓦房店間

第二千六百三十八號 大正四年十二月二十三日

○瓦房店車輛係番號42、瓦房店驛番號19ハ十二月二十五日ヨリ仕業ヲ始ムルモノトス
瓦房店大石橋間
○十二月二十四日瓦房店發下リ第七十五列車機關車並下リ第七十三列車機關車乘務員ハ同日自驛發ヨリ復舊若ハ變更「ダイヤ」ニ依リ牽引乘務スヘシ
○十二月二十四日瓦房店發下リ第三十三列車車掌ハ同日自驛發ヨリ變更「ダイヤ」ニ依リ乘務スヘシ

遼陽奉天間

○遼陽車輛係番號119遼陽驛番號67ハ十二月二十五日奉天車輛係番號125奉天驛番號74ハ十二月二十六日自驛發ヨリ何レモ復舊「ダイヤ」ニ依リ仕業スヘシ
奉天鐵嶺間
○十二月二十四日奉天發下リ第十五列車機關車並乘務員ハ二十五日鐵嶺發上リ第十四列車ヲ牽引乘務スヘシ
○十二月二十四日奉天發下リ第十九列車機關車並乘務員ハ二十五日鐵嶺發上リ第十二列車ニ重聯シ車掌ハ便乗トス
○十二月二十四日奉天發下リ第二十三列車機關車並乘務員ハ二十五日鐵嶺發上リ第十六列車ヲ牽引乘務スヘシ
○十二月二十四日鐵嶺發上リ第二十八列車機關車並乘務員ハ二十五日奉天發下リ第二十五列車ヲ牽引乘務スヘシ

○鐵嶺車輛係番號151、152、155鐵嶺驛番號93、96ハ十二月二十五日又奉天車輛係番號13奉天驛番號84ハ十二月二十五日奉天車輛係番號13奉天驛番號84ハ十二月二十六日ヨリ何レモ仕業ヲ始ムルモノトス

鐵嶺公主嶺間

鐵嶺公主嶺間

○十二月二十四日公仕嶺發上り第三十二列車補助機關車並乗務員ハ二十五日鐵嶺發下り第四十五列車ヲ牽引乗務シ其他ハ二十五日公仕嶺發ヨリ本道「ダイヤ」ニ依リ仕業スヘシ

附記
本道施行ト同時ニ十二月十四日奉天列車係發第百三十八號及第百三十九號電報達示ハ自然消滅トス依テ奉天鐵嶺間上り第四十四號列車並鐵嶺公仕嶺間上り第三十二列車補助機關車ハ十二月二十四日限リ休止ス尙又途中停車列車表中變更中ノモノハ指定列車復活ニ伴ヒ自然復舊スルモノトス

通牒

運輸部

運丁卯第二百三十八號
明治四十二年十月運甲西第百七十九號ニテ指定シタル貨物専用支線中左ノ通加除ス
大正四年十二月二十二日 運輸部長

(追加)
驛名 線名
奉天驛 牟婁木局専用線
奉天驛 瑞光木局専用線
(前規定類纂第二編七六三頁參照)

運丁卯第二百三十九號
鐵道院ニテ大正五年一月一日ヨリ東海道本線「一ノ宮」驛ヲ「尾張」ノ宮ニ驛ト又山陽本線「宮驛」長門「ノ宮驛」ト改稱スル旨通知アリタリ
大正四年十二月二十二日 運輸部長

人事

滿五箇月間東京帝國大學醫科大學ニ於テ研學ヲ命ス
右十二月十九日附 鐵道院販賣課勤務 職員 河原林貫一
營口在勤ヲ命ス
右十二月二十一日附 埠頭事務所勤務 職員 白木徹夫
依願職員ヲ免ス 大連醫院勤務 職員 菅沼喜美
依願職員ヲ免ス 長春尋常高等小學校訓導 入井平作
長春尋常高等小學校兒童寄宿舎監ヲ囑託ス 神代新市
雇員ヲ命ス 郭家店驛勤務 雇員(車掌) 福井正氣
各通 大連驛勤務 同(車掌見習) 萩原忠則
瓦房店驛勤務ヲ命ス

各通	大連驛勤務 雇員(車掌見習) 但野 義藏
遼陽驛勤務ヲ命ス	同(同) 山崎 正朝
各通	大連驛勤務 雇員(車掌見習) 江黒泰次郎
鐵嶺驛勤務ヲ命ス	同(同) 鈴木 貞一
各通	大連驛勤務 雇員(車掌見習) 楠原 盛藏
公主嶺驛勤務ヲ命ス	同(同) 中村 一郎
橋頭驛勤務ヲ命ス	大連驛勤務 雇員(車掌見習) 相原 莊藏
右十二月二十二日附	
車掌ヲ命ス	瓦房店驛勤務 雇員 福井 正氣
各通	瓦房店驛勤務 雇員 萩原 忠則
	遼陽驛勤務 同 但野 義藏
	同 山崎 正朝
	鐵嶺驛勤務 同 江黒泰次郎
	同 鈴木 貞一
	公主嶺驛勤務 同 楠原 盛藏
	同 中村 一郎
	橋頭驛勤務 同 相原 莊藏
車掌見習ヲ命ス	
右十二月二十二日附	
金壹圓	鐵嶺驛在勤 轉轍方 古賀 乙圓

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年齢
腸室扶斯	十二月一日	十二月十四日	公主嶺守備隊宿舍	山根	スガ四五年
同	十二月九日	十二月十七日	四平街南四條路	川上	テモ二一年
同	十二月十一日	同	本溪湖住吉町	市瀬	良胤三〇年
同	十二月十五日	十二月二十日	本溪湖太子河	黄鳳	桐二六年
同	十二月八日	十二月十七日	本溪湖桃月町三六ノ五	波呂	平吉四七年

▲傳染病發生

▲雇員改姓 奉天驛勤務雇員後藤憲三郎ハ「盛」ト改姓ノ旨届出タリ

▲雜錄
大正四年九月八日軌條ノ毀損ヲ發見シタル廉ニ依リ賞與
大正四年十月十一日軌條ノ毀損ヲ發見シタル廉ニ依リ賞與
金五拾錢 鐵道販賣課(遼陽)在勤 現業助手 施 永財
大正四年十二月十六日窃盜犯人ヲ取押ヘタル廉ニ依リ賞與
右十二月二十二日附

廣告

◎上海定期航路

神丸 (第百七次) 往航青島寄港

十二月二十四日正午 大連出帆

神戶丸 (第百三十九次) 復航青島寄港

十二月二十九日正午 大連出帆

◎讀書會講演

十二月二十四日(金曜日)午後四時十分本社分館會議室ニ於テ
開會、話題及演者左ノ如シ

山田 潤二君

坤上一過

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十二月二十四日

金 曜 日

第二千六百三十九號

社 告

社告第四十九號
大正四年十二月二十六日ヨリ左記電信取扱所ニ於テ公衆電報ノ
取扱ヲ開始ス
大正四年十二月二十三日

總裁 男爵中村雄次郎

新城子電信取扱所

示 達

運 輸

運甲卯第二百五十六號
大正四年一月示達運甲寅第三百四十二號大阪商船大連經由臺灣
及內地航路滿洲輸出聯絡貨物ノ汽船運賃及其ノ計算方法中乙、
計算方法第四項ヲ左ノ通改訂ス
大正四年十二月二十三日

運輸部長

第二千六百三十九號 大正四年十二月二十四日

四 一才ノ重量三十七斤半以上ノモノハ重量ニ依リ計算シ才建
運賃ノ四十倍ヲ以テ一噸ノ運賃率トス
(諸規定類第ニ編八二ノ一頁參照)

運甲卯第二百五十七號

明治四十二年七月運甲酉第八十一號公衆電報取扱手續中左ノ通
改正追加シ十二月二十六日ヨリ實施ス
大正四年十二月二十三日

運輸部長

- 一 第一條ヲ左ノ通改正ス
 - 一 第一條 公衆電報取扱ニ關シテハ大正四年十月遞信省令第五
十三號私設電信私設無線電信公衆通信取扱規則ヲ準用ス
 - 一 第二條及第五條但書中虎石臺ノ次ニ「新城子」ヲ追加ス
 - 一 第四條中「內國及日清」トアルヲ「內國及日支」ニ改ム
 - 一 第九條第一項第二項取扱所名中及第三項奉天局ノ分送系中
虎石臺ノ次ニ「新城子」ヲ追加ス
 - 一 同條第二項取扱所名奉天ノ一號ヲ左ノ通改正ス
- 大連埠頭 大連
奉天 對 柳樹屯、金州、普蘭店、貔子窩 本社構内
其他ノ各局所 奉天局
- 第十條中虎石臺ノ次ニ所名「新城子」名稱「新城子」ヲ追加ス

一 第七條中線名大連埠頭線ノ接續局所ヨリ「滿鐵本社構内取扱所」ヲ撤去シ左ノ一號ヲ追加ス
線名 接續局所
大連埠頭線 大連局、滿鐵構内取扱所、柳樹屯局、金州局、普蘭店局、貔子窩局
(諸規定類第五編五九頁參照)

人事

依願職員ヲ免ス 埠頭事務所勤務 職員 萩原 猪平
依願職員ヲ免ス 埠頭事務所勤務 職員 間生卯之助
依願職員ヲ免ス 遼陽醫院勤務 職員 櫻井 正春
職員ヲ命ス 奉天驛勤務 職員 早川 勇吉
職員ヲ命ス 奉天驛勤務 職員 櫻井 正春
職員ヲ命ス 奉天驛勤務 職員 早川 勇吉
依願職員ヲ免ス 總務部事務局調査課勤務 職員 岡本芳二郎
右十二月二十三日附
依願職員ヲ免ス 遼陽醫院勤務 職員 櫻井 正春
職員ヲ命ス 奉天驛勤務 職員 早川 勇吉
電信方見習ヲ命ス

驛務助手ヲ命ス 郭家店驛勤務 職員 神代 新市
右十二月二十二日附

雜錄

▲重役上京 改野理事ハ二十三日海路出發上京セリ
▲正誤 前號人事欄(四頁下段及五頁)萩原忠則、但野義藏、山崎正朝ノ職名(車掌見習)ハ(車掌)同部發令ノ分(五頁上段)前記三名ニ對スル辭令「車掌見習ヲ命ス」ハ「車掌ヲ命ス」ヲ執レモ誤

廣告

◎上海定期航路
神丸(第百七次) 往航青島寄港
十二月二十四日正午 大連出帆
神戶丸(第百三十九次) 復航青島寄港
十二月二十九日正午 大連出帆

南滿洲鐵道株式會社 報

大正四年十二月二十五日 土曜日

第二千六百四十號

通牒

運丁卯第二四十一號
大正三年九月通牒運丁寅第六十四號聯絡貨物受託ノ際日本及朝鮮輸入禁制品並支那輸出禁制品ニ注意ノ件左記支那輸出禁制品第三號中「麥粉」ニ關スル一項ハ自今左ノ通改正サレタル義ト心得ラルヘシ
大正四年十一月二十四日 運輸部長
麥粉モ右ニ準シ輸出禁制品トシテ取扱ハル但シ滿洲產麥粉ニシテ鮮滿國境經由輸出ノモノハ此限ニ在ラス
(諸規定類第三編七八四ノ一參照)
運丁卯第二四十二號
鐵道電報發送責任者左ノ通追加ス
大正四年十二月二十四日 運輸部長

蓋平	所屬	植木 剛
海城	大石橋地方事務所	宮原 孟
	(在辦在動)	

人事

總務部事務局庶務課勤務 職員 是枝常太郎
依願職員ヲ免ス 右十二月二十三日附

雜錄

▲乘車賃金割引證明券無效 左記割引證明券ハ自今無効トス
(運輸部)
番號 第七四號
所持者 大師教布教師原寅雄
發行日 大正四年十月九日
▲雇員死亡 中固驛勤務雇員原田惠吉ハ十二月二十三日病死セ

廣告

▲豫備員死亡 豫備員網井誠作ハ十二月十五日病死セリ

◎上海定期航路

神戶丸 (第三百三十九次) 復航青島寄港
十二月二十九日正午 大連出帆
柳丸 (第三百八次) 往航青島寄港
十二月三十一日正午 大連出帆

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正四年十二月二十九日

水曜日

第二千六百四十三號

社告

社告第五十號
大正五年一月一日ヨリ當社線、鐵道院、朝鮮總督府鐵道局、京奉鐵道、津浦鐵道及瀋寧鐵道ハ加奈太平洋鐵道ト協定シ日支巡遊旅客及手荷物ノ取扱ヲ開始ス
其ノ取扱方ハ大正四年九月社告第三十五號ノ各條項ニ準ス
大正四年十二月二十八日

總裁 男爵中村雄次郎
(諸規定類纂第二編三五八ノ八參照)

示達

運輸

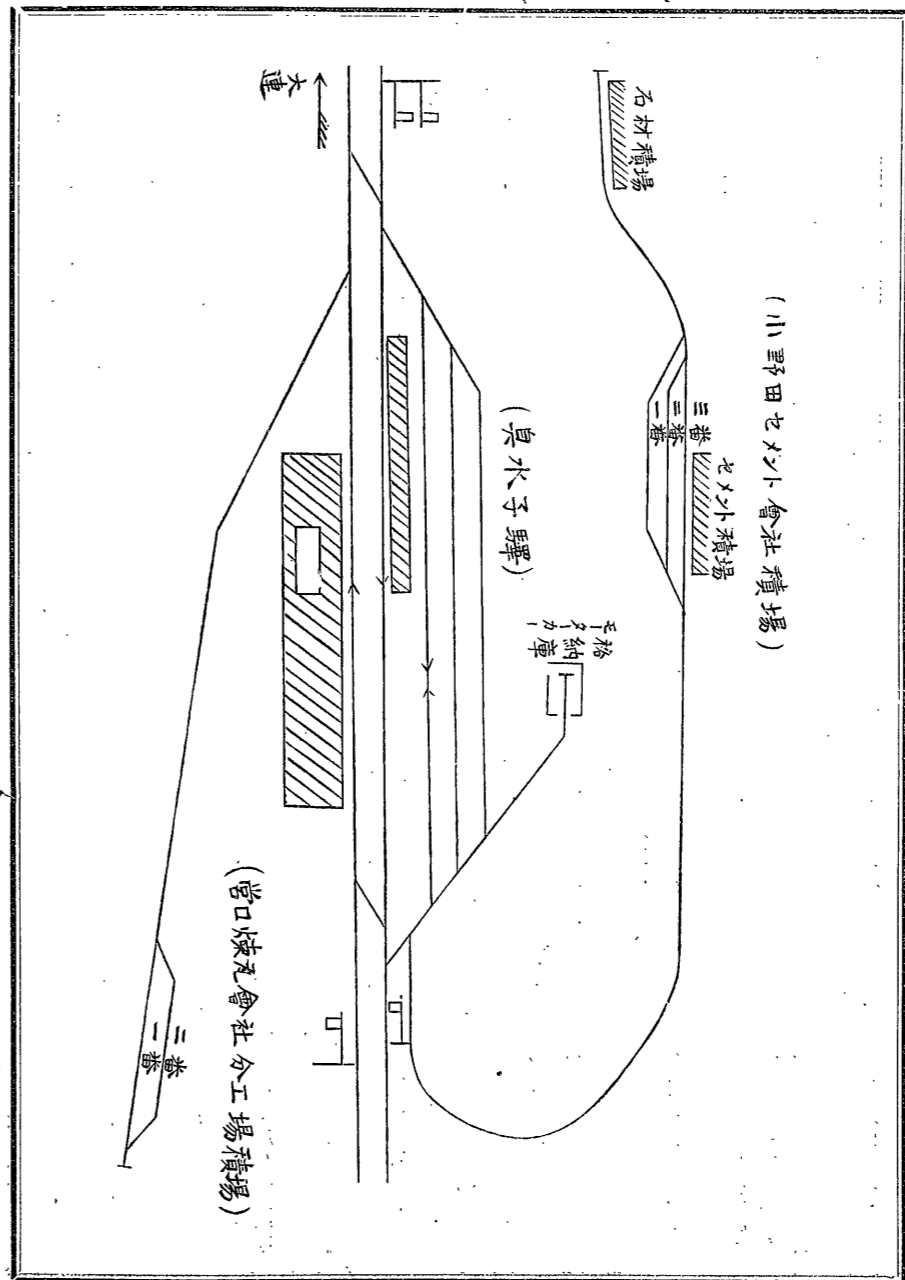
運甲卯第二百六十一號
本年十月示達運甲卯第二百號列車運轉施行手續第十條中「上リ第三十列車 サイデングニ著發セシムヘシ」ヲ追加シ大正五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
大正四年十二月二十八日 運輸部長

第二千六百四十三號 大正四年十二月二十九日

運甲卯第二百六十二號
明治四十四年七月示達運甲卯第一百號臭水子積場支線列車運轉手續左ノ通改正シ大正五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
本達施行ト同時ニ大正三年八月示達運甲卯第四百四十六號臭水子著煉瓦會社石炭車入換ノ件ハ之ヲ廢止ス
大正四年十二月二十八日 運輸部長

○通則

- 第一項 本手續ニ於テ列車ト稱スルハ入換車輛ヲ含ム
- 第二項 臭水子積場支線ヲ分テ左ノ二線トス
小野田セメント會社積場支線
營口煉瓦會社分工場積場支線
- 第三項 各積場支線ニ於テハ同時ニ一箇列車ノ外運轉スルコトヲ得ス
- 第四項 各積場ニ於ケル車輛ノ解結及「ポイント」ハ臭水子驛ニ於テ驛夫一名ヲ列車ニ便乘セシメ之ヲ取扱ハシムヘシ依リテ列車ハ各積場ニ進入ノ際ハ「フェーシング」ポイント「前」ニ於テ一旦停車シ驛夫ノ取扱ヲ待テ進行スヘシ
- 第五項 臭水子積場支線ニ於ケル線路ノ關係ハ左圖ノ如シ



○小野田セメント會社積場支線ニ於ケル取扱方

第六項 小野田セメント會社積場支線ニ於ケル列車ノ發着線ハ左ノ通トス依リテ同線ニ在ル「ポイント」ハ總テ該線ニ開通スルヲ以テ定位トス

臭水子驛 第三番線

小野田セメント會社積場 第一番線

第七項 小野田セメント會社積場支線列車ノ保安ヲ期スル爲左ノ記様式ノ運轉許可票ヲ設定ス

小野田セメント會社積場支線 運轉許可票

木製表裏同様トシ 社名ノ烙印ヲ爲ス

第八項 小野田セメント會社積場支線ニ於テハ列車及「ハンドカー」ハ前項ノ許可票ヲ携帯スルニ非サレハ決シテ運轉スヘカラス又其ノ運轉ヲ了リタルトキハ直ニ之ヲ臭水子驛長ニ返付スヘシ

第九項 小野田セメント會社積場支線列車ニ對スル車輛解結ニ關スル報告ハ臭水子驛ニ於テ同驛長之ヲ取扱フモノトシ其ノ他總テ規定ニ依ルヘシ

第十條 小野田セメント會社積場支線列車ニ對スル列車運轉ニ關スル報告ハ臭水子驛長、車掌及機關手ヨリ規定ニ依リ之ヲ提出スヘシ

第十一項 小野田セメント會社積場支線ニ於ケル線路ノ支障ハ本線路支障取扱手續ヲ準用ス但シ「ハンドカー」ヲ使用ニ限リ本手續ニ依ルヘシ

第十二項 臭水子驛長ハ「ハンドカー」ヲ使用ヲ承認シタルトキハ保線用ニ對シテハ保線係ヨリ附セル附添人、小野田セメント會社積場支線ニ對シテハ自驛ヨリ附セル附添人（日本人驛夫ニ限ル）ニ運轉許可票ヲ交附シ其ノ使用ヲ了リタルトキハ之ヲ返付セシムヘシ

○營口煉瓦會社分工場積場支線ニ於ケル取扱方

第十三項 營口煉瓦會社分工場積場支線ニ發着ノ車輛アルトキハ小野田セメント會社積場支線列車ノ牽引機關車ヲ使用シ構内入換ニ準シ取扱フモノトス

第十四項 營口煉瓦會社分工場積場ニ於ケル列車ノ發着線ハ第一番線トス依リテ各「ポイント」ハ總テ該線ニ開通スルヲ以テ定位トス

第十五項 營口煉瓦會社分工場積場支線ニ於ケル列車ノ運轉ハ本線列車ニ支障ナキ時間ニ於テ之ヲ施行スルモノトス而シテ同支線ヨリ臭水子驛ニ歸着ノ列車ハ必ス分岐點「ポイント」前相當位置ニ停車シタル後進入スルモノトス依リテ臭水子驛長ハ普通ノ列車ヲ「サイデング」ニ進入セシムル例ニ依リ取扱フヘシ

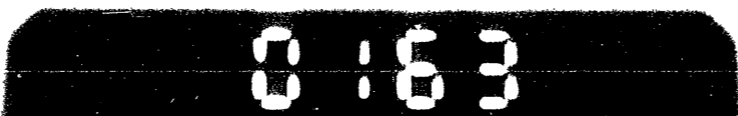
第十六項 營口煉瓦會社分工場積場支線ニ於ケル線路ノ支障ハ本線路支障取扱手續ニ準シ臭水子驛長ニ之ヲ請求スヘシ

臭水子驛長右請求ニ接シタルトキハ列車運轉ニ差支ナキ範圍内ニ於テ承諾シ其ノ旨關係者及運轉課ニ通知スヘシ

（諸規定類第第四編八七頁參照）

運甲卯第二千六百六十三號

大正四年五月示達運甲卯第五十九號臭水子驛販賣課引込線ニ於テ貨物取扱方ノ件ニ左ノ一項ヲ追加シ大正五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス



大正四年十二月二十八日 運輸部長

臭水子驛長ハ前項貨物積載車輛ノ入換車數ヲ毎月本部營業課ニ報告スヘシ

(諸規定類纂第二編七六六ノ二頁參照)

運甲卯第二百六十四號

大正二年二月示達運甲第二百八十一號郵便切手及郵便書類請求手續第一條請求標準中左ノ通追加ス

大正四年十二月二十八日 運輸部長

新城市

五拾圓 (諸規定類纂第二編六〇四頁參照)

通牒

運輸

運丁卯第二百四十七號

大連及安東ニ於ケル支那稅關ニ於テハ明年一月一日ヨリ三日迄又安東ニ於ケル朝鮮稅關ニ於テハ本年十二月三十一日ヨリ明年一月三日迄貨物通關檢査業務休止ノ趣ニ付同日通過ノ聯絡貨物ハ延著ヲ免カレサル旨荷送人ニ通告ノ上受託セラルヘシ

大正四年十二月二十八日 運輸部長

運丁卯第二百四十八號

大正三年十月社告第五十一號ニ依ル南滿東清聯絡貨物ノ引換代金ニ採用スヘキ換算率ヲ東清鐵道ニ於テハ本月二十九日以降當

分百圓ノ百六拾八留ト定ムル旨通知アリ
本年十二月運丁卯第二百二十八號ハ廢止ス
大正四年十二月二十八日 運輸部長

人事

運輸部營業課勤務 職員 太田 惟一

依願職員ヲ免ス
右十二月二十五日附

伊東 清
高橋 恭二
落合 兼行

各通

重松 善勝

雇用ヲ命ス 工場勤務

雇用ヲ命ス 撫順炭坑務課勤務
右十二月二十七日附

四平街驛勤務 職員(貨物方) 宇治田宗七
郭家店驛勤務 職員(驛務助手) 村井庄太郎

各通

鐵嶺驛勤務 職員(貨物方) 池田 密二
同(同) 松九富次郎

運輸部營業課勤務ヲ命ス(在安東)
右十二月二十八日附

鐵嶺驛勤務 職員 宇治田宗七

貨物方ヲ命ス

貨物方見習ヲ命ス
右十二月二十八日附

鐵嶺驛勤務 職員 村井庄太郎

雜錄

▲職員死亡 撫順炭坑務課勤務職員坂井伊四郎ハ本月二十七日病死セリ

▲讀書會記事

○商法講義休講 研究部商法講義ハ本月二十九日限り休講一月十二日(第二水曜)ヨリ引續キ開講スルコトナレリ

▲運動會記事

○スケーティング部幹事異動 幹事清水京太郎本溪湖保線係へ轉屬ニ付其ノ後任トシテ左ノ通指名セラレタリ
鈴木 正雄
スケーティング部幹事

廣告

◎上海定期航路

神戸丸 (第三百三十九次) 復航青島寄港

十二月二十九日正午 大連出帆

神丸 (第三百八十八次) 往航青島寄港

十二月三十一日正午 大連出帆

南滿洲鐵道
株式會社
報

大正四年十二月三十日

木曜日

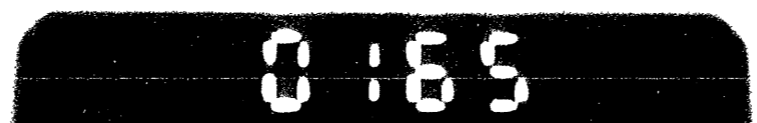
第二千六百四十四號

人事

鐵嶺實業補習學校主事
鐵嶺圖書閱覽場主事
草川 清
主事囑託ヲ解ク
右十二月八日附
四平街實業補習學校主事兼講師 加藤 嘉幸
主事兼講師囑託ヲ解ク
右十二月十三日附
公主嶺實科女學校教員囑託 油井文市郎
各通 本溪湖實科女學校教員囑託 奧藤 静子
教員囑託ヲ解ク
公主嶺實業補習學校主事兼講師
公主嶺圖書閱覽場主事
各通 連山關實業補習學校主事兼講師 奧藤 文吉
主事及講師囑託ヲ解ク
奉天實業補習學校講師 瀧川嘉一郎
講師囑託ヲ解ク
右十二月十六日附
奉天實業補習學校講師 小日山直登
講師囑託ヲ解ク
右十二月十七日附

第二千六百四十四號 大正四年十二月三十日

京都市第二高等小學校訓導 村岡 吳
撫順尋常高等小學校訓導ニ任ス
右十二月二十四日(關東都督府發令)
鐵嶺圖書閱覽場勤務 雇員 中村 親憲
各通 計理部會計課勤務 同 富 新
依願雇員ヲ免ス
鐵嶺尋常高等小學校訓導兼校長 油井文市郎
鐵嶺實業補習學校主事、鐵嶺圖書閱覽場主事ヲ囑託ス
公主嶺尋常高等小學校訓導兼校長 奧藤 文吉
公主嶺實業補習學校主事、公主嶺圖書閱覽場主事ヲ囑託ス
四平街尋常小學校訓導兼校長 松永 八郎
四平街實業補習學校主事ヲ囑託ス
連山關尋常小學校訓導兼校長 瀧川嘉一郎
連山關實業補習學校主事ヲ囑託ス
右十二月二十九日附
埠頭事務所勤務 職員 金田 慶實
同 同 關 良治
同 同 尾賀與三七
同 同 河端勘左衛門
同 同 宮地七太郎



大正四年十一月十五日暴風雨ノ際保管貨物ノ濡損防止ニ盡力シタル廉ニ依リ賞與
右十二月二十六日附
金壹圓 火運業務在勤 驛夫 王化南
大正四年八月十三日第二一列車ノ盜難被害貨物ノ大部ヲ火運業務附近ノ村民カ隱匿シ居ルヲ十一月三日探知報告セシ爲該被害品ヲ回收シ得タルハ奇特ニ付賞與
金壹圓 電氣作業所在勤務電氣工 高橋 喜作
大正四年十二月四日大連市加賀町五番地出火ノ際危険ヲ冒シテ電燈器具ヲ撤收シタルハ奇特ニ付賞與
各通 遼陽保線係在勤 線路工夫 柏木伊之吉
金壹圓 同 岡田喜太郎
大正四年十二月十二日軌條ノ毀損ヲ發見シタル廉ニ依リ賞與
金壹圓 遼陽保線係在勤 線路工夫 菊地 万作
大正四年十二月十四日軌條ノ毀損ヲ發見シタル廉ニ依リ賞與
右十二月二十九日附
奉天車輛係勤務 職員(機關手) 石塚菊次郎
大正四年七月五日第二〇六列車牽引機關車乗務中「トレンバイ」内ノ壓力調整後「カットアウト」ノ復舊ヲ忘却シタル儘劉家河驛ニ進入シ且其ノ際假睡シテ速度ノ節制ヲ爲サス其ノ停車位置ヲ誤リタルニ拘ラス當初其ノ過意ヲ隱蔽セントシテ「エヤーボンブ」ノ故障ニ藉口セシハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月收百分ノ五ノ過意金ヲ徵ス
右十二月二十九日附

大正四年十月十八日暴風雨ノ際保管貨物ノ濡損防止ニ盡力シタル廉ニ依リ賞與
金壹圓 埠頭事務所在勤務 現業助手 清家大五郎
大正四年十月十一日暴風雨ノ際保管貨物ノ濡損防止ニ盡力シタル廉ニ依リ賞與
金壹圓 埠頭事務所在勤務 現業助手 峰 治三
各通 同 中俣 親雄
金壹圓 同 吉末龜太郎
金壹圓 同 加藤 達雄
金壹圓 同 荒木 雄助
金壹圓 同 大久保興市
金壹圓 同 島田政太郎
金壹圓 同 時計 龜吉
金壹圓 同 高村吉太郎
金壹圓 同 福田 彌吉
金壹圓 同 安藤 德藏
金壹圓 同 田中 睦治
金壹圓 同 佐山 協三
金壹圓 同 千葉熊之助
金壹圓 同 今井久五郎
金壹圓 同 圓尾 春夫
金壹圓 同 事務助手 松村朝太郎
金壹圓 同 監視 吉成 雄藏
金壹圓 同 庫守 孫 玉林
金壹圓 同 同 田 正 鴻
金壹圓 同 同 丁 閣 嶺
金五拾錢 同 同

雜 錄

懲戒委員會決議 奉天車輛係機關手職員石塚菊次郎ニ對スル懲戒事件ニ付運輸部長ノ要求ニ依リ審査ヲ遂クル處
大正四年七月五日劉家河驛ニ於テ第二〇六列車停車ノ際同列車牽引機關車乗務機關手假睡ノ爲速度ノ節制ヲ缺キテ正當位置ニ停車スルコト能ハス同乘務機關助手ノ注意ニ依リ始メテ制動ニ努メ漸ク同驛下リ「ホーム」シグナル」附近ニ於テ停車スルコトヲ得タルモノトス仍テ當務者ノ所爲ヲ按スルニ機關手石塚菊次郎ハ通過後發車後「トレンバイ」内ノ壓力ヲ調整スル爲「カットアウト」ノ閉鎖シタル儘之カ復舊ヲ忘却シ且劉家河驛ニ進入ノ際假睡シテ速度ノ節制ヲ爲スコト能ハサリシモノナリ然ルニ同人ハ最初此ノ過意ヲ隱蔽セントシ停車位置錯誤ノ原因ヲ「エヤーボンブ」ノ故障ニ歸シテ虛偽ノ申告ヲ爲セリ
右ノ事實ハ運輸部長ノ懲戒要求書並其ノ附屬書類ニ徵シ明白ニシテ職務ヲ怠リ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月收百分ノ五ノ過意金ニ處スヘキモノトス

▲實業補習學校教科目増設 連山關實業補習學校教科目中ニ日語科ヲ増設セラレタリ

▲傳染病發生

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年 齡
腸管扶斯	十二月十一日	十二月二十日	撫順萬達里廣統社宅	佐久間コウ	三六年
同	十二月十日	十二月二十四	撫順縣內社宅九	堀江 道喜	三三年
同	十二月八日	十二月二十四	遼陽東洋街九	岡田 サク	二七年
同	十二月八日	十二月二十三	遼陽後家大街一ノ	白山半次郎	三四年
赤痢	十二月二十日	十二月二十三	撫順大山坑社宅三	日高フジエ	三三年
猩紅熱	十二月十七日	十二月二十四	五房店第十四區二七	高原 陽二	八年
同	十二月十八日	十二月二十日	沙河口九丁目南二六	山本 キミ	二年
同	十二月十三日	十二月二十四	分水驛附屬地一番地	石田尾 嘉壽次	二九年
同	十二月十五日	同	同	戸田 積苗	三九年
同	十二月十七日	同	同	加藤柳次郎	四四年
同	十二月十九日	十二月二十三	遼陽後家大街三	矢治 峰	一八年

▲正誤 前號示達運輸連甲第百六十二號第七項運輸許可票樣式ノ下「社名」格印「トアルハ」(社名)格印ノ誤

廣 告

◎上海定期航路
神戶丸 (第百八次) 往航青島寄港
十二月三十一日正午 大連出帆
神戶丸 (第百四十次) 復航青島寄港
大正五年一月五日正午 大連出帆

南滿洲鐵道
株式會社
報

大正四年十二月三十一日
金曜日
第二千六百四十五號

示
達

會第百十一號
十二月三十一日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾五圓貳拾五錢ノ割合ニ改ム
大正四年十二月三十日
總裁 男爵中村雄次郎

地方第二千六百八十號
本月十日文部大臣ヲ宮中ニ召サセラレ教育者ニ對シ優渥ナル御沙汰御下賜相成リ文部大臣ハ直ニ左記訓令第八號ヲ以テ教育者ノ心得ニ關シ訓示セラル本社教育ノ任ニ在ル者ハ一層奮勵努力其ノ職責ヲ盡シ以テ
聖旨ニ奉答センコトヲ期スヘシ
大正四年十二月三十日
總裁 男爵中村雄次郎

文部省訓令第八號
徵聖文武ナル
第二千六百四十五號 大正四年十二月三十一日

天皇陛下長クモ本月十日日本大臣ヲ宮中ニ召サセラレ親シク左ノ御沙汰ヲ下シタマヘリ
皇考夙ニ心ヲ教育ノ事ニ勞セラレ制ヲ定メ令ヲ布キ又救シテ其ノ大綱ヲ昭ニシタマヘリ朕遺緒ヲ紹述シテ倍々其ノ振興ヲ圖ラントス今ヤ人文日進ノ時ニ方リ教育ノ任ニ在ル者克ク朕カ意ヲ體シ以テ皇考ノ遺訓ヲ對揚セムコトヲ期セヨ
本大臣ハ此ノ優渥ナル 聖旨ヲ拜シ感激措ク所ヲ知ラス謹テ之ヲ全國一般ニ告知ス
恭シク惟ミルニ

天皇陛下曩ニ大禮ヲ行ハセラレ詔シテ肇國ノ大本ヲ申明シ臣子ノ傍道ヲ提誨シタマフ爰ニ盛儀ノ完了セララルニ方リ特ニ教育ニ關スル 御沙汰ヲ下シタマヒテ倍々教育ノ振興ヲ圖ラセタマフ
敬旨深遠恐懼ノ至ニ堪ヘス
伏シテ惟ミルニ
先帝夙ニ開國進取ノ國是ヲ定メ教育ノ大本ヲ昭ニシタマヒ國運ノ進歩文教ノ隆昌振古其ノ比ヲ見ス方今世界ノ列強相競ヒテ國力ノ充實ヲ圖リ國運ノ伸張ニ努メサルハナシ此ノ間ニ在リテ益々我國威ヲ顯揚セントスル實ニ一日ノ安處ヲ容サス國民相率キテ德ヲ修メ智ヲ研キ產ヲ治メ業ヲ興シ以テ國本ヲ培養セサル



ヘカラス教育ノ任ニ當ル者宜シク
先帝ノ教育ニ關スル聖訓ヲ奉體シ
天皇陛下ノ 聖旨ヲ服膺シテ心ヲ同シシカク職セク内外ノ大
勢ニ留意シテ其ノ嚮ヲ所ヲ愆テ益々教育ノ徹底ヲ圖リ將來ノ
國民ヲシテ各々其ノ本分ヲ盡シテ力ヲ皇運ノ隆昌ニ致サシメサ
ルヘカラス庶幾クハ全國教育ノ任ニ當ル者本大臣ト共ニ夙夜ニ
淬礪シテ其ノ職責ヲ完ウシ以テ克ク 聖旨ニ答ヘ奉ラムコトヲ
大正四年十二月十一日 文部大臣 法學博士高田早苗

運輸

運甲卯第二百六十五號
引換貨物運送原簿ニ「イロハ」記號ヲ附シタルモノヲ使用スヘキ
驛ヲ左ノ通定ム
大正四年十二月三十日 運輸部長

大連埠頭 大連 海城 鞍山站 遼陽 煙臺 蘇家屯 奉天
奉天市内營業所 新臺子 鐵嶺 開原 昌圖 雙廟子 四平
街 郭家店 公主嶺 劉房子 范家屯 大屯 孟家屯 長春
旅順 營口 營口市内營業所 撫順 石橋子 本溪湖 橋頭
南攻 沙河鎮 安東
(社報第二六三八號運甲卯第二五五號參照)

人事

本溪湖驛勤務 雇員(助役) 村上 佐吉
中固驛勤務ヲ命ス

奉天驛勤務 雇員(車掌) 渡邊 與作
右十二月二十九日附
雇員ヲ命ス 長春驛勤務
右十二月三十日附

各通
中固驛勤務 雇員 村上 佐吉
本溪湖驛勤務 同 渡邊 與作

助役ヲ命ス
右十二月二十九日附
貨物方見習ヲ命ス
右十二月三十日附
奉天驛在勤 驛夫 牛尾 榮造
大正四年十二月二十二日窃盜犯人ヲ取押ヘタル廉ニ依リ賞與
右十二月三十日附

金豊園
大正四年十二月二十二日窃盜犯人ヲ取押ヘタル廉ニ依リ賞與
右十二月三十日附
九寨驛驛長 職員 岡村美穂松
大正四年一月十四日第一七五列車ノ九寨驛通過ニ先立テ諸信號
ニ無難ヲ現示シタル儘驛舎内ニ假睡シ同列車ノ通過ニ際シテ出
場監視ヲ缺キタルノミナラス熊岳城驛ニ對スル閉塞信號ノ送示
ヲ爲サス且事後ニ於テ其ノ過意ヲ隱蔽セントシタルハ職務ヲ怠
リ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ
一箇月間月收百分ノ十五ノ過意金ヲ徴ス

熊岳城驛勤務 雇員(助役) 用正淺之助
大正四年一月十四日當務助役トシテ勤務中第一七五列車ノ通過

ニ際シ九寨驛驛長カ保安法ニ違背シテ同列車ニ對スル閉塞信號
ヲ送示セザリシニ拘ラス克ク周到ノ注意ヲ以テ同列車ヲ自驛ニ
導キタルハ職務ニ忠實ナルモノナリト雖其ノ事後ニ於テ九寨驛
驛長ノ請託ヲ容レ其ノ事實ヲ隱蔽セントシタルハ職務上ノ義務
ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ譴責ス

大正四年一月十四日第一七五列車ノ通過ニ際シ九寨驛驛長カ保
安法ニ違背シ且其ノ事實ヲ隱蔽セントシタルニ與シテ所定ノ報
告ヲ爲サザリシハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員
懲戒規程ニ據リ譴責ス
熊岳城驛驛長 職員 竹内御次郎

大正四年二月四日第一三列車牽引機關車ニ乗務中大石橋驛ニ於
テ危害信號ヲ現示ニ氣付カス其ノ防護區域ヲ侵シテ異線ニ進入
シ當時入換作業中ナリ第一三列車牽引機關車ニ衝突シタル
ハ必要ナル注意ヲ缺キ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ社員懲戒規
程ニ據リ二箇月間月收百分ノ十ノ過意金ヲ徴ス
瓦房店車輛係勤務 職員(機關手) 堤 寛

大正四年二月五日當務助役トシテ勤務中第四及第二〇列車ノ乘
務員ヨリ同驛附近ニ於テ軌道ニ異狀アル旨ノ通告ヲ受ケタルニ
拘ラス單ニ支那人驛夫及支那人保線工夫ヲ巡檢セシメ直ニ當該
保線主管者及隣接驛ニ通報シテ適當ナル手配ヲ要求スルコトヲ
爲サス遂ニ第一七八列車ヲシテ軌道折損ニ由リ其ノ連結車輛ノ
一部ヲ脱線顛覆スルニ至ラシメシハ周到ナル注意ヲ缺キ職務上
ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間
月收百分ノ十ノ過意金ヲ徴ス
公主嶺車輛係勤務 職員(機關手) 栗木兼三郎

大正四年一月二十一日第二五列車牽引機關車乗務中此牛哨驛ニ
於テ危害信號ヲ犯シテ其ノ防護區域内ニ進入シ對向第一二列車
牽引機關車ノ前部ニ衝突シタルハ必要ノ注意ヲ缺キ職務ヲ怠
リタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月收百分ノ十
ノ過意金ヲ徴ス
本溪湖保線係勤務 職員(保線手) 赤尾健太郎

大正四年七月二十三日橋頭福金驛間ニ於テ成規ノ手續ヲ爲サ
シテ「ツロリ」ヲ使用シ且其ノ監督ニ注意ヲ缺キ第二〇八列車
機關車ニ衝突セシメシハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍
テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月收百分ノ十ノ過意金ヲ徴ス
築港事務所勤務 雇員 林野 林松

大正四年十一月二十四日汽船吉林丸船長トシテ潮流觀測用浮標
收集ノ作業ニ從事中寺兒濱前海面ニ於テ同船ヲ坐礁セシメタル
ハ必要ナル注意ヲ缺キ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ社員懲戒規
程ニ據リ譴責ス
長春車輛係勤務 機械工手傳 吉原寛次郎

大正四年十月十六日長春給水塔ニ於テ見廻ノ際點火シタル蠟燭
ヲ置キ忘レ途ニ同給水塔ノ火災ヲ惹起シタルハ相當ノ注意ヲ缺
キ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ 箇月間月
收百分ノ十五ノ過意金ヲ徴ス
昌圖驛勤務 職員(助役) 青木 盛福
撫安驛在勤中大正三年七月二日當務助役トシテ第一八〇列車ノ
出發ニ當リ豫メ周到ノ注意ヲ缺キタルノミナラス「ホイントシ
グナル」ノ確認ヲ誤リテ出發合圖ヲ與ヘ爲ニ同列車ヲシテ異線
進入脱線破損スルニ至ラシメシハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノ
トス仍テ社員懲戒規程ニ據リ二箇月間月收百分ノ十ノ過意金

遼陽驛勤務 雇員(車掌) 北村 實
大正三年七月二日第一八〇列車ニ乗務シ撫安驛ヲ出發スルニ當リ前途ノ確認ヲ爲サズ發車後モ亦相當ノ注意ヲ缺キ爲ニ同列車ヲシテ異線進入 線破損スルニ至ラシメシハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月収百分ノ十ノ過怠金ヲ徴ス

遼陽車輔係勤務 職員(機關手) 三上 多七
大正三年七月二日第一八〇列車牽引機關車ニ 務中撫安驛ニ於テ職務上最モ重要ナル前途ノ注視ヲ忽ニシテ同列車ヲシテ異線進入線破損スルニ至ラシメシハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月収百分ノ十ノ過怠金ヲ徴ス

撫安驛在勤 驛夫(備人) 王文清
大正三年七月二日第一八〇列車ノ出發ニ當リ擔當「ポイント」ノ整備ヲ誤リ同列車ヲシテ異線進入線破損スルニ至ラシメシハ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月収百分ノ五ノ過怠金ヲ徴ス

遼陽車輔係勤務 雇員(機關助手) 陳三保
大正三年七月二日第一八〇列車牽引機關車ニ乗務中撫安驛ニ於テ前途ノ注視ヲ忽ニシテ同列車ヲシテ異線進入線破損スルニ至ラシメシハ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月収百分ノ十ノ過怠金ヲ徴ス

進入線破損スルニ至ラシメシハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月収百分ノ十ノ過怠金ヲ徴ス
開原驛在勤 轉轍方(備人) 堀切 榮熊
大正三年八月二十七日第一四四列車ノ出發ニ當リ擔當「ポイント」ノ整備ヲ誤リ同列車ヲシテ異線進入線破損スルニ至ラシメシハ必要ナル注意ヲ缺キ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月収百分ノ十五ノ過怠金ヲ徴ス
公主嶺驛勤務 雇員(車掌) 佐藤 末吉
大正三年八月二十七日第一四四列車ニ乗務シ開原驛ヲ出發後前途ノ注視ヲ怠リ同列車ヲシテ異線進入線破損スルニ至ラシメシハ相當ノ注意ヲ缺キ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月収百分ノ五ノ過怠金ヲ徴ス
公主嶺車輔係勤務 職員(機關手) 瀬戸市五郎
大正三年八月二十七日第一四四列車牽引機關車ニ乗務中開原驛ニ於テ前途ノ注視ヲ忽ニシテ同列車ヲシテ異線進入線破損スルニ至ラシメシハ必要ナル注意ヲ缺キ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月収百分ノ十二ノ過怠金ヲ徴ス
撫順驛勤務 職員(助役) 山岡 榮
大正四年六月三日第一八二列車ノ出發ニ際シ關係「ポイント」ノ

正否ヲ確認セシテ慢リニ出發合圖ヲ與ヘ爲ニ同列車ヲシテ異線進入線破損スルニ至ラシメシハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月収百分ノ十三ノ過怠金ヲ徴ス

撫順驛在勤 轉轍方(備人) 高田 善作
大正四年六月三日第一八二列車ノ出發ニ當リ擔當「ポイント」ノ整備ヲ怠リ詰所内ニ睡眠シ爲ニ同列車ヲシテ異線進入線破損スルニ至ラシメシハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月収百分ノ十ノ過怠金ヲ徴ス

遼陽驛勤務 雇員(車掌) 猿渡 貞次
大正四年六月三日第一八二列車ニ乗務シ撫順驛ヲ出發スルニ當リ豫メ前途ノ確認ヲ爲サズ發車後モ正當ノ注意ヲ缺キ爲ニ同列車ヲシテ異線進入線破損スルニ至ラシメシハ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月収百分ノ八ノ過怠金ヲ徴ス

遼陽車輔係勤務 職員(機關手) 仲村勘次郎
大正四年六月三日第一八二列車牽引機關車ニ乗務シ撫順驛出發ノ際前途ノ注視ヲ忽ニシテ異線進入ヲ覺知セズ爲ニ同列車ヲシテ線破損スルニ至ラシメシハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月収百分ノ十三ノ過怠金ヲ徴ス

遼陽車輔係勤務 雇員(機關助手) 明星 寅治
大正四年六月三日第一八二列車牽引機關車ニ乗務中撫順驛ニ於テ前途ノ注視ヲ忽ニシタルカ爲ニ同列車ヲシテ異線進入線破損スルニ至ラシメシハ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ譴責ス

金州驛長 職員 加山金之助
大正四年一月二十五日第一七二列車力定時金州驛ヲ著發シタルニ拘ラス之ニ關スル一切ノ手續ヲ怠リ且同列車通過ノ事實ヲモ忘却セシハ職責ヲ懈怠シ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月収百分ノ十五ノ過怠金ヲ徴ス
右十二月三十日附

雜錄

Table with 4 columns: 氏名 (Name), 番號 (Number), 區間 (District), 期間 (Period). Includes names like 青木宣純, 實兼次殿, 坂部祐四郎殿.

區間 全線 期間 大正五年中

▲懲戒委員會決議 九塞驛長職員岡村美穂松外二名ニ對スル懲戒事件ニ付運輸部長ノ要求ニ據リ審査ヲ遂クル處

大正四年一月十四日九塞驛長ハ第一七五列車ノ通過ニ先立テテ常置信號機ニ無難ヲ現示シ且降降場上ニ注意合圖ヲ現示シタル儘他ノ驛員ト共ニ驛舎内ニ睡シタル結果列車ノ通過ニ心付カス出場監視ヲ爲サザリシノミナラス次驛熊岳城ニ對スル閉塞信號ノ送示ヲ缺ケリ然ルニ同列車乗務員ハ之等ノ信號及合圖ノ現示ニ依リ前途支障ナキモノト思信シテ同驛ヲ通過セシカ幸ニ熊岳城驛務助役ノ周到ナル注意ニ依リ無事熊岳城驛ニ進入スルヲ得タリ而シテ九塞驛長ハ同列車ノ熊岳城驛到着後同驛ヨリ其ノ通知ニ接スルヤ同驛助役ニ依頼シテ此ノ事實ヲ隱蔽セント企テ同助役ニ應シテ所定ノ報告ヲ爲サザリシカ當日熊岳城驛長ハ同助役ト勤務交代ニ際シ同驛備付ノ日誌ニ依リ本件ノ事情ヲ了知シタルニ拘ラス是レ亦此ノ所爲ニ與シテ之カ報告ヲ爲サザリシモノトス。仍テ當事者ノ所爲ヲ按スルニ

九塞驛長岡村美穂松ハ列車ノ通過前諸信號ニ無難ヲ現示シタル儘驛舎内ニ睡眠シ列車ノ通過ニ際シ出場監視ヲ缺キタルノミナラス次驛ニ對シ閉塞信號ノ送示ヲ爲サス且事後ニ於テ其ノ過失ヲ隱蔽セントシタルモノニシテ職務ヲ怠リ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス

熊岳城驛助役用正淺之助ハ九塞驛ヨリ閉塞信號ノ送示ナキニ拘ラス周到ナル注意ヲ以テ列車ヲ自驛ニ安著セシメタルハ職

務ニ忠實ナルモノナリト雖九塞驛長ノ請託ヲ容レテ本件ヲ隱蔽セントシタルハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス

熊岳城驛長竹内御次郎ハ本件ノ事實ヲ了知セルニ拘ラス之ヲ隱蔽セントシタルハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス

右ノ事實ハ運輸部長ノ懲戒要求書並其ノ附屬書類ニ徴シテ明白ナリ仍テ社員懲戒規程ニ據リ岡村美穂松ハ一箇月間月收百分ノ十五ノ過怠金ニ處シ用正淺之助及竹内御次郎ハ譴責ニ處スベキモノトス

瓦房店車輛係勤務機關手職員堤寬ニ對スル懲戒事件ニ付運輸部長ノ要求ニ據リ審査ヲ遂クル處

大正四年二月四日大石橋驛ニ於テ第一三三列車牽引機關車乗務機關手堤寬ハ同驛遠方信號機及場内信號機ノ危害現示ニ心付カス其ノ防護區域ヲ侵入シ異線ニ進入シ當時入換作業中ナリシ第一三三列車牽引機關車ニ前面衝突ヲ爲シ兩機關車ヲ破損シ第一三三列車組成貨車ノ一部ヲ脱線破損セシメナラス二名ノ負傷者ヲ出セルモノトス。仍テ當事者ノ所爲ヲ按スルニ機關手堤寬ハ本件發生ノ原因トシテ當時北風烈シク煤煙ノ爲ニ前途ノ見透不可能ナリシノミナラス機關車前燈消滅セシカ爲ニ機關助手ハ之カ整備ニ從事シ其ノ間機關手自ラ火室内ニ投炭シ居リシカ故ニ途ニ兩信號機ノ危害現示ニ心付カザリシト云ヘトモ運轉時間尙餘線路附近ノ地物ニ依リ大石橋驛ニ接近シタルコトハ經驗上之ヲ推知シ得ヘキ筈ナルヲ以テ此ノ際若シ信號機ノ見透不能ナリタリトセハ須ク特別手段ヲ講シテ之カ注視ヲ爲スカ或ハ警戒シテ注意進行ニ移ルヘキモノナリ然ルニ事茲ニ出テス延發恢復ヲ計リテ急速度ノ運轉ヲ爲シタ

ル惰性ノ儘普通ノ速度ヲ繼續シ途ニ危害信號ヲ犯スニ至リシハ機關手ノ自認スルカ如ク大石橋ヲ未ダシテ檢測シテ職務上必要ナル注意ヲ缺キタルニ基因スルモノニシテ職務ヲ怠リタルモノトス

右ノ事實ハ運輸部長ノ懲戒要求書並其ノ附屬書類ニ據リテ明白ナリ仍テ社員懲戒規程ニ據リ二箇月間月收百分ノ十ノ過怠金ニ處スヘキモノトス

熊岳城驛勤務助役職員用正淺之助ニ對スル懲戒事件ニ付運輸部長ノ要求ニ據リ審査ヲ遂クル處

大正四年二月五日熊岳城驛務助役ハ第四列車乗務員ヨリ同驛北方約一哩附近運轉中異響ヲ感知シタルヲ以テ取調ヲ乞フ旨ノ通知ヲ受ケテ第二〇列車乗務員ヨリモ亦同一ノ通告ニ接シタルニ當リ同助役ハ之ヲ支那人ノ惡戯ニ出ツル木石等ノ障礙物ナラント憶測シ直ニ支那人驛夫ニ命シテ指定ノ區域ヲ調査セシメシニ何等ノ異狀ヲモ發見シ得シテ空シク歸リ來リシヲ以テ更ニ同驛夫ヲ支那人保線宿舎ニ遣シテ事情ヲ告ケ線路ノ監視ヲ求メシメシカ其ノ後第二二列車ノ無事來著シタルヲ見テ稍安堵セリ然ルニ次著第一七八列車ハ同驛北方一四哩附近ニ於テ軌條折損ノ爲其ノ聯結車輛ノ一部ヲ脱線覆スルニ至レリ之ヨリ先支那人保線工夫ハ當務助役ノ要求ニ因リ直ニ線路ヲ巡檢シテ前記軌條ノ異狀ヲ認メ進行シ來ル第一七八列車ニ對シ手合圖ヲ以テ危険ヲ警告セリト稱ストモ其ノ陳述不合理ノ點多ク諸種ノ事情ヲ綜合スルニ第一七八列車乗務員カ全然之ヲ認知セスト主張スルヲ以テ眞ナリト認ムヘシ若シ從合手合圖ヲ爲セシ事實アリントスルモ危険信號トシ

テハ頗ル薄弱ノモノナリシハ疑ヲ容レス。仍テ當事者ノ所爲ヲ按スルニ當務助役用正淺之助ハ第四及第二〇列車乗務員ヨリ二回マテ同一ノ警告ヲ受ケタルニ拘ラス漫ニ線路上ノ障礙物ナリト憶測シ直ニ當該保線主管者及隣接驛ニ通報シテ適宜ノ手配ヲ要求スルコトヲ爲サス單ニ支那驛夫及支那保線工夫ヲ遣シタルカ如キハ周到ノ注意ヲ缺キ職務上ノ義務ニ違背シタルモノナリ、同助役ハ事故手續附錄參考書ヲ以テ支那驛夫及支那工夫ヲ遣ハシタルハ事ノ急遽ヲ要シタルカ爲ナリト云ヒ、又第二二列車ノ安著ニ因リ線路ニ異狀ナキヲ推知シテ安堵セリト云フハ其ニ正當ノ理由アリト雖以テ關係各所ニ必要ナル通報ヲ怠リタル責ヲ塞クノ理由ト爲スヘカラス又右參考書中其ノ關係各所ニ通報セザリシ事實ヲ辯疏シテ縱令深夜保線主管者ニ通報スルモ從來ノ經驗上其ノ實行不能ナルヘク、縱令隣接驛ニ通報スルモ實際上ハ其ノ效力薄弱ナルヘシト云フモ效果ノ有無ヲ疑ヒテ恣ニ正當ノ手續ヲ怠レルハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス

右ノ事實ハ運輸部長ノ懲戒要求書並其ノ附屬書類ニ依リ明白ナリ仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月收百分ノ十ノ過怠金ニ處スヘキモノトス

公主嶺車輛係勤務機關手職員栗木兼三郎ニ對スル懲戒事件ニ付運輸部長ノ要求ニ據リ審査ヲ遂クル處

大正四年一月二十一日此牛暗驛ニ於テ第二五列車牽引機關車乗務機關手ハ危害信號ヲ犯シテ其ノ防護區域内ニ進入シ當時停車位置ヲ誤リ「フエーシングポイント」外ニ進出停止シ居タル對向第十二列車牽引機關車ニ衝突シ兩機關車ノ「カウキヤ

ツチャト」及第一二列車牽引機關車ノ「カッブラ」ヲ破損シタルモノトス。仍テ當務者ノ所爲ヲ按スルニ第二五列車牽引機關車乘機務手栗木兼三郎ハ當時同驛ニ於テハ上下本線ヲ區別セザリシカ故ニ對向第一二列車ト行違ノ關係上當該信號機ノ危害現示ハ當然豫知スヘキ管ナルニ拘ラス縱令蒸汽ノ漏出激シクシテ信號機ノ見透困難ナリシトハ云ヘ危害信號ヲ犯シテ其ノ防護區域内ニ進入シタルハ必要ナル注意ヲ缺キ職務ヲ怠リタルモノトス

右ノ事實ハ運輸部長ノ懲戒要求書並其ノ附屬書類ニ依リテ明白ナリ仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月收百分ノ十ノ過怠金ニ處スヘキモノトス

本溪湖保線係勤務保線手職員赤尾健太郎ニ對スル總務部技術局長心得ノ要求ニ據リ審査ヲ遂クル處

大正四年七月二十三日橋頭福金驛關ニ於テ保線手赤尾健太郎ハ成規ノ手續ヲ爲サス無斷「ツロリ」ヲ使用シ且ツ其ノ監督ニ不注意ナリシカ爲ニ定時運轉セル第二〇八列車牽引機關車ニ衝突シ同機關車ノ一部及「ツロリ」ノ一部ヲ破損シ同列車ヲシテ二十分間停車セシメタルモノナリ

右ノ事實ハ當該所屬長ノ懲戒要求書並附屬書類ニ依リテ明白ニシテ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス、仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月收百分ノ五ノ過怠金ニ處スヘキモノトス

築港事務所勤務職員林野林松ニ對スル懲戒事件ニ付築港事務所長ノ要求ニ據リ審査ヲ遂クル處

大正四年十一月二十四日汽船吉林九ハ潮流觀測用浮標收集中

寺兒溝前海面ニ於テ坐礁シ應急手段ヲ講セシモ容易ニ引卸スコト能ハス次滿潮時自然ノ浮揚ニ依リテ始テ離礁スルコトヲ得其ノ損害ハ船底ニ僅小ノ凹所ヲ生シタルモノトス。仍テ當務者ノ所爲ヲ按スルニ吉林丸船長林野林松ハ普通航行區域ニ非サル海面ニ於テ滿潮時ヲ利用シテ作業ニ從事シ豫テ該坐礁ノ位置ヲ知り居タルニ拘ラス周到ノ注意ヲ缺キテ安全ノ水路ニ據ラザリシカ爲ニ坐礁シタルモノニシテ職務ヲ怠リタルモノトス

右ノ事實ハ所屬長ノ懲戒要求書並其ノ附屬書類ニ依リテ明白ナリ仍テ社員懲戒規程ニ據リ譴責ニ處スヘキモノトス

長春車輛主任中川增藏同係勤務機械工手傳吉原寛次郎ニ對スル懲戒事件ニ付工場長及運輸部長ノ要求ニ據リ審査ヲ遂クル處

大正四年十月十六日午後五時長春給水塔水槽底下床土ヨリ出火シ高所ナルカ故ニ消防ノ效少ク見積價格約貳千圓ノ損害ヲ生シタルモノニシテ出火ノ原因ハ當日新ニ採用シタル給水塔從事員タル機械工手傳吉原寛次郎カ水量測定ノ爲塔上ニ昇リタル際點火シタル蠟燭ヲ置キ忘レタルニ在リトス。仍テ當務者ノ所爲ヲ按スルニ右吉原寛次郎ハ縱令事務ニ慣レザリシトハ云ヘ見廻ノ際點火シタル蠟燭ヲ置キ忘ルルカ如キハ甚シク注意ヲ缺キテ職務ヲ怠リタルモノトス

右ノ事實ハ所屬長ノ懲戒要求書及其ノ附屬書類ニ依リテ明白ナリ仍テ社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月收百分ノ十五ノ過怠金ニ處スヘキモノトス

長春車輛主任中川增藏ハ本件ニ關シ下部監督不行屬ノ責アリト雖平素ノ成績良好ナルヲ以テ特ニ所屬長ヲシテ訓告ヲ與ヘシメ不問トス

昌圖驛勤務助役職員青木盛福外四名ニ對スル懲戒事件ニ付運輸部長ノ要求ニ據リ審査ヲ遂クル處

大正三年七月二日撫安驛ニ於テ第一八〇列車出發ニ當リ當該第七及第五「ポイント」ノ擔務者支那人驛夫ハ從來同列車ハ常ニ同驛ニ於テ入換作業ヲ爲シ居タル習慣ニ從ヒ當日ニ限り特ニ解放車ノ揭示ナカリシコトヲ注意セシメ同「ポイント」ヲ入換線(定位)ニ開通シ置キタル 拘ラス當務助役ハ前夜ヨリ新ニ裝置セシ同入換線車止信號 第五號「ポイント」シグナル

「ポイント」ト誤認シ對向「ポイント」第七號ヲ確認セシメテ出發合圖ヲ與ヘシニ同列車乘務員ハ執レモ「ポイント」シグナルヲ確認セシメテ發車シ其ノ異線進入ニハ付カザリシノミナラス同線車止信號燈ヲモ注視セシ遂ニ車止ヲ突破シテ機關車及炭水車ハ全部脱線シ同列車組成貨車ノ内八輛ヲ破損又ハ脱線セシム

ルニ至レリ而テ當務助役ハ同列車發車後暫時ニシテ「ポイント」シグナルヲ確認シ直ニ危害合圖ヲ現示シテ疾呼追行シ同七號「ポイント」擔務驛夫モ亦機關車ノ同「ポイント」通過ト同時ニ其ノ入換作業ニ非サルコトヲ感知シ直ニ危害合圖ヲ現示シテ呼號セシモ其ノ效ナク唯車掌車ノ「ポイント」通過ニ際シ漸ク車掌ハ其ノ叫聲ニ因リテ車外ニ出テ異線進入ヲ知りシモ直ニ停車ノ處置ニ出ツルコト能ハスシテ此事件ヲ生シタルモノトス仍テ當務者ノ所爲ヲ按スルニ

一、當務助役青木盛福ハ當日ニ限り第一八〇列車カ入換作業ヲ爲サザル例外ノ場合ナルニモ拘ラス單ニ之ヲ揭示板ニ一

任シテ豫メ轉轍方代務支那人驛夫ニ警告シ置カザリシノミナラス同列車ノ發車ニ際シテハ重要ナル「ポイント」シグナルノ注視ヲ忽ニシ之カ誤認及不確認ノ下ニ出發合圖ヲ與ヘシハ必要ナル注意ヲ缺キ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス

二、機關手三上多七ハ列車出發ニ當リ自ラ「ポイント」シグナルヲ確認セシメ漫ニ乘務車掌ノ出發合圖ニ信賴シテ發車シ其ノ後モ職務上最モ重要ナル前途ノ注視ヲ忽ニシテ異線進入ヲ心付カザリシノミナラス車止信號燈ニモ氣付カザリシハ甚シキ不注意ニシテ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス

三、車掌栗原實ハ列車出發ニ當リ「ポイント」シグナルヲ自ラ確認セシメ漫ニ當務助役ノ出發合圖ニ信賴シテ出發合圖ヲ與ヘタルニ拘ラス發車後前途ノ注視ヲ怠リ直ニ車掌車内ニ入りシカ爲ニ當務助役及轉轍方代務驛夫ノ危害現示ト呼號トヲ速ニ認知スルコト能ハザリシハ必要ナル注意ヲ缺キ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス

四、驛夫王文清ハ第七號「ポイント」ニ出場スルニ當リ驛内掲示ヲ注意セシ且機關車カ同「ポイント」ヲ通過スル迄其ノ列車ノ發車ナルコトニ氣付カザリシハ相當ノ注意ヲ缺キ職務ヲ怠リタルモノトス

五、機關助手陳三保ハ列車ノ出發ニ當リ必要ナル前途ノ注視ヲ怠リ異線進入及車止信號燈ニ氣付カザリシハ相當ノ注意ヲ缺キ職務ヲ怠リタルモノトス

右ノ事實ハ運輸部長ノ懲戒要求書及其ノ附屬書類ニ依リテ明白ナリ仍テ社員懲戒規程ニ據リ助役青木盛福ハ二箇月間月收百分ノ十ノ過怠金ニ、機關手三上多七ハ二箇月間月收百

分ノ十ノ過怠金ニ、車掌栗原實ハ一箇月間月収百分ノ十ノ過怠金ニ、驛夫王文清ハ一箇月間月収百分ノ五ノ過怠金ニ處シ機關助手陳三保ハ譴責ニ處スヘキモノトス

開原驛勤務助役永澤正一外四名ニ對スル懲戒事件ニ付運輸部長ノ要求ニ據リ審査ヲ遂クル處

大正三年八月二十七日開原驛ニ於テ第一四列車カ遅著後急キテ出發スルニ當リ當務助役ハ關係「ポイント」第十九號及第一號ノ正當方位(不定位)ニ開通シテアリシヲ確認シテ出發合圖ヲ與ヘ同列車ハ發車シタリ然ルニ當時第一號「ポイント」ニ出發シ居タル轉轍方ハ此ノ發車汽笛ヲ聞キ同列車カ其ノ到着後給水ヲ終ルト同時ニ直ニ發動スルヲ見テ漫然入換作業ニ從事スルモノナリト憶斷シ疑ニ同列車ノ出發ニ對シテ整備シ置キタル第十九號「ポイント」ヲ急遽轉換シテ入換線ニ開通セリ然ルニ此轉換後「ポイント」シグナル「ニ對シテハ助役乗務員共ニ其ノ注視確認ヲ怠リテ異線進入ニ氣付カス同列車ハ遂ニ車止ヲ突破シ牽引機關車ハ脱線半頭覆シ貨車八輛ハ脱線又ハ破損スルニ至レリ而シテ本件關係者ハ孰レモ或時期ニ於テ其ノ異線進入ヲ覺知シ應急手段ヲ講シタリト云フト雖其ノ時期ト手段トハ孰レモ本件ノ發生ヲ防止スル爲ニハ效力ナカリシモノトス。仍テ當務者ノ所爲ヲ按スルニ

當務助役永澤正一ハ列車ノ出發ヲ急キシカ爲ニ轉轍方ニ豫告ヲ與ヘテ其ノ錯誤ヲ未然ニ防クコト能ハス發車前關係「ポイント」ヲ確認セシモ對向「ポイント」第十九號ニ轉轍方出發ノ現示ヲ缺キタルニ注意セス發車後久ク其ノ列車ノ前途ヲ注視セザリシハ周到ナル注意ヲ缺キ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス

撫順驛勤務助役職員山岡榮外四名ニ對スル懲戒事件ニ付運輸部長ノ要求ニ依リ審査ヲ遂クル處
大正四年六月三日撫順驛ニ於テ第一八二列車ノ定時出發ニ當リ轉轍方詰所内ニ睡眠シ居リテ第十九號「ポイント」ヲ正當方位ニ轉換セザリシニ拘ラス當務助役並同列車乗務ノ車掌、機關手及機關助手見習ハ孰レモ之ニ注意セスシテ列車ヲ進行セシメシヲ以テ同列車ハ異線ニ進入シ車止ヲ突破シ機關車及炭水車ハ脱線シ貨車九輛ハ破損スルニ到レルモノトス。仍テ當務者ノ所爲ヲ按スルニ
轉轍方高田善作ハ其ノ擔當「ポイント」ノ整備ヲ爲サス詰所内ニ睡眠シ第一八二列車組成車輛ノ大半カ異線ニ進入スルマテ之ヲ覺知セザリシハ職務上ノ義務ニ違背シ職務ヲ怠リタルモノトス
助役山岡榮ハ第十九號「ポイント」シグナル「ノ燈光微弱ニシテ之ヲ辨識シ得ザリシノミナラス擔務轉轍方ノ出發ヲ表示スヘキ白色燈ノ現示ナカリシニモ拘ラス關係「ポイント」ノ正否ヲ確認スルコトナク漫ニ憶測ヲ以テ異狀ナキモノト思料シ出發合圖ヲ與ヘ且發車後之ヲ目送スルニ當リ不注意ニモ其ノ異線進入ヲ氣付カザリシハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス
車掌猿渡貞次ハ自ラ前途ノ確認ヲ爲シ得ザリシニ拘ラス單ニ當務助役ノ出發合圖ニ信賴シテ出發合圖ヲ與ヘ發車後機關助手トノ間ニ乘車合圖ヲ爲シタル儘直ニ車掌車内ニ入りテ前途ノ注視ヲ忽ニシ列車ノ異線進入ヲ氣付カザリシハ職務ヲ怠リタルモノトス
機關手仲村勘次郎ハ第十九號「ポイント」シグナル「ノ燈光明瞭ナラザリシニ拘ラス重要ナル前途ノ注視ヲ忽ニシ爲ニ同「ボ

第二千六百四十五號 大正四年十二月三十一日

ノトス
轉轍方堀切榮熊ハ豫メ解結車ノ有無ヲ問合スコトナク擔務「ポイント」ヲ發車ニ備ヘシニ拘ラス第一號「ポイント」詰所ニ在リテ對向「ポイント」第十九號ニ出發セス發車ノ汽笛ヲ聞キテ其ノ出動ノ急ナルニ驚キ漫ニ入換作業ナリト憶斷シ且久ク其ノ入換作業ニ非ルコトヲ氣付カザリシハ必要ナル注意ヲ缺キ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス

機關手瀨戸市五郎ハ發車前關係「ポイント」ヲ確認シタリト云フモ發車以後ニ於テハ全ク前途ノ注視ヲ忽ニシ變換シタル第十九號「ポイント」シグナル「ニ心付カザリシノミナラス「ダイヤ」モンドクワッシン「ヲ經過セザルコトヲモ感知セスシテ異線ニ進入シタルハ重大ナル不注意ニシテ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス
車掌佐藤末吉ハ發車前關係「ポイント」ヲ確認シタリト云フモ發車後前途ノ注視ヲ怠リ第十九號「ポイント」シグナル「ノ變換及異線進入ヲ速ニ認ムルコト能ハザリシハ相當ノ注意ヲ缺キ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス
機關助手川村松雄ハ發車後諸種ノ擔務ニ從事シ居タリト云フモ必要ナル前途ノ注視ヲ忽ニシタルハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス
右ノ事實ハ運輸部長ノ懲戒要求書並其ノ附屬書類ニ依リテ明白ナリトス、仍テ社員懲戒規程ニ據リ助役永澤正一ハ一箇月間月収百分ノ十ノ過怠金ニ、轉轍方堀切榮熊ハ一箇月間月収百分ノ十五ノ過怠金ニ、機關手瀨戸市五郎ハ一箇月間月収百分ノ十二ノ過怠金ニ、車掌佐藤末吉ハ一箇月間月収百分ノ五ノ過怠金ニ處シ機關助手川村松雄ハ譴責ニ處スヘキモノトス

イント「ノ異方位開通ヲ覺知セス又異線進入後モ直ニ之ヲ發見スルヲ得ザリシハ縱令當務助役ノ出發合圖ニ信賴シ出發線分岐「ポイント」附近ニ白色燈ヲ認メ且偶機關車ニ「ブライミ」シグ」ヲ起シタル等ノ事情アリシトハ云ヘ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス
機關助手見習明星寅治ハ前途ノ注視ヲ忽ニシ第十九號「ポイント」ノ異方位開通並列車ノ異線進入ニ氣付カザリシハ縱令機關車ノ異狀ニ心ヲ奪ハレタリトハ云ヘ職務ヲ怠リタルモノトス
右ノ事實ハ運輸部長ノ懲戒要求書並其ノ附屬書類ニ依リテ明白ナリ仍テ社員懲戒規程ニ據リ轉轍方高田善作ハ二箇月間月収百分ノ十ノ過怠金ニ、助役山岡榮ハ一箇月間月収百分ノ十三ノ過怠金ニ、車掌猿渡貞次ハ一箇月間月収百分ノ八ノ過怠金ニ、機關手仲村勘次郎ハ一箇月間月収百分ノ十三ノ過怠金ニ處シ機關助手見習明星寅治ハ譴責ニ處スヘキモノトス

金州驛長職員加山金之助ニ對スル懲戒事件ニ付運輸部長ノ要求ニ依リ審査ヲ遂クル處
大正四年一月二十五日第一七二列車ハ定時二十里臺驛ヲ通過シ金州驛ヲ定時ニ著發セリ然ルニ金州驛長加山金之助ハ同列車ノ到着前ニ假睡シ同列車ノ到着ニ際シテハ驛員ノ通知ニ由リテ自ラ其ノ取扱ヲ爲シタリト稱スレトモ同列車ニ對スル運轉報告ヲ記入セス且其ノ到着信號ヲ二十里臺驛ニ送示セス大房身驛ヨリ同列車ノ到着信號ヲ受信シタルモ猶之ヲ忘レ次著列車ノ關係上二十里臺驛ヨリ先發第一七二列車ノ著否ヲ問ハルヤ同列車ニ對スル運轉報告ヲ記入ナキノミナラス同驛

閉塞器ノ表示及常信號ノ現示等悉ク依然トシテ同列車待受ノ状態ニ在リシヲ見テ同列車ノ未タ到着セザル旨ヲ應ヘ一時關係各所ニ通報シテ同列車ノ行衛ヲ搜索セシメ其ノ間次著列車ヲ空シク停車セシメタルモノトス
右ノ事實ハ運輸部長ノ懲戒要求書並其ノ附屬書類ニ徴シ明白ニシテ其ノ原因ノ如何ヲ問ハス職責ノ曠懈實ニ甚シク職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス。仍テ社員懲戒規程ニ據リ二箇月間月收百分ノ十五ノ過意金ニ處スヘキモノトス
▲雇員改姓 大連車輛係勤務雇員永島周一ハ「野上」ト改姓ノ旨届出タリ

廣告

▲訂正 社報第千六百四十三號不達運輸部甲第千六百六十二號吳水子積場支線列車運轉手續中「禁口爐瓦會社分工場積場支線」下アルヲ總テ「鐵業部販賣引込線」ニ訂正ス但シ圖面及第千四百四十二號口爐瓦會社分工場積場「下アル」ハ「鐵業部販賣引込線積場」ト訂正ス(運輸部)

◎上海定期航路

柳 九 (第百八十八次) 往航青島寄港
十二月三十一日正午 大連出帆
神戶丸 (第百四十四次) 復航青島寄港
大正五年一月五日正午 大連出帆

南滿洲鐵道 株式會社 社報

大正四年十二月三十一日 金曜日 號外

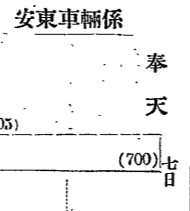
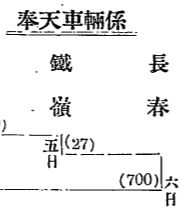
示 達

運 輸

運乙卯第百七十七號
大正五年一月六日(木曜)午後ヨリ翌七日(金曜)午前ニ亘リ長春安東間ニ於テ左記手續ニ依リ特別臨時列車ヲ運轉ス
但シ運轉日時ハ都合ニ依リ變更スルヤモ不計其ノ場合ハ更ニ通達ス
大正四年十二月三十日 運輸部長

- 一 一般ニ關スル取扱手續
- 二 臨時列車ノ運轉時刻ハ別表ノ通
- 三 臨時列車ノ編成ハ左ノ通
- 四 臨時列車ニハ檢車手及列車給仕左ノ通特別車廻送ト共ニ乗務スヘシ
- 五 大連檢車手 二名
- 大連列車給仕 三名
- 臨時列車ニハ左記職員添乗スヘシ
- 井上運轉課員

社報號外 大正四年十二月三十一日



◎車掌(一名)乗務表

長春 奉天 安東 奉天

長春 (700) 奉天 (3) 安東 (700) 奉天

奉天 (19) 安東 (205) 奉天 (700)

ハ「ホキ」

ハ「便乗」

大連檢車手 二名

大連列車給仕 三名

臨時列車ニハ左記職員添乗スヘシ

井上運轉課員

長春安東間

全區間但朝鮮鐵道線釜山迄直通

峰大連檢車手取締 長春安東間
 奉天機關手取締 長春奉天間
 安東機關手取締 奉天安東間
 水谷車掌取締 長春奉天間
 高橋車掌取締 奉天安東間

右ノ外各保線係主任所管區域内機關車ニ添乘ス
 六 臨時列車ノ對向先發列車ヨハ左記ノ通車係員添乘ス
 區間 及 列車 受持車輛係

長春新臺子間第二	車列	長春
新臺子奉天間第三	列車	長春
公主嶺雙廟子間第十二	列車	公主嶺
雙廟子桓甸子間第十一	列車	公主嶺
四平街公主嶺間第七	列車	公主嶺
鐵嶺昌圖間第十一	列車	鐵嶺
奉天鐵嶺間第二十一	列車	鐵嶺
同 上第一	列車	鐵嶺
奉天安東間第二十二	列車	奉天
奉天陳相屯間第二十二	列車	奉天
橋頭火連寨間第二十五	列車	橋頭
湯山城鳳凰城間第二十一	列車	鶴冠山

七 各驛ニ於テ臨時列車著發ノ際、驛長、助役共出務シ列車ノ取扱ハ驛長自ラ之ニ任シ助役ハ主要「ポイント」ヲ監視ヲ爲ス

八 各驛長ハ隣接驛相互間ノ連絡ヲ完全ニ保テ臨時列車到着前豫メ「ホーム」シグナル「及」各「ポイント」ハ勿論其ノ他列車運轉上必要ナル諸機關ハ必ス自ラ之ヲ點檢シ且其ノ取扱ハ際シテ

添乘シ機關車乗務員ノ執務ヲ指揮監督シ機關車ノ操縦ニ遺憾ナカラシムルハ勿論各驛ニ於ケル列車ノ著發時刻ヲ正確ナラシムヘシ而シテ各驛モ亦努メテ列車著發時刻ノ正確ヲ期スヘシ

一五 各車輛係主任ハ所屬檢車手ヲ督勵シテ臨時列車ニ聯結セル車輛ノ保安ニ注意セシムヘシ

一六 大連、奉天、長春、安東車輛係主任ハ臨時列車編成車輛「エヤ、ブレーキ」及「エヤ、シグナル」カ完全ナル作用ヲ爲スコトヲ確認シ且機關車乗務員ヲシテ取扱ニ注意セシムヘシ特ニ機關車附替及給水驛ニ於ケル機關車ノ聯結ハ際シテハ驛長ト充分ノ打合ヒヲ爲シ決シテ列車ニ激突セシメサル様注意ヲ要ス

一七 臨時列車ニ使用スル機關車ニハ撫順炭ヲ使用シ又汽筒用ノ外ハ混合油ヲ使用スヘシ
 臨時列車編成車輛ニハ混合油又ハ種油ヲ使用スヘシ但シ混合油ハ種油ニ、礦油一ノ割合ニテ混合スヘシ

一八 臨時列車ニハ該列車仕業機關車所屬車輛係組立工二名ヲ乘込マシムヘシ

一九 臨時列車運轉當目長春安東間各車輛係ニ於テハ豫備トシテ「F」又「G」形若シク「B」形機關車中良好ナルモノニ點火シ置キ不時ノ用ニ供スヘシ（乗務員ヲ含ム）

二〇 臨時列車ノ先發列車ニ乗務ノ車掌ハ運轉中線路其ノ他ニ注意シ列車カ次ノ驛ニ到着シタルトキハ直ニ其ノ區間ニ於ケル異狀ノ有無ヲ紙片ニ認メ之ヲ驛長ニ渡スヘシ當該驛驛長ハ右紙片ヲ受取リタルトキハ直チニ電話ヲ以テ後方驛長ニ通知シ後方驛長ハ之ヲ臨時列車ノ機關車ニ添乘ノ運轉課員ニ報告ス

ハ各擔務者ヲシテ毫モ錯誤ナカラシムル様嚴重ニ監視スヘシ
 九 各驛ニ於テハ臨時列車通過ノ際ハ本線ニ接近シタル「サイディング」ニ停留セル車輛ハ總テ「ブレーキ」ヲ緊縮シ自動ヲ防止シ置クヘシ且臨時列車ノ通過ニキ線路ニ在ル各「ポイント」ハ其ノ「フェーシング」タル「ツレーリング」タルトラ間ハ必ス監視者ヲ附ネヘシ

一〇 各驛ニ於テハ臨時列車ノ通過スヘキ線路ニ接近シテ發火又ハ燃燒シ易キ荷物ノ危險品ノ類ハ勿論汽罐橋桁等ノ如キ潤大ナル荷物ヲ積載シタル貨車ヲ停留セシムヘカラス尙此ノ種ノ車輛ハ臨時列車ノ對向列車ニモ聯結スヘカラス

一一 各驛ニテハ臨時列車ノ通過時刻前（相當餘裕アル場合ト雖モ）線路切斷又ハ「ハンドカー」若ハ「ツロリ」使用ヲ爲シシムカラス

但シ技術局ニ於テ定メタル手續ニ依リ臨時列車通過三十分前保線手ニ於テ線路監視ノ時「ハンドカー」ヲ使用スル場合ハ之ノ限リニアラス

一二 單線區間ニ於テ臨時列車及臨時列車ニ影響ヲ近ホスヘキ各列車ニ對スル「ダブルレット」ヲ取扱ニ就キテハ各驛長及列車乗務員ニ於テ特ニ注意シ決シテ錯誤アルヘカラス

一三 臨時列車停車驛驛長ハ豫メ其ノ停車位置ヲ定メ置キ又通過驛驛長ハ其ノ通過ニ支障ナキ様準備シ號「レ」列車ニ對スル合圖ハ最モ正確ニ之ヲ現示スヘシ而シテ合圖燈器ハ能ク清掃シ光力ヲ鮮明ナラシムヘシ又「ブラットホーム」附近ニ於テハ鐵道信號ニ紛ラハシキ燈器ヲ携帶セシムヘカラス

一四 各車輛係員（機關手取締ヲ含ム）ハ別ニ定ムル處ニ依リ臨時列車又ハ臨時列車ニ影響ヲ近ホス處アル各列車ノ機關車ニ

スヘシ

二一 臨時列車ノ對向列車ニ乗務ノ車掌ハ運轉中線路其ノ他ニ注意シ列車カ行進驛ノ前驛ニ到着シタルトキハ直ニ其ノ經過區間ニ於ケル異狀ノ有無ヲ紙片ニ認メ之ヲ驛長ニ渡スヘシ當該驛驛長右紙片ヲ受取リタルトキハ直ニ電話ニテ其ノ全文ヲ次驛驛長ニ通知スヘシ次驛驛長ハ之ヲ臨時列車ノ機關車ニ添乘ノ運轉課員ニ報告スヘシ

二二 臨時列車ノ對向列車ハ左記各號ヲ注意勵行スヘシ
 (1) 臨時列車ト行進ノ際御乘用車附近ニテハ成ルヘク汽笛又ハ警鐘ヲ急激ニ使用スヘカラス且其ノ停車引出又ハ聯結等ノ際ニ於テモ激突セシメサル様注意スヘシ
 (2) 臨時列車ノ對向列車ニ旅客又ハ便乗者ノ乘車セル客車其ノ他車輛ヲ連結シタルトキハ車掌ハ其ノ行進驛ニ到着前ニ當該列車ニ面スル側ノ窓硝子（鏡戸又ハ「ブライインド」）共ヲ閉チ不敬ニ涉ラサル様取締ルヘシ

二三 臨時列車運轉區間ノ各驛長ハ臨時列車ノ運轉ニ關シ明治四十二年八月示達連甲第三百三十八號列車整理並報告手續第十二條乃至第十六條ニ依リ臨時列車ノ長春出發時刻以後自驛ヲ通過スル迄ノ間各列車ノ發著時刻ヲ臨時列車添乘ノ運轉課員宛電報スヘシ

二四 臨時列車ノ運轉ニ關スル電信電話ハ他ノ通信ニ先ダチテ之ヲ取扱フヘシ

二五 臨時列車ノ編成用車輛ハ其ノ内外部共大連及長春ニテ充分清掃シ運轉中モ亦常ニ清潔ナラシムヘシ

二六 各驛長ハ臨時列車到着ノ際奉迎ノ爲「ブラット、ホーム」ニ出入セントスル者ニ對シテハ豫メ所轄警務署又ハ同派出所

警察官吏若ハ守備隊ト打合せ取極メ置キ其ノ他ノ者ハ一切停車場構内ニ立入ラシメナル機取縮ルヘシ

二七 各驛長各車輛係主任ハ臨時列車ヨリ見易キ箇所ハ清掃シ置クヘシ又部下各員ニシテ當日勤務ニ相當スル者ハ服裝及動作ニ注意シ荷モ不敬ニシテラサル様嚴重取縮リヲ爲スヘシ

二八 臨時列車ニハ携帶電話機ヲ備付クヘシ依テ大連驛ヨリ特別車廻送ト共ニ入付ケ發送スヘシ

二九 臨時列車添乗運轉課員ハ左記ノ事項ニシテ所管列車係ノ命令ヲ待ツ途ナキ場合ニ限リ直接關係者ニ通達シテ列車運轉整理ヲ爲スコトヲ得

右ニ依リ發送スル電報ハ運轉課及所管列車係連名トシ且本文冒頭ニ「左記整理本電ニ依レ其ノ他ハ列車係手配」ト附記スヘシ依テ關係各員ハ萬一同一事項ヲ所管列車係ヨリ命令ニ接シタルトキハ本項ノ整理電報ニ記載ノ事項ハ添乗運轉課員ノ命令ニ依ル儀ト心得ラルヘシ

(イ) 臨時列車ノ先發又ハ反對列車事故若クハ遅延ノ場合臨時列車ノ遅延ヲ避クル爲メ或區間順序變更若クハ行進ヲ變更スルコト

(ロ) 臨時列車ノ機關車故障等ノ場合他列車ノ機關車ヲ使用若クハ機關車庫所在驛附近ナルトキハ救援機關車ヲ特發セシムルコト

(ハ) 其ノ他緊急處理ヲ要シ特ニ必要ト認メタル場合

三〇 本臨時列車用車輛ノ廻送ハ別ニ手配ス

三一 本臨時列車用車輛ノ朝鮮鐵道線内直通ニ關シテハ大正三年七月運丁寅第一二七號鮮滿鐵道列車聯絡運轉ノ取扱方ニ關スル兩鐵道ノ協定ニ依ルヘシ

○運轉取扱手續

一 本手續ハ一月六日(木)午後ヨリ翌七日(金)午前ニ亘リ施行スルモノトス

二 左記各列車ハ運轉セシメス

鐵嶺公主嶺間 下リ第十七列車
蘇家屯撫順間 同 第百六十一列車
橋頭奉天間 同 第百二十三列車
安東鶴冠山間 同 第百二十五列車

三 長春、奉天、安東驛ニ於テ臨時列車ハ左ノ通取扱フヘシ
長春驛 本線ヨリ出發セシムヘシ
奉天驛 上リ本線ニ著發セシムヘシ
安東驛 奉天方面本線ニ著發セシムヘシ

四 臨時列車ハ途中奉天及安東驛ニ於テ客車給水ヲ爲スヘシ

五 下リ第二十七列車ハ孟家屯驛ニ於テ臨時列車ヲ待合セ左記變更時刻ニ依リ運轉スヘシ

變 (27) 午後 6.27
孟家屯 發
長 春 著

六 上リ第十四列車ハ公主嶺驛ニ於テ臨時列車ヲ待避シ同驛四平街間左記變更時刻ニ依リ運轉スヘシ

變 (14) 午後 8.00
嶺 發
公主嶺 著
大嶺 發
蔡家店 著
郭家店 發
十家堡 著
四平街 著

七 下リ第十一列車ハ桓勾子驛ニ於テ臨時列車ト行進ニ付平頂堡雙廟子間車輛ノ解結ヲ禁止ス而シテ雙廟子桓勾子間左記變更時刻ニ依リ運轉スヘシ

變 (11) 午後 9.07
雙廟子 發
桓勾子 著

八 上リ第十二列車ハ雙廟子驛ニ於テ臨時列車ヲ待避シ同驛間原間及鐵嶺奉天間左記變更時刻ニ依リ運轉スヘシ又同列車ハ大嶺樹平頂堡間(除雙廟子)ノ解結ヲ禁止ス猶小口扱貨物モ可成做速ノ取扱ヲ爲シ遅延セシメサル様取計フヘシ

變 (12) 午後 10.01
雙廟子 發
頭井 著
泉 發
滿昌 著
馬仲河 著
金溝子 著
開原 著

九 下リ第九列車ハ前項變第十二列車ト行進ノ爲泉頭驛ニ於テ

變 (12) 午前 2.30
嶺 發
得勝臺 著
亂石山 發
新臺子 著
新城子 發
虎石臺 著
文官屯 著
奉天 著

變 (23) 午前 1.22
奉天 發
文官屯 著
虎石臺 發
新城子 著
新臺子 著
亂石臺 著
得勝臺 著
嶺 著

變 (25) 午前 3.06
奉天 發
文官屯 著
虎石臺 發
新城子 著
新臺子 著
亂石臺 著
得勝臺 著
嶺 著

變 (27) 午後 6.27
孟家屯 發
長春 著

變 (32) 午後 11.29
平頂堡 發
嶺 著
得勝臺 發
亂石山 著
新臺子 著
新城子 發
虎石臺 著
文官屯 著
奉天 著

變 (19) 午後 11.53
嶺 發
平頂堡 著

十一 下リ第十九列車ハ平頂堡驛ニ於テ臨時列車ト行進ニ付鐵嶺平頂堡間左記變更時刻ニ依リ運轉スヘシ

變 (19) 午後 11.53
嶺 發
平頂堡 著

十二 下リ第二十一列車及上リ第三十列車ハ得勝臺文官屯間ニ於ケル車輛解結ヲ禁止ス

變 (23) 午前 1.22
奉天 發
文官屯 著
虎石臺 發
新城子 著
新臺子 著
亂石臺 著
得勝臺 著
嶺 著

十三 下リ第二十三列車ハ新城子鐵嶺間、下リ第二十五列車ハ虎石臺鐵嶺間、左記變更時刻ニ依リ運轉ス

變 (25) 午前 3.06
奉天 發
文官屯 著
虎石臺 發
新城子 著
新臺子 著
亂石臺 著
得勝臺 著
嶺 著

十四 下り第二十七列車ハ渾河新臺子間左記變更時刻ニ依運轉スヘシ而シテ奉天驛ニ於テ「サイジング」ニ著發セシムヘシ
(客車給水ノ爲メニ)

變 (27) 午前
渾河 著發 1.59
天屯 著發 2.18
文官 著發 2.50
渾河 著發 3.50
渾河 著發 4.17
渾河 著發 4.30
渾河 著發 4.40
渾河 著發 5.00
渾河 著發 5.18

十五 上り第三十列車ハ奉天驛ニ於テ臨時列車ヲ待避ニ付「サイジング」ニ著發セシムヘシ而シテ奉天蘇家屯間左記變更時刻ニ依リ運轉スヘシ
變 (30) 午前
天屯 著發 3.15
蘇家屯 著發 3.35
蘇家屯 著發 3.48

十六 上り第二十二列車ハ奉天姚千戸屯間左記變更時刻ニ依リ運轉シ陳相屯驛ニ於テ臨時列車ヲ待避ノ爲側線ニ著發セシムヘシ
變 (212) 午前
天屯 著發 1.40
陳相屯 著發 2.00
陳相屯 著發 2.02
姚千戸屯 著發 2.14
姚千戸屯 著發 2.30
姚千戸屯 著發 3.02
姚千戸屯 著發 4.02
姚千戸屯 著發 4.25

變 (216) 午前
頭 著發 6.00
頭 著發 6.30
頭 著發 6.31
頭 著發 6.55
頭 著發 6.56
頭 著發 7.17
頭 著發 7.27
頭 著發 7.60
頭 著發 7.51
頭 著發 8.08
(丙種速度)

十八 下り第二十九列車ハ鷄冠山湯山城間、下り第二十二列車ハ鳳凰城鷄冠山間左記變更時刻ニ依リ運轉スヘシ
變 (229) 午前
鷄冠山 著發 8.20
秋木莊 著發 8.58
劉家河 著發 9.00
劉家河 著發 9.16

十九 上り第二十列車ハ鷄冠山湯山城間、下り第二十二列車ハ鳳凰城鷄冠山間左記變更時刻ニ依リ運轉スヘシ
湯山城 著發 10.07
高麗門 著發 9.49
鳳凰城 著發 9.48
鳳凰城 著發 9.19
鳳凰城 著發 9.18
四臺子 著發 9.03
鷄冠山 著發 9.02
鷄冠山 著發 8.45
鷄冠山 著發 8.45
(210) 變 上り

二十 本手續ニ依リ混合列車及三等客扱貨物列車ノ時刻變更ニ付關係各驛ハ其ノ旨待合所ニ揭示スヘシ

特別臨時列車運轉時刻表
第 700 列車(乙種速度)

長孟大范劉公大蔡郭十四此桓雙泉滿昌馬金開中平鐵得亂新新虎	春屯家屯房主榆家堡街哨子廟頭井圖河子原固頂嶽勝石臺	著發 6.05 著發 6.25 著發 6.26 著發 6.40 著發 6.52 著發 7.20 著發 7.34 著發 7.45 著發 7.57 著發 8.08 著發 8.23 著發 8.38 著發 8.58 著發 9.00 著發 9.19 著發 9.28 著發 9.30 著發 9.43 著發 9.44 著發 10.00 著發 10.09 著發 10.12 著發 10.26 著發 10.38 著發 10.52 著發 11.05 著發 11.20 著發 11.25 著發 11.42 著發 11.46 著發 12.03 著發 12.15 著發 12.30 著發 12.45 著發 1.00 著發 1.03 著發 1.15 著發 1.24 著發 1.41 著發 1.42 著發 1.59	官屯天河安屯相千橋連火本福橋南下馬山關家河遠劉秋鷄四鳳高湯五蛤沙安	著發 2.12 著發 2.14 著發 2.32 著發 3.00 著發 3.13 著發 3.20 著發 3.21 著發 3.44 著發 3.45 著發 3.59 著發 4.17 著發 4.41 著發 4.44 著發 4.52 著發 5.00 著發 5.18 著發 5.35 著發 5.57 著發 6.15 著發 6.30 著發 6.31 著發 6.47 著發 7.01 著發 7.17 著發 7.37 著發 7.48 著發 7.52 著發 8.10 著發 8.30 著發 8.44 著發 8.50 著發 8.50 著發 9.16 著發 9.30 著發 9.43 著發 10.01 著發 10.09 著發 10.15
------------------------------	---------------------------	--	-----------------------------------	---

南滿洲鐵道
株式會社 報

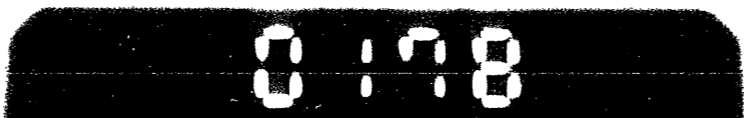
大正五年一月五日
水曜

第二千六百四十六號

人事

雇員ヲ命ス 埠頭事務所勤務 右大正四年十二月三十日附 各通 雇員ヲ命ス 四平街驛勤務 右一月一日附 雇員ヲ命ス 埠頭事務所勤務 各通 總務部技術局建築課勤務ヲ命ス 總務部技術局建築課勤務ヲ命ス 各通 總務部技術局建築課勤務ヲ命ス 各通 大連保線係勤務ヲ命ス 瓦房店保線係勤務ヲ命ス 各通 熊岳城保線係勤務ヲ命ス 遼陽保線係勤務ヲ命ス 遼陽保線係主任ヲ命ス 各通 奉天保線係勤務ヲ命ス 大石橋保線係勤務ヲ命ス 安東保線係勤務ヲ命ス 連山關保線係勤務ヲ命ス 右一月四日附	久高 唯浩 上野 充一 楚島 經太 小倉 達二 職員 今川仙之助 同 吉峰 嘉吉 同 小野小彌太 同 和田 喜藏 同 田中 元一 職員 山崎 源逸 同 岩脇 篤二 職員 山角清之助 同 池崎 正富 職員 中北數次郎 同 吉田 時男 職員 島田 吉郎 職員 清水 賢雄 職員 荒川 公策 同 黒川 英二 職員 三田昇之助 職員 永吉喜十郎 職員 岩竹 庫一
--	--

第二千六百四十六號 大正五年一月五日



各通 四平街驛勤務 雇員 上野 充一
 貨物方見習ヲ命ス 同 榎島 經太
 右一月一日附
 保線手ヲ命ス(撫順在勤) 奉天保線係勤務 職員 黒川 英二
 奉天保線係勤務 雇員 荒川 公策
 保線手ヲ命ス(孤家子在勤)
 右一月四日附

雜錄

▲大阪商船會社船線變更 大阪商船會社ニテハはるびん丸事故ノ爲船線左記ノ通變更ノ旨通知アリタリ(運輸部)
 一月九日 大連出帆 臺南丸
 同 十三日 同 臺南丸
 同 十六日 同 嘉義丸
 同 二十日 同 はるびん丸
 同 二十三日 同 臺南丸
 同 二十七日 同 臺中丸
 同 三十日 同 嘉義丸
 二月三日 同 はるびん丸
 以下臺南、臺中、嘉義、はるびん丸ノ順序ニ依リ就航
 ▲重役出張 川上理事ハ三日出發沿線ニ出張セリ
 ▲貯金通帳無効 貯金通帳甲第六七一號 壹冊 預ケ人 西 アキノ
 右通帳紛失ノ旨届出タルニ依リ自今無効トス拾得者ハ本社會

計課ニ送付セラレタシ

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年齢
腸炎	十二月二十二日	十二月二十七	奉天西三條街九	北村 瀧三	一九年
同	十二月十五日	十二月二十四	長春東第一三區二	原田友次郎	三〇年
同	十二月十四日	十二月二十七	撫順奉日町炭坑社宅	山浦平三郎	三二年
同	十二月十九日	十二月二十七	本溪湖河西街四二	田中 幸二	〇年
同	十二月十九日	十二月二十八	本溪湖桃月町三六	幸田 新四	七年
同	十二月二十日	十二月二十五	撫順大山坑社宅一	坂口 義文	三年
同	十二月二十五	十二月二十六	撫順生町炭坑社宅	福永 コト	五年
同	十二月二十三	十二月二十六	撫順朝日町炭坑社宅	石井 マキ	五年
同	十二月二十六	十二月二十七	撫順朝日町炭坑社宅	吉原八重子	三年

廣告

▲正誤 前號人事欄(三頁下段)赤尾總大郎辭令中「百分ノ」過意金(「百分ノ五」過意金)「四頁下段」山岡榮辭令中「櫻」ニ「誤」ニ「同」同欄辭令中(八頁上段三行)「乘機關手」ハ「乘務機關手」(八頁下段五行)「該乘機」ハ「該乘機」(九頁下段十一行)「乘機」ハ「北村」ヲ誤
 ◎上海定期航路 復航青島寄港
 神戶丸 (第三百四十次) 一月五日正午 大連出帆
 神丸 (第三百九次) 往航青島寄港 一月七日正午 大連出帆

南滿洲鐵道株式會社 報

大正五年一月七日 金曜日 第二千六百四十七號

社告

社告第五十一號
 南滿東清聯絡貨物ノ引換代金ニ採用スル日露貨幣換算率ニ關スル大正三年十月社告第五十一號ノ一ヲ左ノ通改メ一月七日以降之ヲ實施ス
 大正五年一月六日
 總裁 男爵中村雄次郎

示達

一 當社ニ於テハ引換代金收入ノ際ハ百留ニ金五拾八圓ノ換算率ニ依ル
 會第百十二號
 一月七日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾七圓七拾五錢ノ割合ニ改ム
 大正五年一月六日
 總裁 男爵中村雄次郎

通牒

運 輸
 運丁卯第百五十二號
 鐵道院ニテハ大正四年十二月三十日ヨリ東海道線程ヶ谷東橫濱間貨物運輸營業開始ニ付明治四十五年三月社告第百五號朝鮮鐵

會第百十三號
 一月七日ヨリ當會社收入外國貨幣中露貨紙幣(補助貨共)ノ換算相場ヲ露貨壹留ニ付金五拾五錢ノ割合ニ改ム
 大正五年一月六日
 總裁 男爵中村雄次郎

道經由三線並明治四十三年十二月社告第五十六號大阪商船經山
三線聯絡貨物取扱驛所中左記ノ通加除ノ義ト心得ヘシ
大正五年一月六日 運輸部長

追加 程ケ谷ヨリノ哩程
高島 二哩一分
東横濱 一哩二分
削除 櫻木町

人事

(諸規定類第二編八〇六ノ六ノ七頁参照)

佐藤 保吉
宮内 末造
田中 強
木田吾太郎
佐々木寛治
山田伊勢吉
岸松治郎
安藤 堅
田中 茂
馬場 力男

右大正四年十二月二十九日附
大連驛勤務 職員 山田重次郎
大連驛勤務 職員 島田末吉
大連驛勤務 職員 田中瀧五郎
大連驛勤務 職員 森田保次郎
大連驛勤務 職員 佐藤孝信
大連驛勤務 職員 佐藤保吉
大連驛勤務 職員 宮内末造
大連驛勤務 職員 田中強
大連驛勤務 職員 木田吾太郎
大連驛勤務 職員 佐々木寛治
大連驛勤務 職員 山田伊勢吉
大連驛勤務 職員 岸松治郎
大連驛勤務 職員 安藤堅
大連驛勤務 職員 田中茂
大連驛勤務 職員 馬場力男

雜錄

▲副總裁出張 國澤副總裁ハ四日出發沿線ニ出張セリ

▲待遇乘車證無効 左記待遇常用鐵道乘車證ハ紛失ノ旨届出アリタルニ因リ自今無効トス

氏名 滿洲日日新聞社記者 石橋貞男殿
發行年月日 大正五年一月一日
番號 待甲第二六〇號
等級 二等
區間 全線
期 大正五年中

廣告

◎上海定期航路

神戶丸 (第三百四十一次) 復航青島寄港
一月十二日正午 大連出帆
神丸 (第三百十次) 往航青島寄港
一月十四日正午 大連出帆

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正五年一月九日
日 曜 日

第二千六百四十九號

通 牒

運 輸

運丁卯第二百五十七號
石炭酸ハ從來危險品トシテ取扱ヒ居レルカ自今運賃料金ハ普通
品ノ率ニ依リ差岡ナキ義ト承知セラルヘシ但シ臭氣其ノ他ノ爲
他ノ貨物ニ損害ヲ與ヘサル様相當注意ノ下ニ取扱ヲ爲スヲ要ス
大正五年一月八日
運輸部 長

人 事

職員ヲ命ス 大連醫院勤務 吉田 正元
鐵嶺保線係勤務 職員 松清 嵩
瓦房店保線係勤務ヲ命ス
右一月八日附
大連醫院勤務 職員 吉田 正元
藥劑員ヲ命ス

第二千六百四十九號 大正五年一月九日

雜 錄

右一月八日附

▲紛失無賃乘車證發見 本月七日社報第二六四七號雜錄欄記載
ノ左記紛失無賃乘車證ハ發見ノ旨届出アリタルニ付右ノ記載
ハ之ヲ取消ス

氏 名 滿洲日日新聞記者石橋貞男殿
番 號 待甲第二六〇號
等 級 二等
區 間 全線
期 間 大正五年中

▲職員死亡 瓦房店保線係勤務職員森常吉ハ大正四年十二月三
十一日病死セリ
▲職員改姓 工場勤務職員七島要作ハ「小副川」ト改姓ノ旨届出
タリ

廣 告

第二千六百四十九號 大正五年一月九日

◎上海定期航路
 神戶丸 (第三百四十一次) 復航青島寄港
 一月十二日正午 大連出帆
 柳丸 (第三百十次) 往航青島寄港
 一月十四日正午 大連出帆

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正五年一月十一日 火曜日 第二千六百五十號

示 達

會第百十六號
 一月十一日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾七圓七拾五錢ノ割合ニ改ム
 大正五年一月十日
 總裁 男爵中村雄次郎
 運輸部 長

運甲卯第百六十六號
 明治四十四年三月示達運甲第三百六十六號旅客賃金追徴及拂戻ニ關スル取扱手續第五條但書中「但シ乘車券面區間一部ノ乘換ニ對シテハ乘換終了驛ニ於テ旅客ヲ原等級ニ復乘セシメ」トアルヲ「但シ聯絡乘車券ヲ所持スル旅客ノ乘車券面區間一部乘換ニ對シテハ乘換終了驛ニ於テ旅客ヲ原等級ニ復乘セシムルト共ニ」ニ改メ本月十二日ヨリ之ヲ實施ス
 大正五年一月十日
 運輸部 長

(附記)
 本達ニ依リ社線内乘車券ヲ以テ乘車券面區間ノ一部ヲ乘換フル旅客ニ對シテハ乘換終了驛ニ於テ原乘車券ヲ旅客ニ返付セス最初發行シタル特種補充券ヲ以テ終著驛マテ乘車セシムルコトトナル
 (諸規定類纂第二編一〇一頁參照)

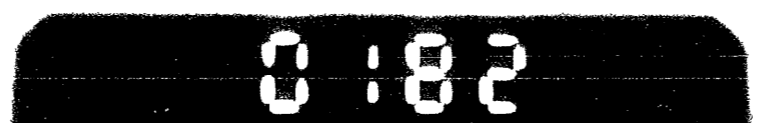
雜 錄

▲重役歸社 沿線出張中ナリシ國澤副總裁ハ十日、川上理事ハ九日歸社セリ

▲傳染病發生

病名	發病月日	確診月日	現 住 所	氏 名	年 齡
猩紅熱	十二月二十七日	十二月二十九日	撫順宮士見町社宅巳ノ一四	桑野キミノ	一〇年
同	一月一日	一月三日	撫順大山坑社宅丁ノ	坂口 修一	七年
同	同	同	撫順敷島町工業學校寄宿舎	坂口 政子	二年
同	一月二日	一月四日	撫順敷島町工業學校寄宿舎	久保登羅太	一九年
腸炎扶助	十二月二十日	十二月二十八日	本溪湖太子河	鈴得 三平	三九年

第二千六百五十號 大正五年一月十一日



同	同	同	同	同	同	同
飯島	榮次	松村	池田	大木	濱松	平石
德次	三六	伴男	清六	静枝	アイ	ヒラ
三年	二年	五年	六年	三年	四年	二年

廣 告

◎上海定期航路
 復航青島寄港
 神戶丸 (第三百四十二次)
 一月十二日正午 大連出帆
 神九 (第三百十次)
 往航青島寄港
 月十四日正午 大連出帆

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正五年一月十二日

水曜 日

第二千六百五十一號

社 告

社告第五十二號

大正二年十二月社告第六十七號日滿貨物聯絡運輸ノ件別冊運送規程類纂第五編日滿貨物聯絡運輸普通取扱運賃表甲、日本聯絡驛港發ノ場合ノ(一)朝鮮又ハ大連經由中竝ニ浦蘆斯德經由中ニ左ノ通玩具外十種ノ取扱驛及運賃ヲ追加シ一月十四日以降之ヲ實施ス

大正五年一月十一日

總裁 男爵中村雄次郎

發 驛 港	品 名	著 驛 港	小 口 扱	貨 車
大阪、神戸	玩 具	ハルビン	六七一六	
同	絲 綉	六六六六		
同	帳 簿	四二二七		
同	文 具	四五八七		
同	メリヤス製品	四六五二		
同	除 蟲 粉	五三〇七		

(一) 朝鮮又ハ大連經由

浦蘆斯德經由

品 名	著 驛 港	小 口 扱	貨 車
時 計	古 屋	五八二八	
漬 物	古 屋	三五九一	
野 菜 (生乾)	古 屋	二八四五	
醬 油	岡	四二七八	
漆 器	岡	六二七〇	

示 達

計用第二號
 地方事務所ニ於ケル用度課關係物品事務取扱手續左ノ通相定メ
 大正五年一月十一日
 計 理 部 長

第一條 地方事務所用度課關係物品事務取扱手續
 第一條 地方事務所ハ小出貯藏品、戻入品、修理品、學校児童用品ニ關スル事務ヲ取扱フモノトス

第二條 地方事務所主任ハ左記ノ場合ニ於テ物品ノ購入ヲ爲スコトヲ得

- 一 天災其ノ他緊急ノ場合ニ際シ應急用品ヲ購辦スルトキ
 - 二 少額ノモノニシテ現地調辦ヲ利益ナリト認ムルトキ
- 前項第一號ノ場合ニ於テハ關係書類ニ緊急所要品ナル旨ヲ明示シ金額多キニ涉ルトキハ品名、數量、代價及事由ヲ記入シタル調表ヲ以テ其ノ都度用度課長ニ報告スヘシ

小出貯藏品

第三條 各地方事務所ノ保管ニ付シタル用度課保管品及地方事務所主任ニ於テ購入シタル物品ヲ小出貯藏品ト稱ス

小出貯藏品ノ振替ニ關スル事務ハ用度課ニ於テ之ヲ取扱フ

小出貯藏品ニ關スル帳簿ニハ原價及代價ヲ記入スルコトヲ要セス

小出貯藏ニ付スヘキモノハ別表列記ノ物品ニシテ大約二箇月間ノ所要量ヲ限度トス

地方事務所主任ハ常ニ小出貯藏量ノ過不足ニ注意シ不足量ノ請求ハ毎月一回十五日ニ於テ用度課ニ之ヲ爲スヘシ

第四條 地方事務所主任ニ於テ購入シタル物品ニ就テハ註文關係書類及仕拂傳票寫ヲ用度課ニ送付スヘシ

第五條 小出貯藏品ヲ配給スル場合ニ於テハ假送付券ヲ發行シ其ノ寫ニ請求券ヲ添附シ用度課ニ送付スヘシ之ニ要シタル直接諸掛アルトキハ送付券面ニ記入スヘシ

第六條 各課所係ヨリ不用トシテ返納シ來リタル物品及保管轉換品ヲ戻入品ト稱ス

戻入品ノ振替ニ關スル事務ハ用度課ニ於テ之ヲ取扱フ

第七條 戻入品ヲ受領シタル場合ニ於テハ之カ評價額ヲ戻入先ニ通知シ返納傳票寫ヲ用度課ニ送付スヘシ

無代價(返納傳票寫ニ取替)トシテ戻入レ來リタル場合ニ於テハ戻入先へ無代價領收證ヲ送り返納傳票寫ニ評價額及用度課諸掛ノ科目ヲ記入スヘシ

第八條 戻入品ノ配給ニ關シテハ第五條ノ取扱ニ準ス但シ修理ヲ要スル物品ニ在リテハ修理品ノ取扱ヲ爲シタル上本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條 戻入品ニ關スル帳簿ハ左ノ區分ニ依リ品名稱呼雖不用品ノ各類ニ分チテ記入シ單價及代價ヲ記入スルニ及ハス但シ(ロ)以下ノ物品ニ就テハ時期ヲ計リ處分方ヲ伺出ツヘシ

(イ) 修理ヲ加ヘ再用ニ堪ヘ得ルモノ

(ロ) 再用若ハ修理ノ見込ナキモノ

無代價品

新品トシテ配給シ得ルモノ

修理品

第十條 各課所係ノ依頼ニ係ル毀損品ノ修理及保管並配給中毀損シタルモノノ修理ノ取扱ヲ修理品ト稱ス

修理品ノ加工費用ハ諸掛ノ負擔トシ落成品ノ拂出ニ依リテ之ヲ振替ヘ消却ス

修理品ノ取扱ハ物品修理請求券同註文券ヲ用ウルノ外第四條及第五條ニ準ス

學校兒童用品

第十一條 學校兒童ニ賣却スル學用品及公費教育費ニテ支辨ノ上學童ニ供給スル學用品ノ貯藏ヲ學校兒童用品ト稱ス

學校兒童用品貯藏ノ場合ニ於テハ學校兒童用品ト朱記シタル品ノ値下或ハ讓渡、賣渡ヲ爲サントスルトキハ用度課長ノ指揮ヲ受クヘシ

前項卸却ニ際シ發見シタル物品ノ過不足及取扱中若ハ配給途中ニ生シタル毀損漏洩等事情止ムヲ得サル損傷ニシテ數量價格僅少ナルモノハ諸掛ノ負擔トシ地方事務所主任ニ於テ處分ノ上品名過不足數量ヲ用度課長ニ報告スヘシ

豫算及決算

第十七條 豫算決算ハ左記各項ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

物品保管倉庫ノ新増築、改築、修繕並諸掛支辨ノ間接費ニ關スル豫算書ヲ作り必要アルモノハ圖面其ノ他ノ參考書ヲ添附シ毎年九月二十五日迄ニ用度課長ニ提出スヘシ

興業費豫算ハ豫算差引簿ニ依リ之ヲ整理シ殘餘ヲ生スル見込アルトキハ二月末日迄ニ之カ處分方ヲ伺出ツヘシ

諸掛ハ各科目ニ亘リ豫算決算ヲ整理スヘシ

第十八條 左記諸表簿ニ依リ物品及其ノ計算ヲ整理スヘシ

一 物品又ハ修理請求券

二 物品送付券

三 物品修理註文券

四 請書

五 契約書

六 物品受渡證

七 物品註文書

八 一部代金請求書

九 物品收支簿

十 仕拂傳票

十一 收納傳票

十二 返納傳票

十三 貯藏品カード

十四 直接購入品報告書

十五 貯藏品殘高表

十六 豫算差引簿

十七 諸掛内譯並豫算差引簿

附則

本手續ハ本年二月一日ヨリ施行ス
各地方事務所ハ從來經理係ノ取扱ニ係ル貯藏物品ヲ其ノ儘繼承
スヘシ但シ保管科目ニ變更ヲ來シタルモノハ元當該經理係保管
品ヨリ振替ノ手續ヲ爲スヘシ
(別表略ス)

運輸

運甲卯第二百六十七號
明治四十二年十月示達運甲丙第二百十號貨車集配及同輸送成績
報告手續中左ノ通改正ス
大正五年一月十一日 運輸部長

第七項貨車ノ種類記號並用語ノ略符號中無蓋貨車ノ部(ム
シ)ヲ左ノ通改正

無蓋貨車 (六枚側、側板全部開閉) (記號ム)

同 (六枚側、側板全部開閉) (記號ム)

同 (六枚側、側板全部開閉) (記號ム)

同 (六枚側、側板全部開閉) (記號ム)

同 (六枚側、側板全部開閉) (記號ム)

同 (六枚側、側板全部開閉) (記號ム)

人事

福井 寛

職員ヲ命ス 開原地方事務所勤務
右一月七日附

總務部交渉局第二課勤務 職員 井田 孝平
滿一箇年間露國へ留學ヲ命ス

講師囑託ヲ解ク
撫順實業補習學校講師ヲ囑託ス
右一月十一日附
撫順實業補習學校講師 石橋 米一
撫順炭坑會計課勤務 職員 横竹 庫三

遼陽保線係勤務 職員(保線手) 百濟哲太郎
大正二年度工番第一一六七號遼陽保線係管内線路基礎建植工事
ニ於テ規定ノ寸法ニ違反シタル基礎ヲ建植シ且該工事ノ未竣成
ナリシニ拘ラス漫ニ之カ竣工整理ノ手續ヲ爲シタルハ職務ヲ怠
リ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ社員懲戒規程ニ據リ
二箇月間月收百分ノ十ノ過怠金ヲ徴ス

大連保線係勤務 職員 岩脇 篤二
遼陽保線係主任勤務中大正二年度工番第一一六七號遼陽保線係
管内線路基礎建植工事ニ於テ規定ノ寸法違反ノ基礎建植ニ氣付カ
ス且該工事ノ未竣成ナリシニ拘ラス漫ニ之カ竣工整理ノ手續ヲ
爲シタルハ職務ヲ怠リ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス仍テ
社員懲戒規程ニ據リ一箇月間月收百分ノ十ノ過怠金ヲ徴ス
總務部技術局勤務 職員 本崎 斯文

遼陽保線係在勤中大正二年度工番第一一六七號遼陽保線係管内
線路基礎建植工事ニ於テ該工事ノ未竣成ナリシニ拘ラス漫ニ之
カ竣工整理ノ手續ヲ爲シタルハ職務上ノ義務ニ違背シタルモノ
トス仍テ社員懲戒規程ニ據リ譴責ス
右一月十一日附

雜錄

▲無蓋貨車改造 無蓋貨車ムムハ逐次其ノ側板ヲ各一定ノモ
ノニ改造(内ム車ハ該改造ト同時ニ底戸ノ設備ヲ撤去シ床板
ヲ平坦ナラシム)シ尙内一箇所(兩側共)ノ剝リ戸ハ特ニ必要
ノ場合ニ限リ「サイドシル」ニ設備シタル螺番ヲ利用シテ下方
ニ反轉シ得ル裝置ヲ施スコトトシ右改造車ノ記號ヲムトス
無蓋貨車ムハ側板剝リ戸ノ内一箇所(兩側共)ノミニ必要
ノ場合ニ限リ「サイドシル」ニ設備シタル螺番ヲ利用シテ下方
ニ反轉シ得ル樣逐次裝置ヲ施スコトトシ右改造車ノ記號ヲム
トス

▲懲戒委員會決議 遼陽保線係勤務保線手職員百濟哲太郎外二
名ニ對スル懲戒事件ニ付技術局長心得ノ要求ニ據リ審査ヲ遂
クル處
大正二年度工番第一一六七號遼陽保線係管内線路基礎建植工
事ニ於テ同係員ハ規定ノ寸法ニ違反シタル基礎ヲ建植ヲ爲シ
且該工事ノ未竣成セザリシニ拘ラス正當ノ手續ヲ經スシテ
漫ニ之カ竣工整理ヲ了シタルモノトス仍テ當務者ノ所爲ヲ按
スルニ

保線手百濟哲太郎ハ同工事ノ監督者トシテ施工中不注意ニモ
規定寸法ニ違反セル基礎ヲ建植セシメタルノミナラス該工事
ノ未竣成セザリシニ拘ラス漫ニ之カ竣工整理ノ手續ヲ爲シ
タルモノニシテ職務ヲ怠リ職務上ノ義務ニ違背シタルモノト
ス
保線係主任岩脇篤二ハ部下監督ヲ怠リ規定寸法違反ノ基礎建
植ニ氣付カザリシノミナラス該工事ノ未竣成セザリシニ拘
ラス正當ノ手續ヲ經スシテ漫ニ之カ竣工整理ノ手續ヲ爲シタ
ルモノニシテ職務ヲ怠リ職務上ノ義務ニ違背シタルモノトス

事務取扱者本崎斯文ハ未竣成ノ工事ニ對シ正當ノ手續ヲ經ス
シテ漫ニ之カ竣工整理ノ手續ヲ爲シタルモノニシテ職務上ノ
義務ニ違背シタルモノトス
右ノ事實ハ所屬長ノ懲戒要求書並其ノ附屬書類ニ徴シテ明白
ナリ仍テ社員懲戒規程ニ據リ百濟哲太郎ハ二箇月間月收百分
ノ十ノ過怠金ニ、岩脇篤二ハ一箇月間月收百分ノ十ノ過怠金
ニ處シ本崎斯文ハ譴責ニ處スヘキモノトス

▲鐵道運輸規程其ノ他改訂ノ件 諸規定類纂第四編運輸第一類
一般規定中鐵道運輸規程、鐵道列車保安規程及鐵道信號規程
ハ明治三十七年三月遞信省令ヲ以テ改正セラレタルヲ從來採
錄濟トナリ居リシ處今同諸規定類纂第四、第五編追録第八號
中ニ之カ改訂ヲ加ヘ置キタルニ付注意セラレタシ

▲實業補習學校通譯適任試驗合格者 過般施行ノ附屬地實業補
習學校第一回通譯適任試驗合格者左ノ如シ

- | | | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 支那語 一等 | 支那語 二等 | 支那語 三等 | 支那語 四等 | 支那語 五等 | 支那語 六等 | 支那語 七等 | 支那語 八等 | 支那語 九等 | 支那語 十等 |
| 內藤亥三郎 | 前山 高治 | 川田 通秀 | 福西 眞一 | 越川 克 | 大竹正五郎 | 平出 成樹 | 濱地 良三 | 小松 六郎 | 吉田 廣盛 |
| 野田 林太 | 金森 貫一 | 渡邊 綱賢 | 辻 肇 | 小畑專次良 | 打田重次郎 | 富永 重治 | 平 丑吉 | 吉田 廣盛 | 鈴木 重絶 |
| 市丸 虎太 | | 大塚 新藏 | 寒田 壽 | 金子 秀夫 | 野村 萬八 | 阿南 久吉 | 坂田磯五郎 | | |

稻垣甚兵衛 長
 日語 一等 宮仁方 吉岡
 傳 倍 蔭 天
 日語 二等 孫富貴 天
 趙連 舉海
 高中 允 春長 蔡克昌 春長 梁廷祥 公主

廣告

◎上海定期航路
 神戶丸 (第三百四十一次) 復航青島寄港
 一月十二日正午 大連出帆
 柳丸 (第四百十次) 往航青島寄港
 一月十四日正午 大連出帆

◎讀書會講演
 一月十四日(金曜日)午後四時十分本社分館會議室ニ於テ開
 會、話題及演者左ノ如シ
 鐵道ト農業 千秋 寛君

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正五年一月十四日 金曜日

第二千六百五十三號

示 達

會第百十九號
 一月十四日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾八圓
 七拾五錢ノ割合ニ改ム
 大正五年一月十三日
 總裁 男爵中村雄次郎

運 輸

運甲卯第百七十三號
 大正四年十月示達運甲卯第百號列車運轉施行手續第三十條別
 表列車夫乘務表ノ次ニ左ノ通追加シ本月十四日ヨリ之ヲ施行ス
 大正五年一月十三日
 運輸部長

夫乘務乘務驛主
 長 春 (14)
 公主嶺 (19) 251
 本三取ノ
 乘客ニス
 ハ車從
 一備事
 名附ル
 ト暖ル
 シン電モ

第二千六百五十三號 大正五年一月十四日

運甲卯第百七十四號
 大正二年七月運丁丑第百二十三號聯絡苦力割引貸金額中大連經
 山ノ分開原ヲ金參圓六拾五錢ニ昌圖ヲ金四圓ニ改メ本年二月一
 日ヨリ實施ス
 大正五年一月十三日
 運輸部長

(前規定額第百二十七頁參照)

人 事

撫順炭坑庶務課勤務 職員 由家 欽一
 撫順炭坑庶務課勤務ヲ命ス
 右一月十日附
 公主嶺尋常高等小學校訓導兼校長 奧藤 文吉
 公主嶺實業補習學校講師及公主嶺實科女學校講師ヲ囑託ス
 撫順炭坑運炭課勤務 雇員 渡邊 勝美
 依願雇員ヲ免ス
 右一月十三日附

雜 錄

第二千六百五十三號 大正五年一月十四日

▲共濟金給與通知書無效

共濟金給與通知書 共濟第一八五號社員入院料一通
 受領者 鷄冠山車輛係 小野貞一
 右通知書紛失ノ旨届出タルニ依リ自今無効トス拾得者ハ本社
 庶務課ニ送付セラレタシ

▲傳染病發生

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年齢
同	十二月三十一日	一月八日	本溪湖河西街三二ノ	青木 松一	三四
同	十二月二十二日	同	本溪湖河西街四一ノ	小山 光起	三〇
同	一月五日	同	瓦房店小學校寄宿舎	大木クニ子	一四
赤痢	一月七日	一月七日	撫順千金藥社七	傳云 德	三四
猩紅熱	一月七日	一月八日	撫順大山坑社宅四	安野 マス	四
痘瘡	一月五日	同	遼陽白塔大街五	山下 カメ	六七
同	同	同	遼陽後家大街三	矢治キクエ	二九
同	一月七日	一月九日	遼陽後家大街六	中須 淺藏	三〇

○病名變更 十二月三十日社報第二、六四四號本欄掲載陽性患者白山半次
 耶ハ「マラチナス」ト決定セリ

▲正誤 一月七日社報第二、六四七號通運部運送丁卯第二五二號左記中東横濱ノ哩
 程一哩二分ハ「三哩三分」ノ誤

廣告

◎上海定期航路

神丸 (第一十次) 往旅青島寄港
 一月十四日正午 大連出帆
 神戶丸 (第三十四次) 復航青島寄港
 一月十九日正午 大連出帆

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正五年一月十六日

日 曜 日

第二千六百五十五號

示 達

會第百二十號

一月十六日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾九圓ノ割合ニ改ム

大正五年一月十五日

總裁 男爵中村雄次郎

運輸部

運甲卯第二八十一號

自今安東商品陳列館宛陳列非賣品ニシテ左記雛形ノ證明書添付ノモノニ限リ無賃(貨物列車便ニ依ル場合ハ發著手数料共)ニテ輸送方取計フヘシ

大正五年一月十五日

運輸部長

(雛形)

無賃輸送請求券

荷送人	品名	箇數	容重又ハ積重	摘要	備考

上記ノ貨物當館へ出品ニ付貨線内無賃輸送御取扱願上候
 大正 年 月 日 滿洲安東縣 安東商品陳列館
 南滿洲鐵道株式會社御中

第二千六百五十五號 大正五年一月十六日

運甲卯第二百八十二號
大正四年八月示達運甲卯第百二十八號上海航路船車聯絡小荷物取扱手續第五條ノ次ニ左記一條ヲ追加シ第六條以下順次繰下ケ本年一月二十五日ヨリ之ヲ施行ス
大正五年一月十五日 運輸部長

第六條 聯絡小荷物ニ對シテハ荷主ノ希望ニ依リ引換證ヲ發行スルコトヲ得ルモノトス
(請規定類第(編)二七六頁參照)

運乙卯第二百八十四號

一月十八日ヨリ左記ノ通休止中ノ貨物列車ヲ復活運轉ス
大正五年一月十五日 運輸部長

一 復活列車

大連 瓦房店間 (下) 第三十一列車
瓦房店大石橋間 (下) 第三十二列車
大石橋遼陽間 (下) 第三十一列車
遼陽奉天間 (下) 第三十一列車
奉天鐵嶺間 (下) 第三十一列車
鐵嶺開原間 (下) 第三十一列車

大連 瓦房店間 (上) 第三十一列車
瓦房店大石橋間 (上) 第三十二列車
大石橋遼陽間 (上) 第三十一列車
遼陽奉天間 (上) 第三十一列車
奉天鐵嶺間 (上) 第三十一列車
鐵嶺開原間 (上) 第三十一列車

大連 瓦房店間 (下) 第三十一列車
瓦房店大石橋間 (下) 第三十二列車
大石橋遼陽間 (下) 第三十一列車
遼陽奉天間 (下) 第三十一列車
奉天鐵嶺間 (下) 第三十一列車
鐵嶺開原間 (下) 第三十一列車

大連 瓦房店間 (上) 第三十一列車
瓦房店大石橋間 (上) 第三十二列車
大石橋遼陽間 (上) 第三十一列車
遼陽奉天間 (上) 第三十一列車
奉天鐵嶺間 (上) 第三十一列車
鐵嶺開原間 (上) 第三十一列車

二 本達施行ニ伴ヒ機關車運用、同乘務員並車掌乘務表中一部ヲ左ノ通復活復舊ス

○機關車運用表

大連車輛係 番號36ヲ復活ス
瓦房店車輛係 番號57、74ヲ復活シ52ト75ノ變更組合セテ解キ更ニ52ト57ヲ變更組合セトス
大石橋車輛係 番號變83ヲ復活ス
遼陽車輛係 番號110ヲ復活シ隔4ヲ休止ス
奉天車輛係 番號126、130ヲ復活シ變127ヲ復活ス
鐵嶺車輛係 番號154ヲ復活シ變158ヲ二往復ニ復舊ス

○機關車乘務員乘務表

瓦房店車輛係 番號57、74ヲ復活シ50ト63ノ變更組合セテ解キ更ニ63ト74ヲ變更組合セトス

○車掌乘務表

大連 番號13ヲ復活ス
瓦房店 番號26ヲ復活シ其ノ往路ヲ第百七十五列車、復路ヲ第三十二列車ニ變更ス
大石橋 番號41、49ヲ復活ス
遼陽 番號64ヲ復活シ隔4ヲ休止ス
奉天 番號75、79ヲ復活シ變76ヲ復活ス
鐵嶺 番號95ヲ復活シ變99ヲ二往復ニ復舊ス

三 本達施行ニ伴ヒ機關車運用並乘務員乘務移替リ方左ノ通トス

瓦房店大石橋間
○一月十八日大石橋發上リ第十四列車機關車乘務員ハ同日瓦

雜錄

房店發下リ第百七十九列車ニ便乘出向スヘシ
○一月十八日大石橋發上リ第三十二列車車掌ハ十七日瓦房店發下リ第三列車ニ便乘出向スヘシ

遼陽奉天間
○奉天車輛係受持番號126、奉天驛受持番號75ハ一月十八日ヨリ仕業ヲ始ムルモノトス
○一月十七日遼陽發下リ第二十五列車機關車ハ十八日奉天發上リ第三十列車ニ重聯シ車掌ハ同列車ニ便乘トス

附記
本達施行ト同時ニ十二月二十八日奉天列車係發第百七十號電報達示ハ自然消滅トス尙途中停車列車表中變更中ノモノハ自然指定列車ニ復舊スルモノトス

廣告

◎上海定期航路

神戸丸 (第三百四十二次) 復嶺青島寄港
一月十九日正午 大連出帆

神丸 (第三百一十次) 往嶺青島寄港
一月二十一日正午 大連出帆

南滿洲鐵道
株式會社
報

大正五年一月十八日
火曜日

第二千六百五十六號

示 達

運 輸

運甲卯第二百八十三號
大正四年十月示達運甲卯第二百號列車運轉施行手續第二十三條
別表機關車運用表中大連車輛係受持埠頭入換仕業番號18、19ヲ
不定期仕業ニ改メ本月十八日ヨリ之ヲ施行ス
大正五年一月十七日
運 輸 部 長

(電報既達)

運甲卯第二百八十四號
明治四十二年八月運丙第二百三十三號遼陽衛戍病院患者乘車賃
金後拂ノ件中「草河口」トアルヲ「連山關」ニ改ム
大正五年一月十七日
運 輸 部 長

第二千六百五十六號 大正五年二月十八日

人 事

依願雇員ヲ免ス
右一月十五日附
依願職員ヲ免ス
埠頭事務所勤務 職員 遠藤 要助
雇員ヲ命ス 埠頭事務所勤務 竹内 正實
鐵嶺醫院勤務ヲ命ス 遼陽醫院勤務 職員 加藤 浩
右一月十七日附

雜 錄

▲總裁病狀 左ノ如ク經過順良ナリ
最高熱 脈搏 呼吸
一月十四日 三六・七 八六 一八
十五日 三六・八 九四 一八
十六日 三六・六 八二 一八



第二千六百五十六號 大正五年一月十八日

▲兵役又ハ應聘者ノ共濟醜金徵收方ノ件 共濟規程施行(大正四年八月一日)以前ヨリ兵役又ハ應聘中ノ者歸社シタル際ノ共濟醜金徵收方ハ歸社ノ日ヨリ日割ニテ徵收スルモノナルニ付注意セラレタシ

▲實業補習學校教科目増設 海城實業補習學校教科目中ニ國語科ヲ増設セラレタリ

▲傳染病發生

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年齡
猩紅熱	一月六日	一月七日	安東縣山手町二五ノ一	仲子	政雄 九年
同	一月七日	一月九日	同上	仲子	義策 一九年
同	十二月二十二日	一月十一日	本溪湖河西街二二ノ一	鶴見	兵部 三五年

廣告

◎上海定期航路 復航青島寄港
 神戶丸 (第三百四十二次) 大連出帆
 一月十九日正午
 神九 (第三百一十次) 往青島寄港
 一月二十一日正午 大連出帆

南滿洲鐵道株式會社 報

大正五年一月十九日 水曜日 第二千六百五十七號

社告

社告第五十三號
 大正二年十二月社告第六十七號日滿聯絡運輸ノ件別冊運送規程類纂第五編運賃表中ニ別表ノ通朝鮮鐵道發運賃ヲ追加シ一月十四日以降之ヲ實施ス
 大正五年一月十四日 總裁 男爵中村雄次郎

示達

運 輸
 運甲卯第二百八十五號
 明治四十年十月示達運賃甲第二百八號溫泉行往復割引券發賣ニ關スル件第一項中「撫順ヨリ湯崗子」トアルヲ「撫順、本溪湖ヨリ湯崗子」ニ改メ本年二月一日ヨリ之ヲ施行ス
 大正五年一月十八日 運輸部長

人事

新滿洲中領城都府村湯町 齋藤 惠
 奉天尋常高等小學校訓導ニ任ス
 右一月七日附(關東都督府發令)

雜錄

▲鐵道無賃乘車證無效 在記常用鐵道乘車證ハ紛失ノ旨届出タルニ因リ自今無効トス
 氏名 南滿醫學堂教授 椎野鈔太郎
 發行年月日 大正五年一月一日
 番 號 第一〇〇四號
 等 級 一等
 區 間 全線
 期 間 大正五年中
 ▲貯金通帳無效
 貯金通帳 第二八三七號 壹冊 預ケ人 小竹忠太郎

第二千六百五十七號 大正五年一月十九日

第二千六百五十七號 大正五年一月十九日

貯金通帳 第二八四三號 壹冊 預ケ人 深谷 藤七
右通帳紛失ノ旨届出タルニ依リ自今無効トス拾得者ハ本社會計課ニ送付セラレタシ

廣 告

◎上海定期航路

神 九 (第百一十一次) 往橫濱寄港

一月二十一日正午 大連出帆

神戶丸 (第百四十三次) 往橫濱寄港

一月二十六日正午 大連出帆

◎讀書會通俗講演 第一回

一月二十一日(金曜日)午後六時三十分敷島町青年會館ニ於テ
開會、話題及演者左ノ如シ

宰素ノ話

鈴木 庸生君

船ノ話

檜崎猪太郎君

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正五年一月二十日

木 曜 日

第二千六百五十八號

示 達

運 輸

運甲卯第二百八十六號

明治四十年七月示達運管甲第七十三號各驛名用字及稱呼中旅順ヲ左ノ通改ム

大正五年一月十九日

運 輸 部 長

旅 順 Ryojin(Port Arthur) ヲモシム(※一ターキー)

(請規定類纂第二編六六〇頁參照)

通 牒

運 輸

運丁卯第二百六十四號

大正三年九月示達運丁寅第六十四號聯絡貨物受託ノ際日本及朝鮮輸入禁制品並支那輸出禁制品ニ注意ノ件中支那輸出禁制品

第二千六百五十八號 大正五年一月二十日

第三項ノ麥粉ニ關スル事項但書ヲ自今左ノ通改ム

大正五年一月十九日

運 輸 部 長

但シ滿洲產麥粉ハ此ノ限ニ在ラス

(請規定類纂第二編七九四ノ一頁參照)
(大正四年十二月運丁卯第二四一號參照)

人 事

大石橋車輛係勤務 雇員 岸田定治郎

長春實業補習學校講師 篠崎 成一

依願雇員ヲ免ス
講師職ヲ解ク
右一月十九日附

雜 錄

▲神戸丸定期變更 上海航路神戸丸定期ハ從來火曜日大連入港水曜日出港ノ處來週ヨリ以後毎月曜日出港火曜日出港ノコトニ定期ヲ變更ス尙右實施ノ爲同船今次(十九日大連)ノ航海ニ限

リ復路青島寄港ヲ略シ直航スルコトセリ

△傳染病發生

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年齢
バラチフス	一月三日	一月十六日	本溪湖河西街納第三七號ノ二	山崎 富子	五年
バラチフス	一月十二日	一月十七日	遼陽東洋街	岩田常次郎	三年
赤痢	一月十日	一月十四日	連山關係係社宅	細野 文雄	三年
猩紅熱	一月十四日	一月十五日	撫順明石町郵便局官舎	古賀 太郎	二年
同瘡	一月十三日	一月十五日	撫順彌生町社宅ノ五九	森 サオ	三〇年
痘瘡	一月十一日	一月十三日	遼陽二區一〇	浦野三代治	三年

廣告

◎上海定期航路
 神九 (第百一十一次) 往航青島寄港
 一月二十一日正午 大連出帆
 神戶丸 (第百四十三次) 復航青島寄港
 一月二十五日正午 大連出帆

南滿洲鐵道株式會社 報

大正五年一月二十一日 第二千六百五十九號

示達

總事庶甲第五百七十二號
 南滿醫學堂職制中左ノ通改正ス
 大正五年一月二十日

總裁 男爵中村雄次郎

- 一 第一條第二項ヲ左ノ通改ム
- 前條ノ外提調一名ヲ置キ奉天巡按使ノ選定シタル支那國官吏ニ之ヲ囑託ス
- 一 第七條中「稽查」ヲ「提調」ニ改ム

人事

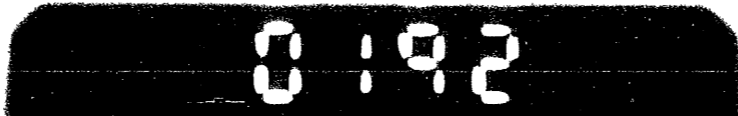
兵庫縣揖保郡龍野尋常高等小學校訓導 田寺 健治
 本溪湖尋常高等小學校訓導ニ任ス
 右一月八日附(關東都督府發令)
 職員ヲ命ス 埠頭事務所勤務 吉田 元秀

第二千六百五十九號 大正五年一月二十一日

廣告

◎上海定期航路
 神戶丸 (第百四十三次) 復航青島寄港
 一月二十五日正午 大連出帆
 神九 (第百一十二次) 往航青島寄港
 一月二十八日正午 大連出帆

右一月二十日附



南滿洲鐵道
株式會社 報

大正五年一月二十二日
土曜 日

第二千六百六十號

示 達

會第二百二十三號
一月二十二日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金八拾九圓五拾錢ノ割合ニ改ム
大正五年一月二十一日

總裁 男爵中村雄次郎

會第二百二十三號
一月二十二日ヨリ當會社收入外國貨幣中支那銀貨ノ換算相場ヲ金壹圓ニ付銀壹圓參拾八錢ノ割合ニ改ム
大正五年一月二十一日

總裁 男爵中村雄次郎

運 輸

運甲卯第二百八十七號
明治四十四年三月示達運甲第三百九十號乘車券及鐵道收入關係書類取扱手續及様式雜ノ部不引取貨物照會原簿ヲ左ノ通改正ス
大正五年一月二十一日

運輸 部長

第二千六百六十號 大正五年一月二十二日

不引取貨物照會原簿
不引取貨物處理濟通知
不引取貨物處理濟報告
不引取貨物報告
不引取貨物照會

一 用途

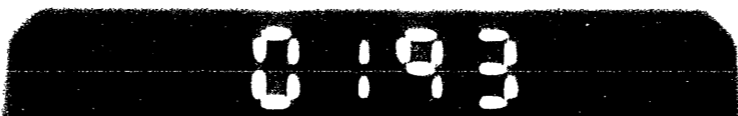
同一番號ヲ附シ著驛ニ於テ貨物不引取ノ爲發驛ニ處分方指圖ヲ求ムル場合炭酸紙ヲ以テ同時ニ作成ス原簿ハ自驛ニ留メ報告ハ運輸部ニ提出シ處理濟通知、處理濟報告ハ一時自驛ニ留メ置キ貨物處理濟ノ際處理濟通知ハ發驛ニ送付シ處理濟報告ハ運輸部ニ提出シ又照會ハ回答用紙添附ノ儘發驛ニ送付スルモノトス

二 記入ノ注意

著驛ニ於テ貨物處理濟ノ際、其ノ月日及要領(何月何日何號回答ニ依リ返還又換價)再三通知スルモ不引取ニ付規程ニ依リ換價ス「荷受人ヨリ申出ニ依リ引渡(等)」ヲ原簿及處理濟通知、處理濟報告ニハ炭酸紙ヲ以テ「内ニ同時ニ記入スヘシ

三 著驛ニ於ケル扱方

第一回ノ照會ニテ相當期間ヲ經過スルモ發驛ヨリ處分方ニ關



シ回答ナキトキハ再三發行督促スルモノトス此ノ場合ニハ前
回ノ照會日附番號ヲ記事欄ニ記入シ置クヘシ
四 發聲ニ於ケル扱方
著譯ヨリ照會ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク荷送人ニ交渉ノ上至
急指圖ヲ求ムルモノトス
回答用紙不足ノ場合ハ別紙ヲ使用スヘシ
様式略ス
(大正三年九月社報第(二五〇)號參照)

人事

依願雇員ヲ免ス
右一月十七日附
大連醫院勤務 雇員 山岡 ユカ
東京支社勤務 雇員 曠見 敬治
依願雇員ヲ免ス
營口醫院勤務 職員 邱 鳳 翔
依願職員ヲ免ス
運輸部勤務 職員 田坂 茂一
運輸部營業課勤務ヲ命ス
右一月二十一日附

雜錄

▲保線優勝旗及褒狀授與式舉行 本月二十日午後一時三十分本
社會議室ニ於テ國澤副總裁、川上、佃各理事、堀技術局長心得、

谷保線、加藤土木、小野木築建各課長、木下技術局員及各保
線主任列席ノ上保線優勝旗並保線褒狀授與規程ニ據リ國澤
副總裁ヨリ左記保線丁場ニ對シ優勝旗及褒狀ヲ授與セラレタ
リ
優勝旗 本溪湖保線係 主任 福田 稔
津田 守久
保線手 片所喜一郎
組路工頭 日向菊次郎
同 竹井常次郎
同 田邊 利男
同 豐味西太郎
同 說田 留吉
同 宇田恒次郎
同 吉田 恒市
同 深澤喜代松
同 松田貞治郎
同 杉野 外雄
同 平山 米藏
同 山口小太郎
同 菅井久之丞
同 小牧 爲吉
同 神野重三郎
同 大森文太郎
同 岡積 熊吉
同 保線手 岡本 儀助
同 組路工頭 佐藤伊太郎
同 連山關保線係 主任 松田 豐一〇年
同 保線手 大連保線係 主任 松田 豐一〇年
同 組路工頭 大連保線係 主任 松田 豐一〇年
同 連山關保線係 主任 松田 豐一〇年
同 保線手 大連保線係 主任 松田 豐一〇年
同 組路工頭 大連保線係 主任 松田 豐一〇年

連山關保線係 組路工頭 水口 幸吉
同 大浦金太郎

▲雇員改姓 遼陽驛勤務雇員藤井榮助(一)齋藤(一)改姓ノ旨届出
タリ

▲新著圖書目錄 大正四年十一月新著圖書ノ目錄本號ニ添附セ
リ

傳染病發生

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年齢
腸窒扶斯	一月十日	二月十八日	撫順明石町社宅(已)	松田 豐一〇年	
バラチフス	一月十二日	同	本溪湖河西街	片森 安吉 三六年	
猩紅熱	一月十五日	一月十七日	鐵嶺社宅七二ノ一	小谷ミヤエ 六年	
同	同	同	撫順關生町社宅(已)	千布 イマ 二九年	
同	一月十六日	同	同	千布 クニ 二年	

廣告

◎上海定期航路 復航青島寄港
神戸丸 (第三百四十三次) 一月二十五日正午 大連出帆
神丸 (第三百十二次) 往航青島寄港 一月二十八日正午 大連出帆

南滿洲鐵道
株式會社 報

大正五年一月二十五日
火曜日

第二千六百六十二號

社告

社告第五十四號
大正四年九月社告第三十四號日支周遊旅客及手荷物取扱ノ件中
左ノ通改メ本年三月一日ヨリ實施ス
大正五年一月二十四日

總裁 男爵中村雄次郎

- 一 第三條中
- 院及朝鮮線 南滿洲及支那鐵道各線 日本郵船 日清汽船
 - 二等 二等 二等 特等
 - トアルヲ
 - 二等 二等 二等 特等
 - トス

(請規定額算第二編三五八ノ一頁參照)

示達

會第百二十四號
一月二十五日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金九拾圓

第二千六百六十二號 大正五年一月二十五日

ノ割合ニ改ム
大正五年一月二十四日

總裁 男爵中村雄次郎

通牒

運輸

運丁卯第二百六十六號

社用品運送手續第八項ニ依ル託送取扱主任者左記ノ通追加ス
大正五年一月二十四日 運輸部長

託送驛所 所屬 氏名
大連 產業試驗場 北橋利亮
長春 運輸部營業課 栗村平三郎

運丁卯第二百六十七號

鐵道電報發送責任者左ノ通追加ス
大正五年一月二十四日

運輸部長



第二千六百六十二號 大正五年一月二十五日

賴信驛所 所屬 氏名
全線 運輸部營業課 栗村平三郎
公主嶺 産業試驗場 北楯利亮

人事

電氣作業所勤務 職員 梶原 可吉
依願職員ヲ免ス
右一月二十四日附

雜錄

▲讀書會記事
○委員異動 研究部委員井田孝平留學ニ付補缺トシ左ノ通指
名セラレタリ
研究部委員 清水 三三

▲傳染病發生

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年	齡
猩紅熱	一月十五日	一月十九日	撫順南町二番地	山口	實	七
同	一月十八日	一月十八日	撫順南町九番地	片野田	徹	四
同	一月十七日	同	同	片野田	次男	八
同	同	同	同	片野田	三	六

廣告

▲正誤 前號示達運輸部甲第百八十九號汽船運貨表中豆箱ノ部鎮南浦、仁川著
「二〇〇」トアルハ「二八〇」ヲ誤
◎上海定期航路
神戶丸 (第百十二次) 往靑島香港
一月二十八日正午 大連出帆
神戶丸 (第百四十四次) 復靑島香港
二月一日正午 大連出帆

南滿洲鐵道株式會社 報

大正五年一月二十六日

水曜日

第二千六百六十三號

社告

社告第五十五號

大正二年十二月社告第六十七號日滿聯絡運輸ノ件別冊運送規程類纂第五編日滿貨物聯絡運輸普通便扱運賃表丙朝鮮鐵道發著ノ場合ノ一ニ朝鮮鐵道發空瓶運賃ヲ左ノ通追加シ一月十四日以降之ヲ實施ス

大正五年一月十四日

總裁 男爵中村雄次郎

品名	發	驛	著	驛	運貨百斤ニ付
空瓶	南大門	哈爾濱	小口扱	貨車扱	二二三三七

社告第五十六號

南滿東清聯絡當社引換代金ニ採用スル日露貨幣換算率ニ關スル大正三年十月社告第五十一號ノ一ヲ左ノ通改メ一月二十六日以降之ヲ實施ス

第二千六百六十三號

大正五年一月二十六日

大正五年一月二十五日

總裁 男爵中村雄次郎

一 當社ニ於テハ引換代金收入ノ際ハ百留ニ金五拾六圓ノ換算率ニ依ル

示達

會第百二十五號

一月二十六日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金九拾圓七拾五錢ノ割合ニ改ム

大正五年一月二十五日

總裁 男爵中村雄次郎

會第百二十六號

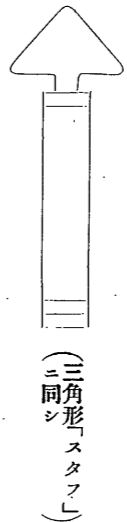
一月二十六日ヨリ當會社收入外國貨幣中露貨紙幣(補助貨トモ)ノ換算相場ヲ露貨壹圓ニ付金五拾參錢ノ割合ニ改ム

大正五年一月二十五日

總裁 男爵中村雄次郎

運輸

運甲卯第二百九十號
明治四十四年七月示達運甲第一百號臭水子積場支線列車運轉手續第七項中運轉許可票ノ様式ヲ左ノ通改正ス
大正五年一月二十五日
運輸部長



(社報第二千六百四十三號參照)

通牒

運丁卯第二百七十號
大正三年十月社告第五十一號ニ依ル南滿東清聯絡貨物ノ引換代金ニ採用スヘキ換算率ヲ東清鐵道ニ於テハ本月二十六日以降當分百圓ニ百八拾留ト定ムル旨通知アリタリ
本年一月運丁卯第二百五十一號ハ廢止ス
大正五年一月二十五日
運輸部長

人事

依願職員ヲ免ス
各通
依願職員ヲ免ス
職員 渡邊 幹樹
埠頭事務所勤務
計理部會計課勤務 雇員 大矢部清一
電氣作業所勤務 同 見須 俊彦
相内重太郎
川村 秀則
雇員ヲ命ス 埠頭事務所勤務
雇員ヲ命ス 蘇家屯驛勤務
奉天驛勤務ヲ命ス 郭家店驛勤務 雇員(驛務助手) 野崎 勇藏
郭家店驛勤務ヲ命ス 奉天驛勤務 雇員(電信方) 田口穰次郎
郭家店驛勤務ヲ命ス 郭家店驛勤務 雇員(驛務助手) 田澤 禮二
本溪湖驛勤務ヲ命ス 本溪湖驛勤務 雇員(貨物方) 片倉道太郎
大連驛勤務ヲ命ス 大連驛勤務 雇員(貨物方) 濱野 重雄
開原驛勤務ヲ命ス 開原驛勤務ヲ命ス
右一月二十五日附
電信方見習ヲ命ス 蘇家屯驛勤務 雇員 川村 秀則
電信方ヲ命ス 奉天驛勤務 雇員 野崎 勇藏
郭家店驛勤務 雇員 田口穰次郎

驛務助手ヲ命ス
各通
本溪湖驛勤務 雇員 田澤 禮二
大連驛勤務 同 片倉道太郎
開原驛勤務 同 濱野 重雄
貨物方ヲ命ス
右一月二十五日附

廣告

◎上海定期航路
神丸 (第百十二次) 往航青島寄港
一月二十八日正午 大連出帆
神戶丸 (第三百四十四次) 復航青島寄港
二月一日正午 大連出帆

南滿洲鐵道株式會社 報

大正五年一月二十七日
木曜日

第二千六百六十四號

雜錄

▲貨物引換證紛失 左記證券紛失ノ旨届出アリタリ(運輸部)
及證券記號 貨物引換證口第七五八號
發行年月日 大正五年一月二十一日
發 驛 范家屯
著 驛 旅順
荷送人 天慶東
荷受人 德增號
品名及數量 高粱四萬五千三百六十斤

廣告

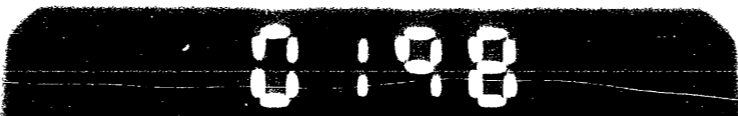
◎上海定期航路
柳丸 (第百十二次) 往青島寄港
一月二十八日正午 大連出帆
神戶丸 (第百四十四次) 復航青島寄港
二月一日正午 大連出帆

▲傳染病發生

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年 齡
猩紅熱	一月二十日	一月二十二日	撫順縣生町一丁目二番	佐久間敏夫	七 年
同	一月十九日	同	撫順縣日町社宅丁一八	劉文盛	七 年
パラチフス	一月九日	一月二十二日	瓦房店西二街北二區	矢野ヤエ	三九年
腸胃新症	一月十一日	一月二十二日	瓦房店一四區一六	鶴飼進	一三年

第二千六百六十四號

大正五年一月二十七日



南滿洲鐵道
株式會社 報

大正五年一月二十八日
金曜日

第二千六百六十五號

示 達

運 輸

運乙卯第二百九十三號
本年二月一日ヨリ左記ノ通不定期貨物列車ノ運轉ヲ休止ス
大正五年一月二十七日 運輸部長

一 休止列車
安東鶏冠山間 (下リ第二百二十七列車
上リ第二百二十六列車
右ニ付安東車輛係及同驛受持仕業番號隔リヲ休止ス

人 事

連山關尋常小學校訓導兼校長 瀧川嘉一郎
連山關實業補習學校講師ヲ囑託ス 撫順炭坑醫院 職員 松井 清
南滿洲工業學校校醫ヲ囑託ス
右一月二十七日附

第二千六百六十五號 大正五年一月二十八日

廣 告

◎上海定期航路
神戸丸 (第三百四十四次) 復航青島寄港
二月一日正午 大連出帆
柳丸 (第三百十三次) 往航青島寄港
二月四日正午 大連出帆

南滿洲鐵道
株式會社
報

大正五年一月二十九日
土曜日

第二千六百六十六號

示 達

會第百二十七號
一月二十九日ヨリ當會社收入銀換算相場ヲ銀百圓ニ付金九拾圓ノ割合ニ改ム
大正五年一月二十八日
總裁 男爵中村雄次郎

通 牒

運 輸

運丁卯第百七十五號
社用品運送手續第八項ニ依ル託送取扱主任者左記ノ通追加ス
大正五年一月二十八日
運輸部長
託送驛所 氏名
大 運 運輸部營業課 田坂 茂一

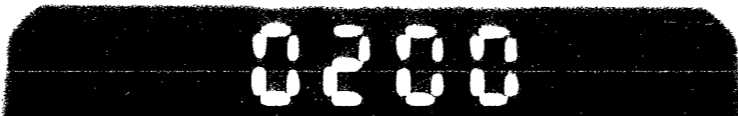
人 事

運丁卯第百七十六號
鐵道電報發送責任者左ノ通追加ス
大正五年一月二十八日
運輸部長
類信場所 所 屬 氏名
本社、大連 運輸部營業課 田坂 茂一
各通 中富 清美
雇員ヲ命ス 埠頭事務所勤務 室山 宇太郎
右一月二十八日附

雜 錄

▲埠頭事務所青島出張所移轉 本年二月一日ヨリ左記ノ箇處ニ移轉ス
青島萊櫻町十一番地
▲鐵道乘車證無效 左記鐵道無賃乘車證ハ紛失ノ旨届出タルニ

第二千六百六十六號 大正五年一月二十九日



因ニ自今無効トス
氏名 地方課勤務 安東盛
發行年月日 大正五年一月二十日
番號 職め第八〇一〇號
等級 二等
區間 全線
期 自大正五年一月二十一日
至同 年二月五日

廣告

◎上海定期航路
神戶丸 (第三百四十四次) 復航青島香港
二月一日正午 大連出帆
柳丸 (第三百十三次) 往旅青島香港
二月四日正午 大連出帆

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正五年一月三十日

日 曜 日

第二千六百六十七號

社 告

社告第五十七號
南滿東清聯絡當社引換代金ニ採用スル日露貨幣換算率ニ關スル
大正三年十月社告第五十一號ノ一ヲ左ノ通改メ本月三十日以後
之ヲ實施ス
大正五年一月二十九日

總裁 男爵中村維次郎

一 當社ニ於テハ引換代金收入ノ際ハ百留ニ金五拾七圓ノ換算
率ニ依ル

示 達

會第百二十八號
一月三十日ヨリ當會社收入外國貨幣中露貨幣(補助貨トモ)ノ
換算相場ヲ壹留ニ付金五拾四圓ノ割合ニ改ム
大正五年一月二十九日

總裁 男爵中村維次郎

運 輸

運甲卯第二百九十一號

明治四十二年十一月示達運甲西第三百十一號大連驛構内運轉ニ
關スル取扱方左ノ通改正シ二月一日ヨリ之ヲ施行ス
大正五年一月二十九日 運輸部長

大連驛構内日本橋下吾妻解結場間ニ於ケル
入換運轉取扱手續

第一項 大連驛構内日本橋下ト吾妻解結場トノ間ニ於ケル入換
運轉ハ複線式ニ依リ往復ノ線路ヲ區別スヘシ
第二項 日本橋下ト吾妻信號塔トノ間ニ於テハ雙信閉塞機ニ依
ル「アブソリュート」ブロック、システム」ヲ施行シ猶左ノ方
法ヲ以テ其ノ取扱ヲ確實ニスヘシ

一 閉塞區間ヲ運轉スル機關車ニハ白地ニ奇數ノ番號ヲ朱書
セル木札ヲ下リニ、赤地ニ偶數ノ番號ヲ白書セル木札ヲ上
リニ交付シ該機關車ハ前方閉塞所ニ著シタルトキ直ニ之ヲ
其ノ取扱者ニ引渡スヘシ
二 閉塞所ニ於テ機關車ヲ出發セシメントスルトキハ前項ニ
依リ機關車ニ交付スヘキ木札ノ番號ヲ對手閉塞所ニ通知シ

然ル後線路閉塞ノ手續ヲ爲シ又對手閉塞所ニ於テ機關手ヨリ木札ヲ受取ラタルトキハ其ノ番號ヲ後方閉塞所ニ通知シ然ル後線路閉塞ノ手續ヲ爲スヘシ

三 兩閉塞所ハ前項ノ木札番號ヲ列車番號欄ニ記入シ其ノ發著時刻及線路閉塞時刻ヲ記録シ置クヘシ

第三項 大連驛ニ到著ノ上リ貨物列車ハ一旦同驛停車位置ニ停車シタル後吾妻解結場ニ至リ機關車ハ更ニ大連驛ニ引返スヘシ而シテ其ノ復路聯結スヘキ車輛アルトキハ之ヲ索引スヘシ

第四項 前項各列車ノ機關車及列車乘務員ハ總テ大連驛到著ノモノヲ其ノ儘使用スルモノトス

第五項 日本橋附近又ハ第二「ホーム」附近ニ於ケル車輛入換ニシテ閉塞機使用區間ノ線路ヲ支障スル處アルトキハ必ス閉塞所ノ承認ヲ受クヘシ

通 牒

運丁卯第二十七號
大正三年十月社告第五十一號ニ依ル南滿東清聯絡貨物ノ引換代金ニ採用スヘキ換算率ヲ東清鐵道ニ於テハ十月三十日以降當分百圓ニ百七拾六留ト定ムル旨通知アリタリ
本年一月運丁卯第一 百七十號ハ廢止ス
大正五年一月二十九日 運輸部長

人 事

總務部技術局勤務 雇員 今西 謙三
依願雇員ヲ免ス 豫備員 安富 商二
各通 同 芝木勝太郎
依願豫備員ヲ免ス 村山 義章
雇員ヲ命ス 大石橋車輛係勤務 中泉 和克
雇員ヲ命ス 長春車輛係勤務 北川 泰輔
雇員ヲ命ス 奉天車輛係勤務 島田 秀一
運輸部運轉課勤務ヲ命ス 運輸部勤務 雇員 廣二
運輸部運轉課勤務ヲ命ス 運輸部運轉課勤務 雇員 南 廣二
運輸部運轉課勤務ヲ命ス 運輸部運轉課勤務 雇員 桑原勘太郎
安東車輛係勤務ヲ命ス 安東車輛係勤務 雇員 西村辰之助
遼陽車輛係勤務ヲ命ス 遼陽車輛係勤務 雇員 吉野 豐二
運輸部勤務ヲ命ス 大連車輛係勤務 職員(機關手) 齋藤政太郎
各通 同 雇員(機關助手) 田中 甚吉
撫順車輛係勤務ヲ命ス 撫順車輛係勤務 職員 齋藤政太郎
右一月二十九日附

機關手ヲ命ス 撫順車輛係勤務 雇員 田中 甚吉
機關助手ヲ命ス 長春車輛係勤務 雇員 中泉 和克
各通 奉天車輛係勤務 同 北川 泰輔
檢車手ヲ命ス 大石橋車輛係勤務 雇員 村山 義章
物品方ヲ命ス 大連車輛係勤務 雇員(機關助手) 種村 吉衛
機關助手ヲ免ス 所屬如故
右一月二十九日附

雜 錄

▲重役出張 國澤副總裁川上理事ハ二十九日出發沿線ニ出張セリ

▲傳染病發生

病名	發病月日	確診月日	現 住 所	氏 名	年 齡
赤痢	一月十五日	一月二十五日	撫順楊柳社宅成二	田所 留吉	三十九年
實扶埃利亞	一月二十一日	同	遼陽三區八ノ五	川上 煌治	二年
猩紅熱	一月二十日	同	遼陽四區一四	服部富美雄	三年
痘瘡	一月十九日	一月二十六日	遼陽佟家大街一九	小林 茂三	三年
再歸熱	一月十六日	一月二十五日	撫順東郷坑苦力社宅	孫 玉 秀	二年

廣 告

◎上海定期航路
神戶丸 (第三百四十四次) 復航青島營港
二月一日正午 大連出帆
神丸 (第三百十三次) 往航青島營港
二月四日正午 大連出帆

南滿洲鐵道株式會社

大正五年 社報目錄

自第二六四六號
至第二六六七號

南滿洲鐵道株式會社

凡例 第一段ハ項目ノ號數、第二段ハ件名、第三段ハ社報號數、第四段ハ社報發行日トス

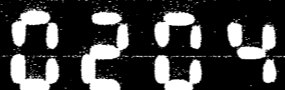
社 告		示 達		運 輸				
五二	南滿東清聯絡貨物ノ引換代金ニ採用スル日露貨幣換算率改正	二、六四七	七	一一四	收入銀換算相場	同	二、六四八	八
五二	日滿貨物聯絡普通便扱運賃表中追加	二、六五二	一三	一一五	支那銀換算相場	同	二、六五〇	一一
五三	日滿聯絡貨物運賃表中ニ朝鮮鐵道發運賃表追加	二、六五二	一三	一一六	收入銀換算相場	同	二、六五二	一三
五四	日支周遊旅客及手荷物取扱ノ件中改正	二、六五七	一九	一一七	同	同	二、六五三	一四
五五	日滿聯絡貨物普通便扱運賃表鐵道發著ノ場合ノ一ニ鮮鐵發空瓶運賃追加	二、六六二	二五	一一八	同	同	二、六五五	一六
五六	南滿東清聯絡貨物ノ引換代金ニ採用スル日露貨幣換算率改正	二、六六三	二六	一一九	同	同	二、六六〇	二二
五七	同上ノ件	二、六六七	三〇	一二〇	同	同	二、六六二	二五
五七	南滿醫學堂職制中改正	二、六五九	二二	一二一	支那銀貨換算相場	同	二、六六二	二五
一一二	收入銀換算相場	二、六四七	七	一二二	收入銀換算相場	同	二、六六三	二六
一一三	露貨紙幣(補助貨トモ)換算相場	同	同	一二三	露貨紙幣換算相場	同	二、六六六	二九
				一二四	露貨紙幣換算相場	同	二、六六七	三〇
				一二五	地方事務所用度課關係物品事務取扱手續	同	二、六五二	一一
				一二六	旅客賃金追徴及拂戻ニ關スル取扱手續第五條但書中改正	同	二、六五〇	一一
				一二七	貨車集配及同輸送成績報告手續中	同	二、六五〇	一一

社報目錄 大正五年一月中



Table with 3 columns: Item description, Date, Page. Includes items like '鐵道電話回線圖中改正', '電話呼出符號中追加', '電話回線名及略號中追加', etc.

Table with 3 columns: Item description, Date, Page. Includes items like '聯絡貨物受託ノ際輸出入禁制品ニ', '東清鐵道ニテハ當分ノ内南滿東清', '社用品託送取扱主任者追加', etc.



南滿洲鐵道 株式會社 社 報

大正五年二月二日

水 曜 日

第二千六百六十九號

人 事

運輸部營業課勤務 雇員 淺野 又衛

依願雇員ヲ免ス
右二月一日附

雜 錄

▲新造車輛

車 種	記 號	番 號	定 員	製 造 場 所	試 運 轉 日
三等客車	ハ	自三〇〇 至三〇三	一一二	沙河	一月二十七日
計		三輛			
三等客車累計			五十三輛		

▲運動會記事

○柔剣道部寒稽古 大石橋支部ニ於テハ一月八日ヨリ同二十
八日迄柔剣道部ノ寒稽古ヲ催シ同三十日證書授與式ヲ舉行皆
勤者左記二十六名ニ對シ證書及賞品ヲ授與シタリ
剣道部(十四名)

平山 孔久	鹽谷 豹治	菅田 政好	眞壁 磯五郎
牛島 光次	宮土 淺吉	濱地 益雄	伊達 東一
藤木 久次郎	白石 榮	東 種太郎	洋見 豊
黒須 隆	吉田 繁		
柔道部(十二名)			
永井 周藏	安藤 義三郎	岩淵 直市	折目 繁雄
和木田 儀助	谷本 誠一	狩野 信一	後藤 陸郎
笛田 政好	白石 順藏	角屋 敷直市	灘波 浩

▲正調 前號通牒運輸關連丁卯第二七八號中「機關手運延」トアルハ「機關車運延」ノ誤

廣 告

◎上海定期航路

神 丸 (第百十三次)	往 旅 青 島 寄 港
二月四日正午	大連出帆
神戶丸 (第百四十五次)	復 旅 青 島 寄 港
二月八日正午	大連出帆

◎讀書會講演
二月四日(金曜日)午後四時十分本社分館會議室ニ於テ開會、
話題及演者左ノ如シ
我會社ノ營業狀態
川村御次郎君

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正五年二月三日
木曜日

第二千六百七十號

示 達

運 輸

運甲卯第二百九十五號
大正元年八月通牒運丙第二百八十八號前部車掌乘務セサルトキ
列車運轉信號取扱心得中前部車掌ノ任務ニ關スル件第四項但
書ヲ左ノ通改正ス
明治四十二年一月通牒運乙第一號前部車掌乘務セサル列車ノ保
安器授受方ノ件ハ之ヲ廢止ス
大正五年二月二日 運輸部長

但シ後部車掌ハ其ノ授受セシトコトヲ認ムルニ非サレハ出發合
圖ヲ爲スヘカラス
(前規定額第四編一五四頁參照)
運丙卯第二百七十九號
鴨綠江製材無限公司託送安東驛發貨物社線内運賃ハ本年一月十
四日ヨリ大正六年一月十三日迄後拂ニテ取扱フコトヲ得
大正五年二月二日 運輸部長

人 事

依願雇員ヲ免ス
東洋醫院勤務 雇員 石川 義助
雇員ヲ命ス 埠頭事務所勤務 津田 匠
右一月三十一日附
各通 角田不二男
雇員ヲ命ス 東京支社勤務 田中 義祐
右二月二日附

雜 錄

▲重役歸社 沿線出張ノ國澤副總裁及川上理事ハ二日歸社セリ
▲電報發送責任者削除 電報發送責任者名簿備考第三項ノ責任
者所屬異動ノ爲削除スヘキ者左ノ通(運輸部)

第二千六百七十號 大正五年二月三日

神戶丸 (第三百四十五次) 復航青島寄港
二月八日正午 大連出帆

賴信驛所	所屬	氏名	記事
大連	鑛業部販賣課	松田秀梧郎	病死
全線	運輸部營業課	太田惟一	辭職
安東、沙河、及大連	安東保線係	三田昇之助	轉勤
全線	運輸部	田坂茂一	同
安東、沙河、奉天公主嶺間及營口各驛	安東車輛係	吉野豐二	同
▲傳染病發生	運輸部營業課(花柳)	上田賢家	同

病名	發病月日	確診月日	現住所	氏名	年	齡
赤痢	一月二十七日	一月二十九日	昌圖保係員住宅	高橋ヨシエ	四	年
腸管扶斯	一月二十二日	同	宅	馮	起	二年
同	一月十九日	同	同	修月林	三	年
同	一月二十五日	一月三十一日	遼陽ハ區四ノ三	上妻	三	年
同	一月二十七日	一月二十九日	遼陽東郷統社宅	廣川	秀	年
同	一月二十五日	一月二十七日	鐵道社宅七ノ一	小谷	基	年
同	一月二十三日	一月二十五日	泉頭驛社宅	小槍山	忠	年
同	一月二十二日	一月二十八日	本溪湖作吉町社宅	齋藤	セ	年

廣告

神丸 (第三百十三次) 往復青島寄港
二月四日正午 大連出帆

南滿洲鐵道株式會社 報

大正五年二月八日 火曜日 第二千六百七十四號

示達

運輸部長

運甲卯第三百四號
大正二年十月示達運甲丑第二百五十四號車輛換算率中三等客車ヲ左ノ通改正ス
大正五年二月七日 運輸部長

車種	等級	車號	換算率
普通客車	一	3000-3099	1.0
川線客車	ハ	3100-3999	1.2
			1.0

(諸規定類第四編三六ノ一頁參照)

運甲卯第三百五號
明治四十四年三月運甲第三百九十號乘車券及鐵道收入關係書類

第二千六百七十四號 大正五年二月八日

取扱手續及同様式手荷物及聯絡小荷物ノ部無賃手荷物符票取扱手續三引換後ノ扱方中「照合」上燒棄ス「ヘシ」トアルヲ「照合」タル後三箇月間整理保存シ置ク「ヘシ」ニ改メ二月十日ヨリ之ヲ施行ス
大正五年二月七日 運輸部長

運乙卯第三百六號
二月十日ヨリ左記ノ通貨物列車ヲ復活若ハ休止ス
大正五年二月七日 運輸部長

一 復活列車
大連 瓦房店間 上ノ第百八十列車
瓦房店 大石橋間 上ノ第百八十列車
大石橋 遼陽間 上ノ第百八十列車
遼陽 撫順間 下ノ第百七十七列車
撫順 遼陽間 下ノ第百七十七列車
遼陽 撫順間 上ノ第百七十二列車
撫順 遼陽間 上ノ第百七十二列車
遼陽 撫順間 下ノ第二十一列車
撫順 遼陽間 下ノ第三十一列車

大連 瓦房店間 上リ第二十六列車
上リ第三十二列車
下リ第三十一列車
下リ第三十二列車
上リ第三十六列車
上リ第三十二列車
下リ第三十一列車
下リ第三十三列車
上リ第二十一列車
上リ第三十一列車
上リ第三十八列車
上リ第三十七列車
下リ第三十三列車
下リ第三十二列車
上リ第三十二列車
上リ第三十一列車
上リ第二十二列車
上リ第二十一列車
上リ第二十列車
上リ第十九列車
上リ第十八列車
上リ第十七列車
上リ第十六列車
上リ第十五列車
上リ第十四列車
上リ第十三列車
上リ第十二列車
上リ第十一列車
上リ第十列車
上リ第九列車
上リ第八列車
上リ第七列車
上リ第六列車
上リ第五列車
上リ第四列車
上リ第三列車
上リ第二列車
上リ第一列車
下リ第一列車
下リ第二列車
下リ第三列車
下リ第四列車
下リ第五列車
下リ第六列車
下リ第七列車
下リ第八列車
下リ第九列車
下リ第十列車
下リ第十一列車
下リ第十二列車
下リ第十三列車
下リ第十四列車
下リ第十五列車
下リ第十六列車
下リ第十七列車
下リ第十八列車
下リ第十九列車
下リ第二十列車
下リ第二十一列車
下リ第二十二列車
下リ第二十三列車
下リ第二十四列車
下リ第二十五列車
下リ第二十六列車
下リ第二十七列車
下リ第二十八列車
下リ第二十九列車
下リ第三十列車
下リ第三十一列車
下リ第三十二列車
下リ第三十三列車
下リ第三十四列車
下リ第三十五列車
下リ第三十六列車
下リ第三十七列車
下リ第三十八列車
下リ第三十九列車
下リ第四十列車
下リ第四十一列車
下リ第四十二列車
下リ第四十三列車
下リ第四十四列車
下リ第四十五列車

○機關車運用表(瓦房店公主嶺ヲ除ク)
大連車輻係 番號31、33、39ヲ左ノ通變更シ32、36ヲ休止ス

三 本達施行ニ伴ヒ機關車運用同乘務員並車掌乘務表中左ノ通復活變更若ハ休止ス

○機關車乘務員乘務表
瓦房店車輻係 番號49ヲ復活43ノ往路ヲ第二十四列車ニ變更シ49ヲ復活50ト63、62ト67、64ト69ヲ變更組合セ57、60、71、74、81ヲ休止シ76ト49ノ規定組合セニ復舊ス
公主嶺車輻係 番號166、170、171及165ヲ休止ス
○車掌乘務表
大連驛 番號8、10、16ヲ左ノ通變更シ9、13ヲ休止ス
瓦房店
大連
瓦房店
大石橋
大連
瓦房店
大石橋驛 番號41、49及變40ヲ左ノ通變更ス

大石橋 遼陽 奉天 鐵嶺 遼陽 鐵嶺 奉天 遼陽

大石橋 變 101 變 103 變 104
遼陽 變 177 變 180 變 179
奉天 變 127 變 129 變 135 變 136
鐵嶺 變 127 變 129 變 135 變 136
遼陽 變 127 變 129 變 135 變 136

○機關車乘務員乘務表
瓦房店車輻係 番號43ノ往路ヲ第二十四列車ニ變更シ49ヲ復活50ト63、62ト67、64ト69ヲ變更組合セ57、60、71、74、81ヲ休止シ76ト49ノ規定組合セニ復舊ス
公主嶺車輻係 番號166、170、171及165ヲ休止ス
○車掌乘務表
大連驛 番號8、10、16ヲ左ノ通變更シ9、13ヲ休止ス
瓦房店
大連
瓦房店
大石橋
大連
瓦房店
大石橋驛 番號41、49及變40ヲ左ノ通變更ス



遼陽	變70	15	變78	25	變84	變85
奉天	12	18	11	20		
鐵嶺	變55	177	變57	19	變58	179
大石橋	24	180	28	21		
遼陽	變40	175	變41	23	變49	173
瓦房店	176	174				152
大石橋						

鐵嶺驛 番號92、97ヲ休止ス
 公主嶺驛 番號102及變104ヲ休止ス
 四 本達施行ニ伴ヒ途中停車列車表中一部ヲ左ノ通變更ス
 閻家樓 上リ「第二千列車」ヲ「第十八列車」ニ
 元關子 下リ「第二十一列車」ヲ「第八十一列車」ニ
 花崗子 上リ「第二十六列車」ヲ「第二十四列車」ニ
 李劉溝 「上リ第三十二列車」ヲ「下リ第二十九列車」ニ
 大石橋 上リ「第三十二列車」ヲ「第十二列車」ニ
 東達子營 上リ「第三十列車」ヲ「第八十二列車」ニ
 五道河子 下リ「第十七列車」ヲ「第九列車」ニ
 老命廟 下リ「第十五列車」ヲ「第九列車」ニ
 唐三家子 上リ「第三十二列車」ヲ「第十二列車」ニ
 廟子溝 「上リ第三十二列車」ヲ「第十二列車」ニ
 三叉河子 上リ「第二十六列車」ヲ「下リ第二十一列車」ニ
 小 哨 「上リ第三十二列車」ヲ「第十二列車」ニ
 西 嶺 上リ「第三十二列車」ヲ「第十二列車」ニ
 六馬河子 上リ「第三十二列車」ヲ「第十二列車」ニ
 五 本達施行ニ伴ヒ機關車運用故乗務員乗務移替方左ノ通トス
 瓦房店大石橋間
 ○二月九日瓦房店發下リ第三十一列車機關車乗務員ハ十日大石橋發上リ第四列車ニ便乘歸庫スヘシ
 ○二月十日大石橋發上リ第二十四列車車掌ハ九日瓦房店發下リ第三列車ニ便乘出向スヘシ
 ○二月九日瓦房店發下リ第七十五列車車掌ハ十日上リ第六列車ニ便乘歸庫スヘシ
 ○二月十日瓦房店發下リ第二十三列車車掌ハ同日上リ第四列

車ニ便乘出向スヘシ
 奉天鐵嶺間
 ○奉天車輛係受持番號136、奉天驛受持番號85ハ二月十日ヨリ仕業ヲ始ムルモノトス

運丁卯第二千八百八十九號
 鐵道電報發送責任者左ノ通追加ス
 大正五年二月七日 運輸部長

運丁卯第二千八百八十七號
 大連向到著預貨物取扱ニ付テハ往々誤解ノ向アレトモ右ハ埠頭卸ノモノニ限リ受付シヘキモノニシテ「二ホーム」卸ノモノニ付テハ之ヲ受理ヲ爲ササル義ト心得ラルヘシ
 大正五年二月七日 運輸部長

運丁卯第二千八百八十八號
 社用品運送手續第八項ニ依ル託送取扱主任者左記ノ通加除ス
 大正五年二月七日 運輸部長

託送驛所	所屬	氏名
公主嶺	產業試驗場	北楯利亮
大連	鑛業部販賣課	山口 確平
(削除)	產業試驗場	北楯利亮

▲運動會記事
 遼陽支部柔劍道部塞裕古 遼陽支部ニ於テハ一月八日ヨリ同二十八日迄二十一日間柔劍道部ノ塞裕古ヲ催シ皆勤者左記十七名ニ證書及賞牌ヲ授與シタリ
 (皆勤者)
 櫻井 善藏 幣 三樹雄 松田 直吉 福島林四郎
 吉川 武男 安久井 齊 佐藤文太郎 並木 壬寅



吉川 猛 高田 太郎 森 義一 山口 範吾
德永喜四郎 時枝 又衛 福田 信數 帘 豐紀

廣告

◎上海定期航路

神戶丸 (第百十四次) 往橫濱及香港

二月十一日正午 大連出帆

神戶丸 (第百四十六次) 復橫濱及香港

二月十五日正午 大連出帆

南滿洲鐵道 株式會社 報

大正五年二月九日

水曜日

第二千六百七十五號

示 達

運 輸

運甲卯第三百七號

日支、日滿及西歐聯絡乘車船券所持ノ旅客カ南滿洲及日本内地トノ間ニ於テ徑路ノ變更ヲ申出タル場合ノ取扱方左記ノ通相定メ二月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正五年二月一日 運輸部長

一 鐵道院線著日支、日滿及西歐聯絡乘車船券所持ノ聯絡旅客カ當社線内ニ於テ大連經由ヲ釜山經由又ハ其ノ反對ノ徑路ニ變更ヲ申出タルトキハ左記各項ニ依リ取扱フモノトス

イ長春又ハ奉天驛ヨリ原聯絡乘車船券面著驛ニ到ル當社線、大阪商船會社間二線又ハ當社鐵道院間三線連帶乘車券ヲ新ニ購求セシム

ロ託送手荷物カ變更セラレタル新徑路ニ依リ旅客ト共ニ運送セラレルトキハ二線又ハ三線連帶運輸手荷物切符ヲ原手荷物證書ニ貼附シ尙同證書ニハ「徑路變更」付本證書無効ト

第二千六百七十五號

大正五年二月九日

朱記シ之ヲ旅客ニ交付シ若シ託送手荷物カ旅客ニ先行シ旅客ノ變更シタル徑路ニ由リ運送シ能ハサル場合ニハ該手荷物ノ實際運送徑路ニ依リ著驛迄二線又ハ三線連帶運輸ニ依リ之ヲ取扱ヒ同手荷物ノ斤量カ無賃制限ヲ超過スルトキハ相當賃金ヲ徵收シ手荷物切符ノ記事欄ニ「何々連帶運輸規則ニ依ル本手荷物運賃ハ原手荷物證書記載重量ニ基キ何驛ニ於テ計算徵收済」ト記入シタル上之ヲ原聯絡手荷物證書ニ貼附シ尙同證書ニハ「徑路變更」付本證書無効ト朱記シ之ヲ旅客ニ交付ス

ハ當社線内ヨリ下關又ハ門司迄ノ二線若ハ三線連帶乘車券ヲ所持スル旅客カ下關又ハ門司ヨリ著驛迄ハ原乘車船券ノ券片ヲ以テ乘車セントスル場合ニモ手荷物ハ當社鐵道院間三線連帶運輸ニ依リ著驛迄直送シ原手荷物證書ニハ「徑路變更」付本證書無効ト朱記シ新ニ發行シタル手荷物切符ヲ之ニ貼附ス

二 鐵道院線聯絡旅客カ徑路變更ヲ申出タル場合其ノ託送手荷物ヲ旅客ト同一徑路ニ依リ運送シ能ハサルトキハ同鐵道院於テハ左記各項ニ依リ取扱フモノトス

イ發驛及下關又ハ門司ニ於テ徑路變更ヲ申出タル場合ニハ發驛又ハ下關、門司ヨリ奉天(日支聯絡ノ場合)若ハ長春(日

滿及西歐聯絡ノ場合ニ到ル新徑路ニ對スル鐵道院當社間
 三線運帶乘券ヲ新ニ購求セシメ又手荷物ハ實際ノ運送徑
 路ニ對シ鐵道院當社間三線運帶運輸ニ依リ之ヲ取扱ヒ同手
 荷物ノ斤量カ無貨制限ヲ超過スルトキハ相當賃金ヲ徵收シ
 而シテ無貨扱ナルトキハ「チエツキ」(手荷物引換用)ヲ又有
 賃扱ナルトキハ手荷物切符ノ記事欄ニ「何々運帶運輸規則
 ニ依ル本手荷物運賃ハ原手荷物證書記載重量ニ基キ何驛ニ
 於テ計算徵收濟」ト記入シタル上之ヲ原聯絡手荷物證書ニ
 貼附シ尙同證書ニハ「何驛奉天間徑路變更」ト朱記シ之ヲ旅
 客ニ交付スヘシ但シ下關又ハ門司ニ於テ大連經由ニ變更申
 出タルトキハ大阪商船會社門司支店ニ於テ本項ニ依リ其ノ
 取扱ヲ爲スモノトス

(ロ)途中驛ニ於テ變更申出タル場合ニハ總テ下關迄旅客所持ノ
 聯絡乘車船券ヲ以テ乘車セシメ同線ニテ更ニ徑路變更ノ申
 出ヲ爲スヘキ旨旅客ニ通告スヘシ

三 前記鐵道院ニ於テ原聯絡手荷物證書ニ貼附シタル「チエツ
 キ」又ハ手荷物切符ハ奉天驛(日支聯絡ノ場合)又ハ長春驛
 (日滿及西歐聯絡ノ場合)ニ於テ剝取收受スヘシ

四 徑路變更ノ結果原聯絡乘車船券未使用區間ニ對スル賃金及
 手荷物運賃ノ拂戻ニ關シテハ既定手續ニ依ルノ外其ノ都度營
 業課ニ電照スヘシ

通牒

運丁卯第二百九十一號
 社用品運送手續第八項ニ依ル託送取扱主任者左記ノ通追加ス
 大正五年二月八日 運輸部長

託送驛所 所屬 氏名
 大連 大連ヤマトホテル 辻平治郎
 旅順 旅順ヤマトホテル 荒木彌一郎
 鐵嶺 鐵嶺 千田宗次郎
 開原 同 田上博

人事
 職員ヲ命ス 安東地方事務所勤務(在鶴冠山)
 瀧川 初枝
 山腰繁次郎
 職員ヲ命ス 連山關尋常小學校勤務
 瀧川 初枝
 産業試驗場勤務 職員 伊藤 昇
 公主嶺地方事務所兼務ヲ命ス
 右二月八日附
 連山關尋常小學校勤務 職員 瀧川 初枝
 裁縫科教員ヲ命ス
 右二月八日附

雜錄

▲大阪商船發着日取變更 大阪商船大連發着日取二月七日ヨリ
 同十七日迄左記ノ通變更ノ旨通知アリタリ

船名	大連著	同發
臺中丸	七日	九日
嘉義丸	九日	十二日
はるびん丸	十四日	十六日
臺南丸	十七日	

柳丸 (第四百十四次) 往嶺青島發着
 二月十一日正午 大連出帆
 神戸丸 (第三百四十六次) 復嶺青島發着
 二月十五日正午 大連出帆

運動會記事

公主嶺支部柔劍道賽稽古 公主嶺支部ニ於テハ二月二日ヨリ
 二月四日迄柔劍道部ノ賽稽古ヲ催シ皆勤者左記二十九名ニ對
 シ證書及賞牌ヲ授與シタリ

柔道部 (十三名)
 西田 鶴舞 渡邊 嘉一 三好 光彦 松尾 豊棟 山本 兼雄
 佐々木亮三 東 菊次郎 佐藤 祐次郎 渡谷 義宗 山田 謙治
 小松 六郎 宮本嘉久二 森 正道

劍道部 (十五名)
 東 龍 佐賀 秀雄 渡邊 江知路 渡邊 嘉輔 佐々木亮三
 藤波 重義 小島 亮三 川田 稔 平畑 春一 杉野 宗太郎
 辻川 仁作 佐藤 彌作 森 正道 中島 村市 橋久保 武

○訂正 前號示達運輸權運乙卯第三百六號機關車運用表中公主嶺車輛係ノ分「164」ト
 「167」ト變更組合セ「テ脱ス

廣告

◎上海定期航路
 第二千六百七十五號 大正五年二月九日